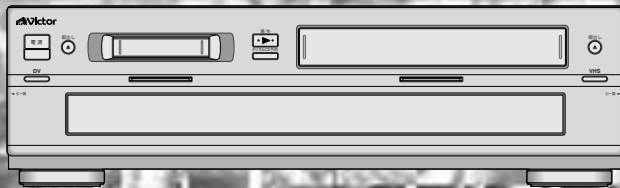
取扱説明書

BSチューナー内蔵
MiniDV/S-VHSビデオカセットレコーダー

# 型名 HR-DVS1

MiniDV/S-VHS VIDEO CASSETTE RECORDER

HR-DVS1

G-CODE
Mini DV NTSC
S-VHS BS

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

LPT0103-001B

# 安全上のご注意

## ご使用の前にお読みください。

### 絵表示について

**この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。**
**これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。**

## ⚠警告

**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

## ⚠注意

**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。**

### 絵表示の説明

●注意(警告を含む)が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

●してはいけない行為(禁止行為)を示す記号

禁止

水場での使用禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為(強制、指示行為)を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

**お断り**

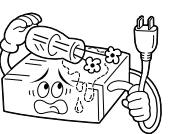
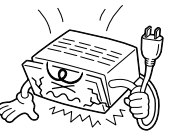
- ビデオ本体やリモコンなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。
- この「安全上のご注意」には、本製品に該当しない内容も記載されています。

## ⚠警告

**万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない**

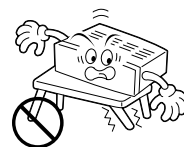
■ **火災や感電の原因となります。**

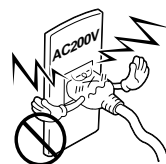
- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。

- 内部に水や物が入ってしまったとき。

- 落としたり、キャビネットが破損したとき。

- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。

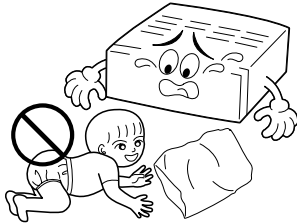
■ **このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、販売店に修理を依頼してください。**
■ **お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。**

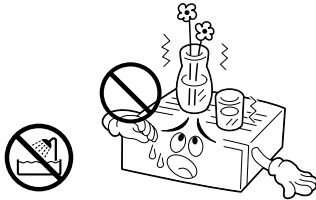
**不安定な場所に置かない**

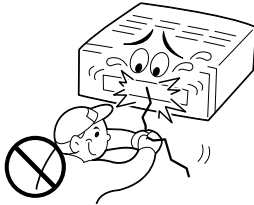
■ ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

**表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない**

■ 火災や感電の原因となります。

# ⚠警告

**この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない**

■ 頭からかぶると窒息の原因となります。

**この機器の上に水の入ったもの(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かない**

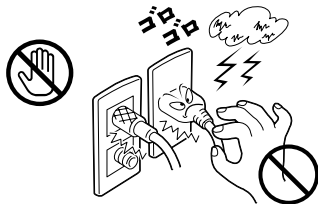
■ 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

**内部に物を入れない**

■ 通風孔やカセット出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

**ぬらさない**

■ 火災や感電の原因となります。

■ 風呂場では使用しないでください。

**雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグにはふれない**

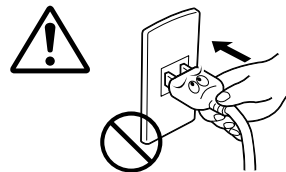
■ 感電の原因となります。

**電源プラグは、すぐに抜ける場所にあるコンセントに差しこむ**

■ 本機に異常が発生したときに、電源プラグをコンセントからすぐ抜けるようにしてください。

**この機器の(カバー、キャビネット)は外したり、改造しない**

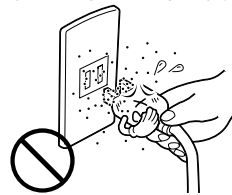
■ 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店に依頼してください。

**電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む**

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。

**電源コードを傷つけない**

■ 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
・電源コードを加工しない。
・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
・電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
・電源コードを熱器具に近づけない。

**電源プラグの電極、およびコンセントにほこりや金属を付着したまま使用しない**

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。

**この機器の電源コンセント(ACアウトレット)に、(ヒーター、ドライヤーや電磁調理器)などの消費電力の大きい機器をつながない**
**[電源コンセント(ACアウトレット)付機種]**

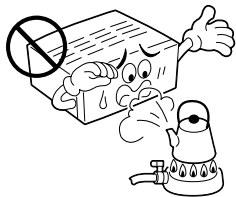
■ 接続する機器の消費電力が、本体の電源コンセントに表示されている電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。

# 安全上のご注意(つづき)

## ⚠注意

### 次のような所には置かない

■ 火災や感電の原因となることがあります。

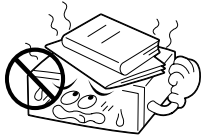
・ 湿気やほこりの多い所
・ 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たる所
・ 熱器具の近くなど
・ 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

### 他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

■ 指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。

### 通風孔をふさがない

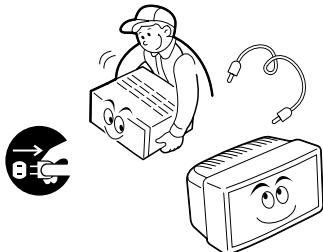
■ 通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。

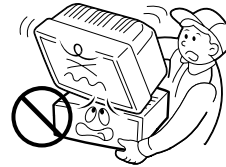
**次のことに注意してください。**

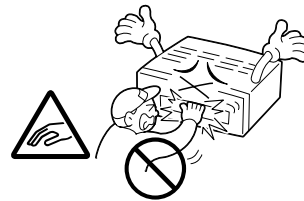
・ 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
・ じゅうたんや布団などの上に置かない。
・ テーブルクロスなどを掛けない。
・ 横倒し、逆さま(あおむけ)にしない。

■ ファンの通風孔を塞いだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。

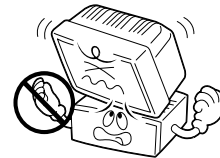
### 移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

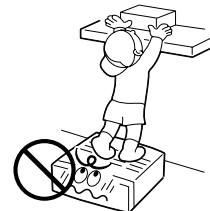
■ 接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

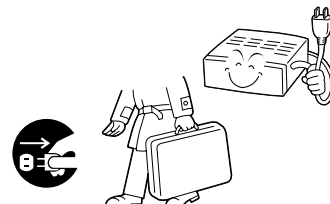
■ カセットテープも取り出しておいてください。

### この機器の上に他の機器を載せたまま移動しない

■ 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

### カセットの出し入れ口に手を入れない

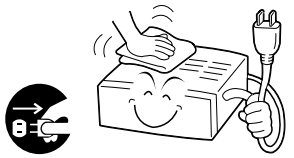
■ 手をはさまれて、けがの原因となることがあります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

### この機器の上に重い物を置かない

■ テレビなどの重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

### この機器の上に乗らない、ぶら下がらない

■ 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

### 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

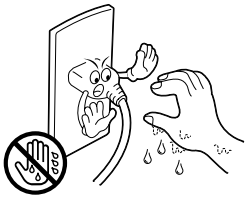
■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

# ⚠注意

**お手入れをするときは、電源プラグを抜く**

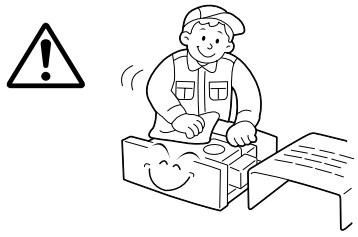
■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。

**電源プラグはコードの部分を持って抜かない**

■ 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

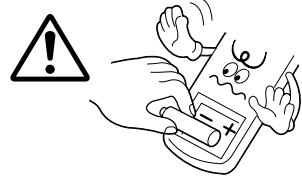
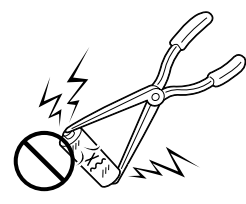
**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

■ 感電の原因となることがあります。

**1年に一度は内部の点検を販売店に依頼する**

■ 内部にホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。

■ 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

## 電池の安全上のご注意

**取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災、けがや周囲を汚す原因となりますので、次のことをお守りください。**

・ 電池はプラス(＋)とマイナス(−)の表示通り入れる。
・ 指定以外の電池を使用しない。
・ 種類の異なる電池や新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使わない。

・ 電池(電池ケース)のプラス(＋)、マイナス(−)をショートさせない
・ 加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
・ 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく

**■ もし、液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふき取ってください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。**

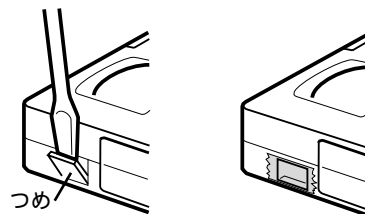
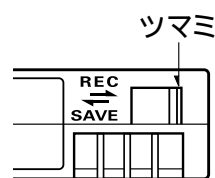
# 使用上のご注意

## ご使用の前にお読みください。

### 大切な録画の前に

■ テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
■ 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
■ 録画のしかたは、本体とリモコンで異なります。ご注意ください。
■ 万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

### 大切な記録を消さないために

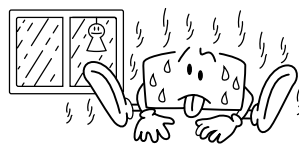
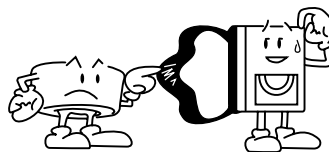
**VHSカセット**
■ 大切な録画済みテープは、誤消去を防ぐため、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。
■ ふたたび録画するときは、セロハンテープを二重に貼ってください。

**ミニDVカセット**
■ 大切な録画済みテープは、誤消去を防ぐため、ミニDVカセットの背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください。
■ ふたたび録画するときは、ツマミを「REC」の矢印方向に引いてください。

### きれいな画面でご覧いただくために(クリーニングテープ)

■ 長い時間ご使用になるうちに下記のような症状になったときは、別売りの「クリーニングカセット」でビデオヘッドを掃除してください。
■ **こんな症状になったら**
**VHSカセットの場合**
● テープを再生すると、ザラザラした画面になる
● 映像が不鮮明、または映らない
**ミニDVカセットの場合**
● テープを再生すると、映像がモザイク画(ブロック状のノイズ)になる
● テープを再生すると、映像に黒色やモザイク画の横縞がでる

● 乾式の**クリーニングカセット**を使って、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

**クリーニングカセット**
VHSデッキ用:TCL-3F
DVデッキ用:M-DV2CL
M-DV2CLを長時間くり返し再生すると、ヘッドの磨耗の原因となりますので注意してください。

(M-DV2CLを再生すると、20秒後に自動的に再生を停止します。)

■ **ヘッドの汚れの原因**
● 高温・多湿(梅雨時期など)　● 空気中のほこり

● テープの傷、汚れ　● 長時間の使用など

■ **クリーニングカセットを使っても正常な画面にならないときは、**
お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口(106〜107ページ)にご相談ください。

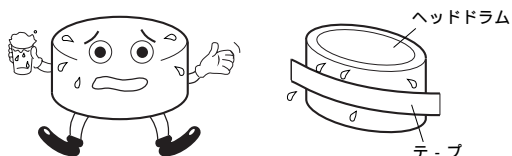
## つゆつきにご注意

■ **つゆつきとは**
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき」（または結露）といいます。

■ **つゆつきが発生すると**
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴が付き、それにテープが張り付いて、テープやビデオを傷めてしまいます。

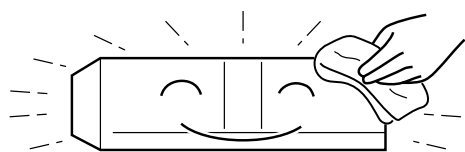
■ **次のようなときにつゆつきになりやすい**ので、ご注意ください。
・ ビデオを、寒いところから暖かい部屋に移動したとき
・ 急に部屋を暖房したとき
・ エアコンなどの冷風が直接当たるところ
・ 湿気の多いところ

■ **つゆつきになりそうなときは、**あらかじめビデオの電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。

■ 再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

## キャビネットのお手入れは

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書にしたがってください。

■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。

■ 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

## 長時間ご使用にならないときは

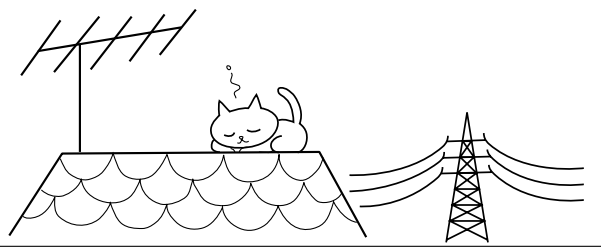
長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、動作させてください。

## アンテナは

■ 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。

■ 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。

■ アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。

■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

## ビデオカセットテープは

■ ビデオカセットは 次のタイプをお使いください。
VHSデッキ用：S VHS 、VHS
DVデッキ用：Mini DV

■ 録画済みテープに新しく録画するときは、前に録画されたものは消されます。

■ ビデオカセットテープは、裏返しでは使えません。

■ ビデオカセットテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。

■ テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。

■ 使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

## ビデオカセットテープの保管は

■ 次のような所はさけて保管してください。
・ 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
・ 直射日光が当たるところやストーブの近く
・ 磁気の発生するところ

■ 落としたり衝撃を与えないでください。

■ テープの巻き取りにむらがあるとテープを傷めます。きれいに巻き直してください。

■ ケースに入れて、立てて保管してください。

# 主な特長

他社製テレビも操作できる
**テレビもリモコン ..... P.12**

地域番号を入力するだけで放送局を自動設定する
**地域番号チャンネルプリセット ........................ P.22**

接続なしで簡単にダビング／編集できる
**ダブルデッキ .............. P.48**

録画したDVテープにもとの音声を消さずに新たに音声を記録できる
**アフレコ ...................... P.49**

電話のプッシュホン感覚で簡単に録画予約できる
**Gコード予約*1 .................. P.50**

マルチダビングができる
**64プログラム編集メモリー P.58**
(8作品×8プログラム)

映像を加工してさまざまな演出効果をだせる
**デジタル演出効果 ...... P.62**

デジタルムービーなどをつないで信号劣化のないダビング／編集ができる
**DV入／出力端子 ........ P.66**

画面の歪みを補正し、安定した画面を再生する
**629TBC .................... P.76**

CM部分を自動的にカットして録画する
**オートCMカット ....... P.77**

デジタル放送などの録画予約が簡単にできる
**デジタル放送着信予約 P.78**

VHSテープに、S-VHS画質で録画できる
**S-VHS ET .................. P.79**

＊1　Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

# この取扱説明書の見かた

■ リモコンまたは本体のどちらのボタンで操作できるかイラストでお知らせしています。
■ リモコンまたは本体のどちらのボタンでも操作できるときは、リモコンのボタンを使って説明していますが、本体にある同じマークや名前のボタンでも、同様の操作ができます。

リモコンで操作できます。

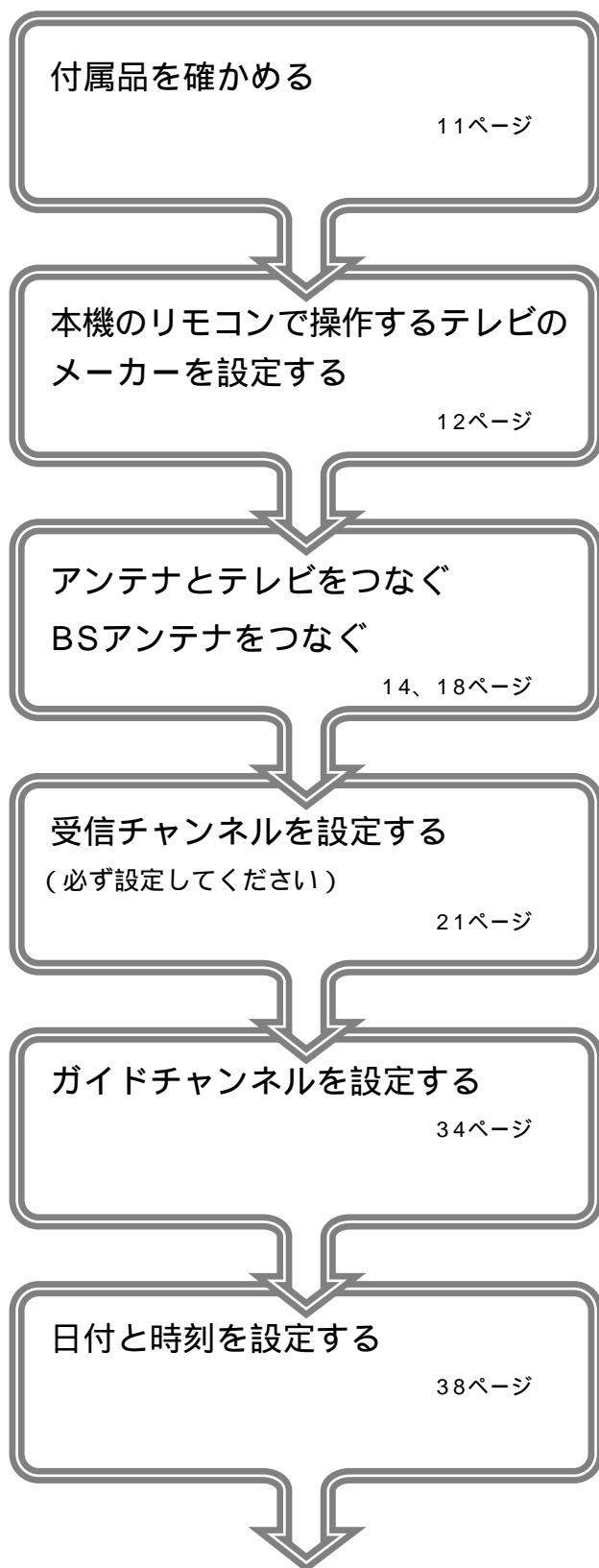
本体で操作できます。

●**設置や接続、リモコンの準備がお済みでないときは:**「設置と準備」編をご覧ください。
●**ビデオをご覧になりたい、番組を録画したい、簡単なダビングをしたいときは:**「基本操作」編をご覧ください。
●**録画の予約をしたいときは:**「録画予約」編をご覧ください。
●**ダビング／編集をしたいときは:**「ダビング」編をご覧ください。
●**もっといろいろな機能を使いたいときは:**「便利な機能」編をご覧ください。

# もくじ

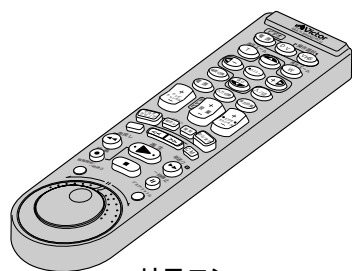
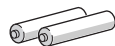
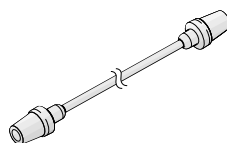
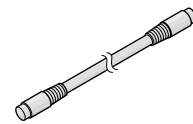
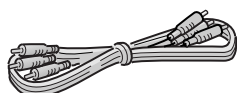
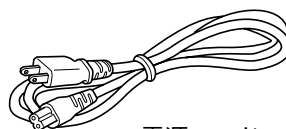

| | | | |
|---|---|---|---|
| **最初にお読みください** | 安全上のご注意 | 2 | はじめに |
| | 使用上のご注意 | 6 | |
| **設置と接続をするときは**<br>ここからお読みください。<br>●UHF/VHFアンテナやテレビと接続します<br>●BSアンテナと接続します<br>●チャンネルの設定をします<br>●時計を合わせます | 設置と準備の進めかた | 10 | 設置と準備 |
| | 付属品を確かめる | 11 | |
| | リモコンでビクター製以外のテレビを操作する | 12 | |
| | 2台のビクタービデオを操作する | 13 | |
| | 本機にアンテナとテレビを接続する | 14 | |
| | BSアンテナを接続する | 18 | |
| | 受信チャンネルを設定する | 21 | |
| | ガイドチャンネルを設定する | 34 | |
| | 日付と時刻を設定する | 38 | |
| **まずは、ビデオやBS放送を見る、テレビ番組を録画する、ダビングする**<br>基本操作を説明します。 | ビデオを見る | 40 | 基本操作 |
| | BS放送を見る | 43 | |
| | テレビ番組やBS放送を録画する | 45 | |
| | ダビングする(まるごとダビング) | 48 | |
| | アフレコする(DVデッキのみ) | 49 | |
| **テレビ番組を予約録画する**<br>録画の予約のしかたを説明します。 | 録画を予約する(Gコード録画予約) | 50 | 録画予約 |
| | 録画を予約する(通常予約) | 52 | |
| | 予約の確認・変更・取消しをする | 56 | |
| **テープをダビング／編集する**<br>ダビングのしかたを説明します。 | ダビングする(マルチダビング) | 58 | ダビング |
| | ダビングする(通常ダビング) | 64 | |
| | 他のビデオ機器をつないでダビングする | 66 | |
| **こんなことできるのかな？**<br>そんなときにお読みください。<br>●録画した番組の頭出しをする<br>●再生中の便利な機能<br>●録画に便利な機能<br>●MUSE-NTSCコンバーターを接続する<br>●BSデコーダーを接続する | 見たい番組(録画)を探す(VHSデッキのみ) | 69 | 便利な機能 |
| | 聞きたい音声を選ぶ | 70 | |
| | 再生に便利な機能 | 72 | |
| | 再生中の映像を調節する(VHSデッキのみ) | 75 | |
| | 録画に便利な機能 | 77 | |
| | パソコンを接続する | 80 | |
| | お買い上げ時の設定を変える | 81 | |
| | MUSE-NTSCコンバーターを接続する | 84 | |
| | BSデコーダーを接続する | 85 | |
| **困ったときは…**<br>ここをお読みください。 | 各部の名称 | 89 | その他 |
| | 故障かな？　と思ったら | 96 | |
| | 用語解説 | 99 | |
| | 索引 | 101 | |
| | 主な仕様 | 103 | |
| | 保証とアフターサービス | 105 | |
| | サービス窓口案内 | 106 | |

# 設置と準備の進めかた

自分で本機の接続を行うときは、次の順序に従ってください。

**以上で設置と準備が終わりました。**

- 他メーカー製のテレビを使いたいときや、2台以上のビクター製のビデオデッキを使いたいときに、設定が必要になります。
- BS放送を受信するには、BSアンテナ（別売）が必要になります。
- 通常は「一括チャンネル合わせ」を行えば、それでチャンネル設定は終了です。
- 必要ならば、「受信チャンネルを設定する」を個々のチャンネルに対して行います。(28ページ参照)
- 「一括チャンネル合わせ」だけでチャンネル設定を行ったときは、必要ありません。

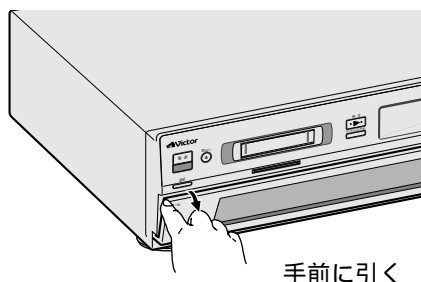
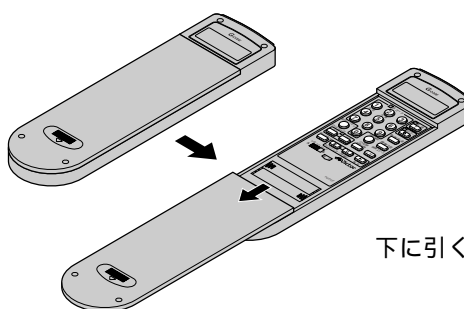
# 付属品を確かめる

## 箱を開け、次の付属品が揃っているか確かめてください。

**乾電池の入れかた**
リモコンに乾電池を入れるときには、⊕と⊖の向きを表示通りに正しく入れてください。
**乾電池交換の目安は**
リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

お願い

**乾電池についてのご注意**
- 付属の乾電池は動作確認用です。
- 長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を抜き、しばらくしてから再度乾電池を入れ、操作してください。

**乾電池を交換するときは**
- 単4乾電池をご使用ください。
- 2本とも新しいものと交換してください(使用済みのものを混ぜないでください)。
- 乾電池の⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- 乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
- 交換後、テレビの操作ができないときは、リモコンの設定をやり直してください(12ページ参照)。

## 本体前面の扉の開けかた

## リモコンのふたの開けかた

# リモコンでビクター製以外のテレビを操作する

## 他のメーカーのテレビを操作できるようにする

本機のリモコンで、国内メーカー10社のテレビを操作できます。お買い上げ時には、ビクター製テレビの操作(電源の入/切、チャンネルの切換、外部入力の切換、音量の調節)ができるようになっています。他社のテレビを操作できるようにするには、次の設定を行ってください。

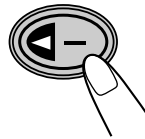
**その前に…**

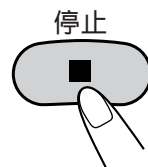
● テレビの電源を切っておきます。

### 1 テレビ電源ボタンを押す

**(手順3の操作が終わるまで、押し続ける)**

### 2 メーカー用のボタンを押す

下の表を見て、テレビのメーカーに対応するボタンを押します。
例)日立のテレビを操作できるようにする

| メーカー名 | ボタン | メーカー名 | ボタン | メーカー名 | ボタン |
|---|---|---|---|---|---|
| ビクター | D V | 日立 | ◀− | シャープ | 送り▼ |
| 松下 | VHS、再生ズーム T | 東芝 | ∘メニュー | パイオニア | 入/切 |
| 三菱 | ▲ | 三洋 | +▶、場面切換 | NEC | 演出効果 |
| ソニー | 再生ズーム W | | | | |

### 3 入力を確定する

● 本機のリモコンの**テレビ電源**ボタンを押して、テレビの電源が入れば、設定は完了です。
テレビの電源が入らないときは、もう1度同じ操作をしてみてください。
松下製や三洋製のテレビをお使いのときは、もうひとつのボタンを押してみてください。

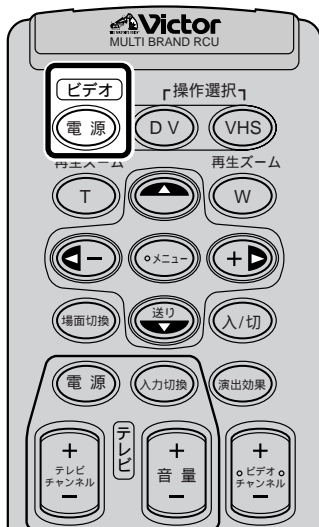
**メモ**

● テレビ操作ができるボタンについては、「各部の名称」のリモコンの説明(92ページ)をご覧ください。
● テレビによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。

**お願い**

● リモコンの電池をはずすと、設定が消えてしまいます。電池を交換したときなどは、もう1度設定し直してください。

# 2台のビクタービデオを操作する

リモコン前面

## リモコンコードを変更する

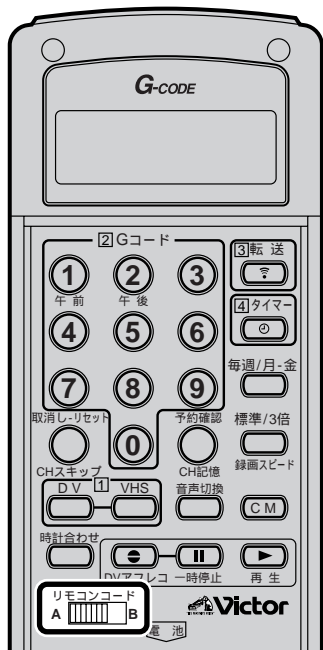
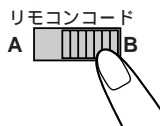
すでにビクター製の他のビデオデッキをお使いになっているときは、本機のリモコンと他機のリモコンのリモコンコードを別のコードにしてお使いください。
リモコンコードには「Aコード」と「Bコード」があります。お買い上げ時には、本機のリモコンは「Aコード」に設定されています。

**その前に…**

● リモコンはビデオデッキに向けて操作します。

**例：Bコードに設定するとき**

リモコン裏面

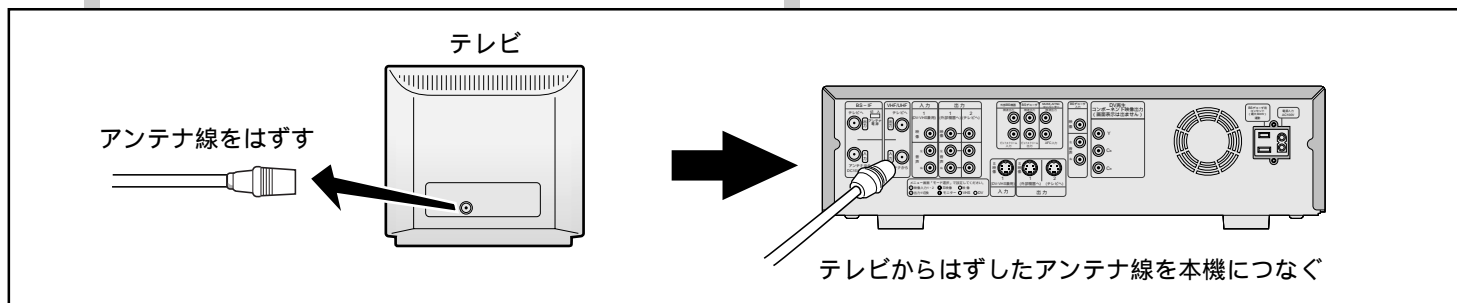
### 1 ビデオデッキ本体の電源プラグを、一度抜き差しする

### 2 リモコンコードをBに変更する

### 3 確認する

ビデオの電源が入れば設定完了です。

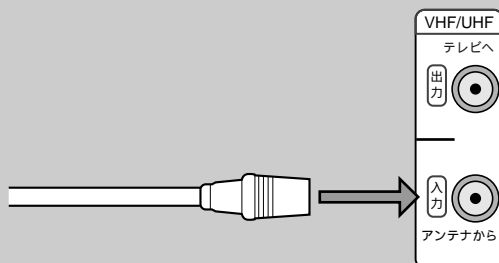
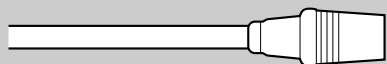
# 本機にアンテナとテレビを接続する

## 1 アンテナ線をテレビからはずす

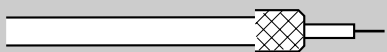
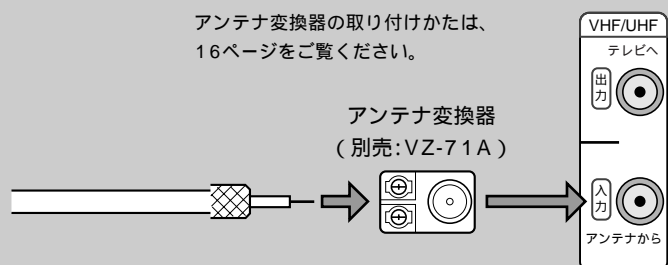
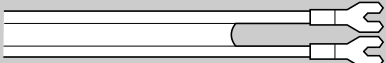
● はずしたアンテナ線の形を確認してください。

## 2 アンテナ線を本機につなぐ

**はずしたアンテナ線によって接続のしかたが異なります。**

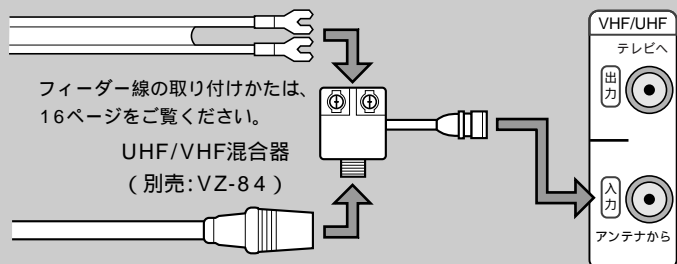
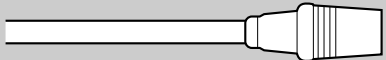
●75Ω同軸ケーブル（プラグ付き）

VHF/UHF
テレビへ
出力
入力
アンテナから

●75Ω同軸ケーブル（プラグなし）

アンテナ変換器の取り付けかたは、16ページをご覧ください。

アンテナ変換器（別売：VZ-71A）

●フィーダー線

と

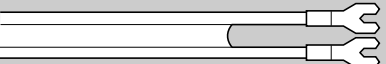
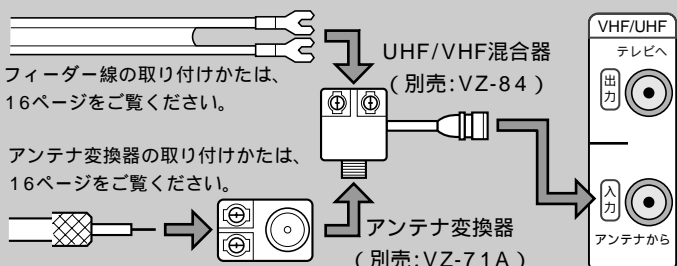
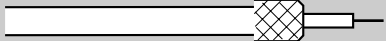
●75Ω同軸ケーブル（プラグ付き）

フィーダー線の取り付けかたは、16ページをご覧ください。

UHF/VHF混合器（別売：VZ-84）

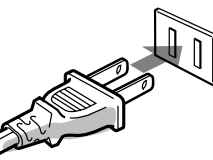
●フィーダー線

と

●75Ω同軸ケーブル（プラグなし）

UHF/VHF混合器（別売：VZ-84）

フィーダー線の取り付けかたは、16ページをご覧ください。

アンテナ変換器の取り付けかたは、16ページをご覧ください。

アンテナ変換器（別売：VZ-71A）

**電源プラグはすべての接続が終了してから、壁のコンセントに差し込みます。**

## 3 本機とテレビをつなぐ

次のページも続けてご覧ください。

本機

テレビ

VHF/UHF
テレビへ
出力
アンテナから

アンテナコード
（付属）

VHF/ UHF

アンテナコード
（付属）

下記を参照

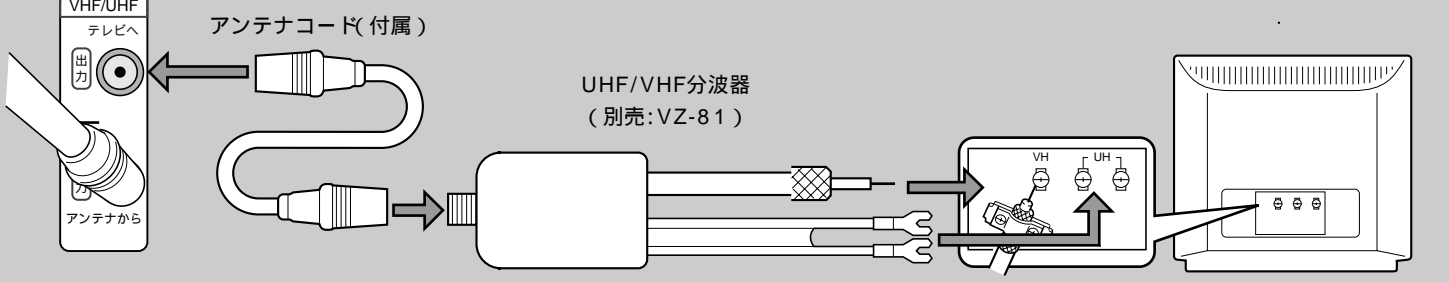
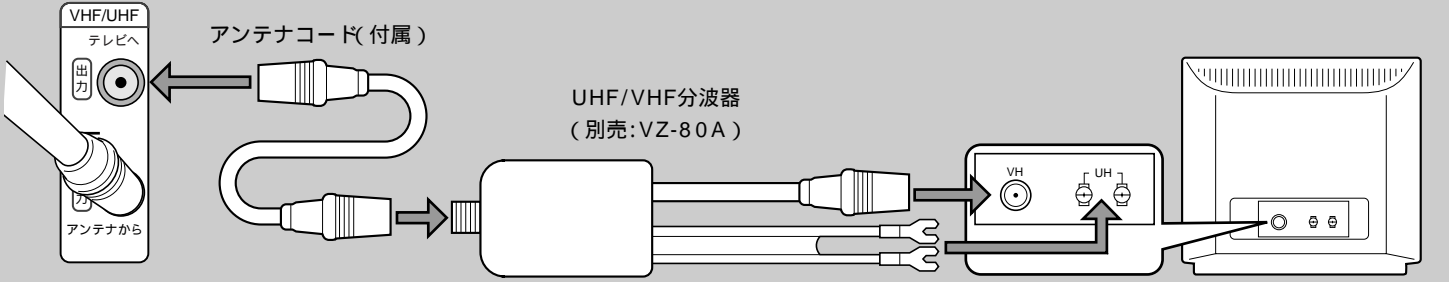
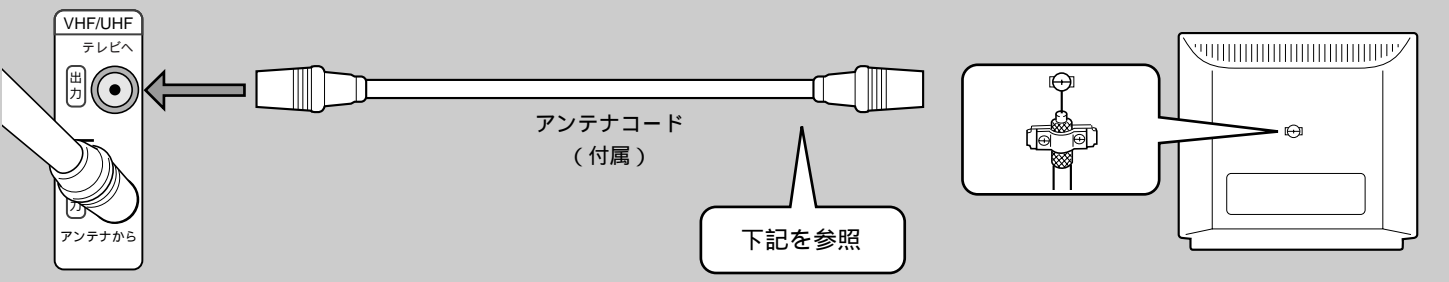
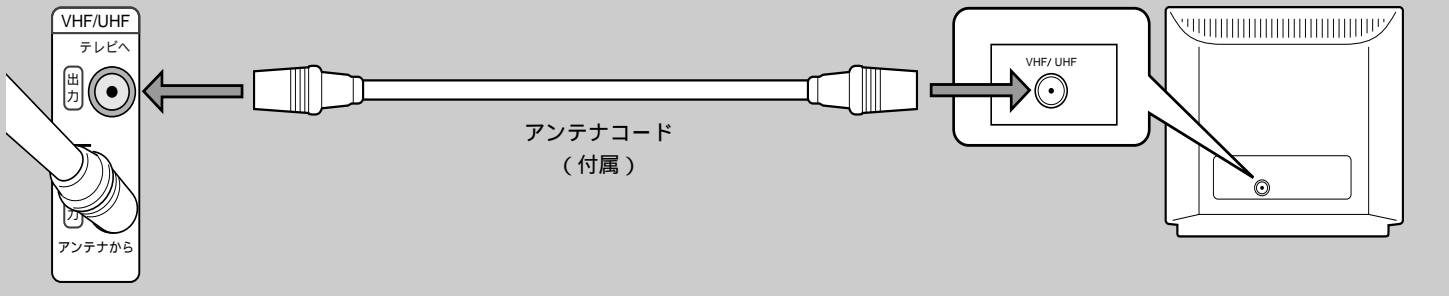
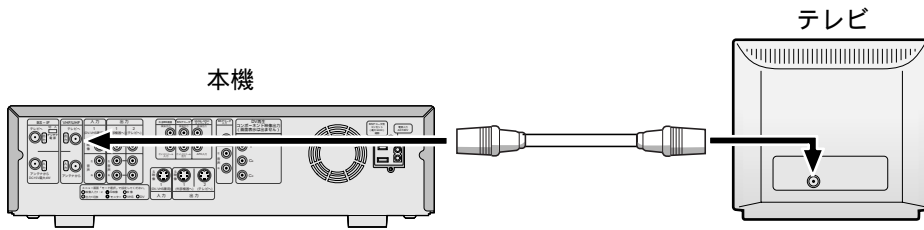
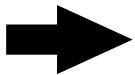
アンテナコード（付属）

UHF/VHF分波器
（別売：VZ-80A）

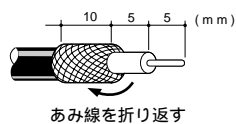
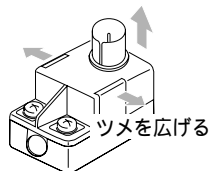
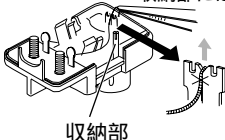
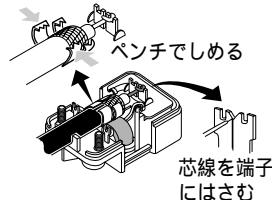
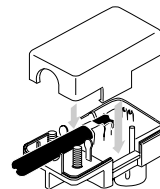
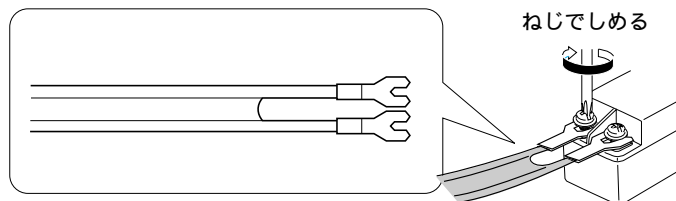
VH
UH

アンテナコード（付属）

UHF/VHF分波器
（別売：VZ-81）

VH
UH

**本機に付属のアンテナコードを加工するときは**

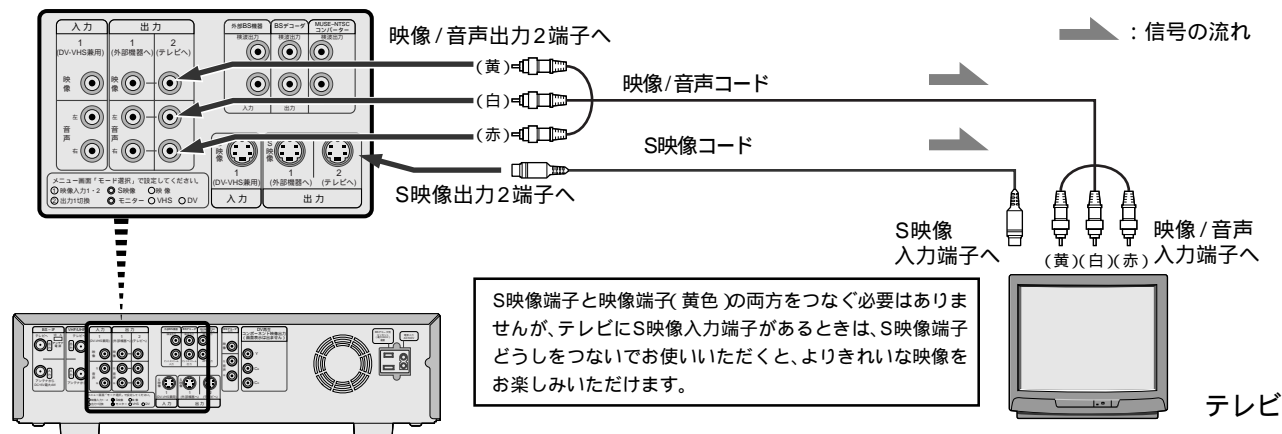
| 切断する。 | 外側のゴムにすじを入れ、切り取る。 | 網線を折り返す。 | 芯線を傷つけないように。 | 芯線を出し、テレビに接続する。 |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |

## ■ アンテナ変換器や混合器の使いかた

## 映像／音声端子につなぐ

テレビの映像/音声入力端子と本機の映像/音声出力2（テレビへ）端子とつないでください。

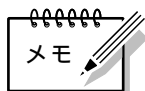
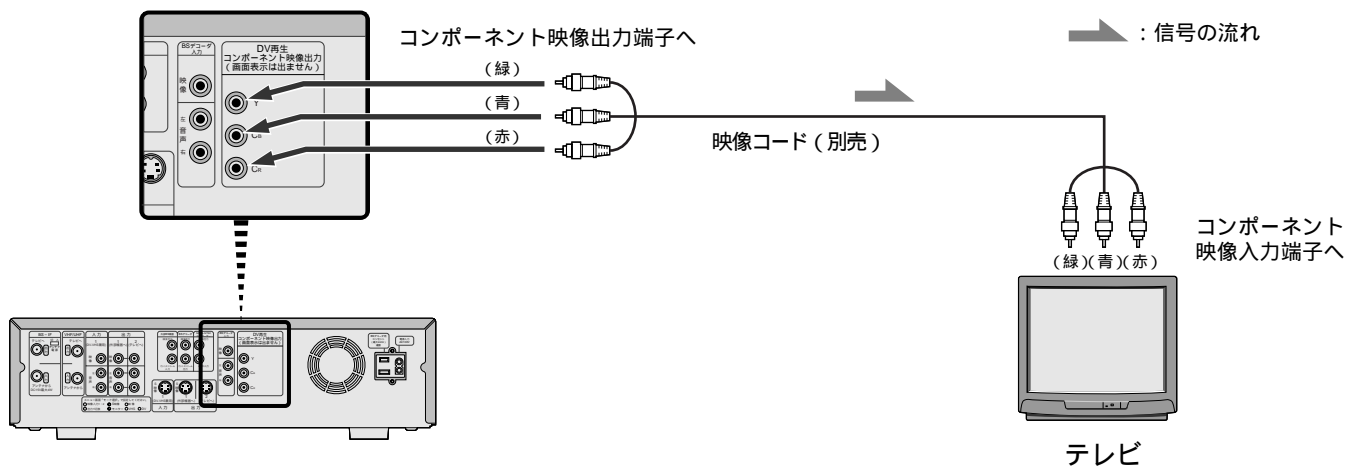
**ビデオを見るときは、**テレビで本機をつないでいる「外部入力」を選びます。

● 「外部入力」の選びかたは、お持ちのテレビの取扱説明書をご覧ください。

S映像端子と映像端子（黄色）の両方をつなぐ必要はありませんが、テレビにS映像入力端子があるときは、S映像端子どうしをつないでお使いいただくと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。

● 映像／音声出力2端子からは、本機で選んでいるチャンネル、または使用中のデッキ（DVまたはVHS）の信号を常に出力します。

● 映像／音声出力1端子にテレビをつないだ場合は、メニューで「出力1切換」を「モニター」にしてください（82ページ参照）。「DV」または「VHS」に設定されていると、どちらか一方のデッキの信号しか出力されず、画面表示も出ません。

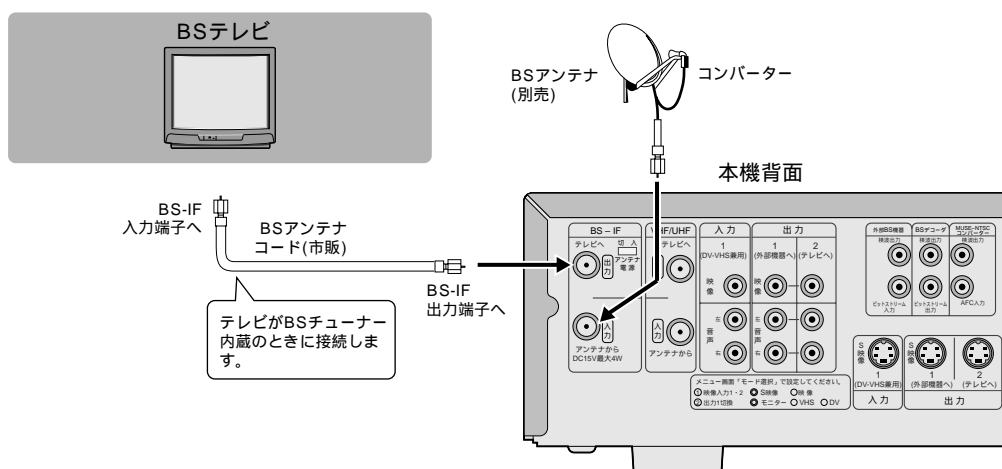
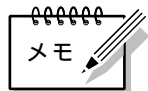
## コンポーネント映像色差入力のあるテレビにつなぐ

コンポーネント映像端子につなぐと、映像端子よりもきれいな画質でお楽しみいただけます。
本機背面のDV再生コンポーネント映像出力端子からはDVデッキの再生映像信号のみが出力されますので、「映像／音声端子につなぐ」（16ページ参照）も必ず行ってください。



● コンポーネント映像出力端子からは、メニュー画面は出力されません。メニューや録画予約の操作を行うときは映像／音声出力2端子につないだ入力に切り換えてください。

# BSアンテナを接続する

BS(衛星)放送を受信するには、専用のBSアンテナ(別売)が必要になります。

**BS(衛星)放送について**
日本の西南、赤道上空約36、000kmにある放送衛星を経由してテレビ電波を受信するシステムです。平成10年8月現在でBS5、7、9、11チャンネルが放送されています。
BS5チャンネルはJSB(日本衛星放送株式会社)がWOWOWを、SDAB(衛星デジタル音楽放送株式会社)がSt.GIGAを有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また、専用のBSデコーダーが必要になります(85ページ参照)。
BS9チャンネルはハイビジョン放送をしています。本機でハイビジョン放送をお楽しみいただくには、MUSE-NTSCコンバーターが必要になります(84ページ参照)。

## アンテナコネクターのつなぎかた

- BSとVHF/UHF/FMの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
  サービス取扱所や家の工務店、管理人の方などにお問い合わせください。
- BSアンテナの設置については、BSアンテナの取扱説明書も合わせてご覧ください。

**接続が終わったら、以下の設定をしてください。(19～20ページ参照)**

**1** 本機背面のアンテナ電源入／切スイッチを切り換える。
**2** 放送されているBSチャンネルを選ぶ
**3** BSアンテナの向きを調節する

BSアンテナの接続後に、以下の設定が必要になります。

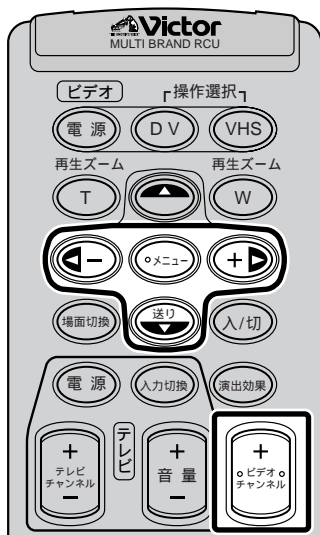
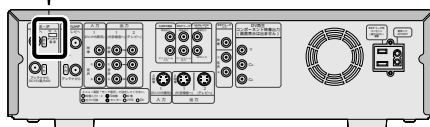
## BS アンテナに電源を供給する

BSアンテナの電源を本機から供給するかどうかを設定します。

メモ

● 本機の他にもBS機器を使っていて、分波器などを使用しているときは、本機のアンテナ電源スイッチを「入」にして、他機の設定は「切」にしてお使いください。

# 本体後面のアンテナ電源入／切スイッチを切り換える

| | |
|---|---|
| **切** | BS放送を共同受信しているとき（マンションなど）。本機からはBSアンテナに電源を供給しません。 |
| **入** | BS放送を個別で受信しているとき。本機からBSアンテナに電源を供給します。 |

## BS アンテナの向きを調節する

BS入力レベルの表示を見ながら、BSアンテナが正しく衛星の方向をむくように調節します。

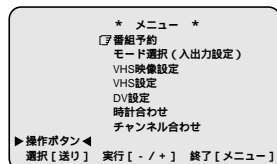
**その前に…**

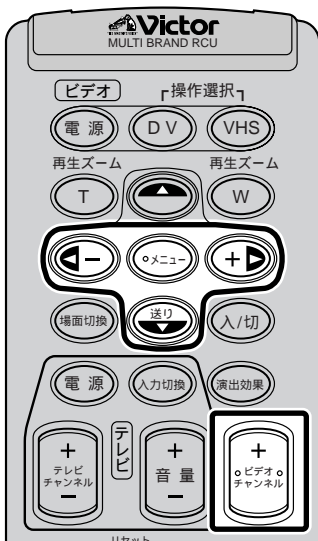
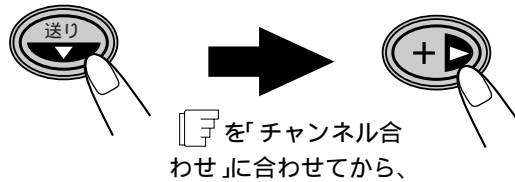
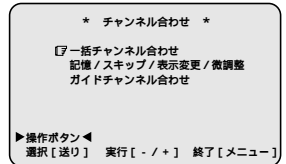
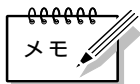
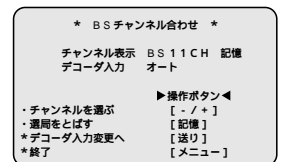
● 本機の電源を入れます。

● テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

## 1 放送のあるBSチャンネルを選ぶ

● 本体の**チャンネル＋/ー**ボタンでも操作できます。

## 2 「メニュー」画面を表示させる

次のページに続く

# BSアンテナを接続する（つづき）

メモ

- 雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着したりすると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が入ったり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるものでBSアンテナや本機の故障ではありません。
- 春分や秋分の前後には、地球の「食」（放送衛星が地球や月の影に入ること）により電波が途切れるため、放送が一時的に休止されることがあります。
- BS入力レベルの表示は、信号と雑音の比を目安として表したもので、電波の強さを示しているわけではありません。映像がきれいに映っていれば、レベルの大小は関係ありません。

## 3 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

## 4 「BSチャンネル合わせ」画面を表示させる

＊　BSチャンネル合わせ　＊

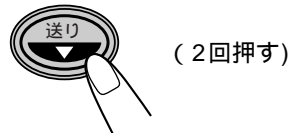
チャンネル表示　BS11CH　記憶
デコーダ入力　オート

▶操作ボタン◀
・チャンネルを選ぶ　［－／＋］
・選局をとばす　［記憶］
＊デコーダ入力変更へ　［送り］
＊終了　［メニュー］

## 5 「BSアンテナ合わせ」画面を表示させる

＊　BSアンテナ合わせ　＊

チャンネル表示　BS11CH　記憶
デコーダ入力　オート
BS入力レベル　120
■■■■■■■■■■■■■■・・・・・・・・・・

▶操作ボタン◀
・チャンネルを選ぶ　［－／＋］
＊BSチャンネル合わせへ　［送り］
＊終了　［メニュー］

- BS番組をうまく受信していないと、ノイズ画面になります。
- **送り**ボタンを3回押すと、手順4の画面に戻ります。そのときは、さらに**送り**ボタンを2回押します。

## 6 テレビ画面で確認しながら、BSアンテナの向きを調節する

- 入力レベルの数値が最大になるように調節します。

## 7 メニュー操作を終了する

# 受信チャンネルを設定する

## 受信チャンネル設定の流れ

本機は、お住まいの地域番号を入力するだけで、チャンネルを自動的に設定します。
また、Gコード録画予約をするためのガイドチャンネルも自動的に設定されます。

● **BSチャンネルの設定は必要ありません。**お買い上げ時には、BS5、7、9、11の各チャンネルが映るように設定されています。ご覧にならないBSチャンネルがあるときに、そのチャンネルを選べなくしたいときは、「不要な放送局を受信できないようにする」（32ページ）をご覧ください。



**24～27ページの「一括チャンネル合わせの地域番号表」に、お住まいの地域が記載されていますか？**

記載されている場合は　　記載されていない場合は

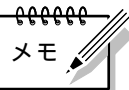
**地域番号を入力する**
（操作方法は次ページ以降を参照）

**受信できる放送局をひとつずつ設定する**
（28ページを参照）

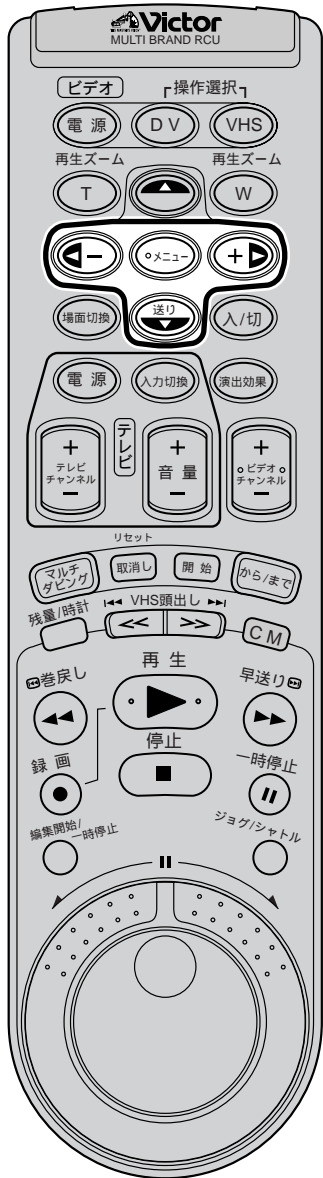
一覧表どおりに、全部の放送局が受信できたら、チャンネル設定は終了です。

● 新たにチャンネルを追加したいとき：
28ページの操作をしてください。
● 受信チャンネルの映りが悪いとき：
30ページの操作をしてください。
● 不要なチャンネルを受信できなくしたいとき：
32ページの操作をしてください。

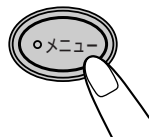
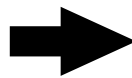
**CATVをご覧になるときは**

● お買い上げ時には、CATV放送のチャンネルは受信できない状態になっています。
● CATV放送のチャンネルは「一括チャンネル合わせ」（22ページ参照）では、設定されません。CATV放送のチャンネルを本機で受信したいときは、受信できるCATV放送を空いているチャンネル番号に割り当ててください。（28ページ参照）

● CATV放送は、サービスの行われている地域でのみ受信できます。
● CATV放送をご覧になるには、使用する機器ごとに受信契約が必要です。
● スクランブル方式など有料のCATV放送のときは、受信契約に加え、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。
● ホームターミナルを使用したときは、ホームターミナル側で見たいチャンネルに合わせ、本機は外部入力（L1/L2）またはビデオチャンネル（1チャンネルか2チャンネル）にします。
● 詳しくは、CATV放送各社にお問い合わせください。

「一括チャンネル合わせ」を行うと、次の2つの項目も自動的に設定されます。

- Gコード録画予約をするために必要な、ガイドチャンネル（34ページ参照）
- 本機に内蔵された時計の誤差を自動的に調節する「ぴったりクロック」（39ページ参照）

## 地域内のテレビ放送局を一括して設定する

**その前に…**

- お住まいの地域の地域番号を確認してください。（24〜27ページ参照）
- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

### 1 「メニュー」画面を表示させる

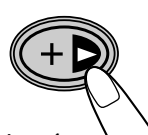
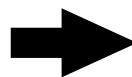
### 2 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

### 3 「一括チャンネル合わせ」画面を表示させる

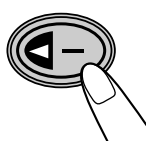
**お願い**

- CATV放送は「一括チャンネル合わせ」では設定できません。

## 4 地域番号を選ぶ

または

＊　一括チャンネル合わせ　＊

地域番号を設定してください
［　０　４　２　］

▶操作ボタン◀
・地域番号選択　［－／＋］
＊チャンネル合わせ実行　［送り］
＊終了　［メニュー］

**例：「042」（東京23区）を選んだとき**

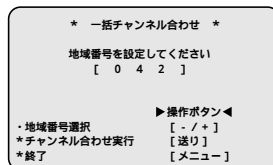
● 押し続けると地域番号が早く変わります。

## 5 一括チャンネル合わせを実行する

＊　一括チャンネル合わせ　＊

一括チャンネル合わせ実行中

［　０　４　２　］

● 「一括チャンネル合わせ」が終了すると、チャンネル番号の一番小さい受信チャンネルの映像がテレビ画面に表示されます。

● 「一括チャンネル合わせ」をすると、放送のない空きチャンネルは、**ビデオチャンネル＋/－**ボタンでは選べなくなります。
● 受信状態があまり良くないときは、「微調整」を行ってください。（30ページ参照）
● 受信できる放送局をひとつずつ設定することもできます。（28ページ参照）
このときは、ガイドチャンネルもひとつずつ設定してください。（34ページ参照）

## 一括チャンネル合わせの地域番号表

お住まいの地域が表中に記載されていないときは、受信できるテレビ局をひとつずつ設定してください。（28ページ参照）
また、表中のガイドチャンネルとは、各テレビ放送局に付けられた、放送局専用の番号です。
Gコードを使って録画の予約をするために必要になります。（実際のチャンネルとは異なる場合があります。）

### この表の見かた

本機でのチャンネル表示番号

| | 地域番号 | 放送局名・受信チャンネル | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 1 | 2 | |
| 都道府県名 | 地域名（対応都市）<br>地域番号 | 放送局名<br>受信チャンネル/ガイドチャンネル | 放送局名<br>受信チャンネル/ガイドチャンネル | 受信チャン |

（1998年9月現在）

| | 地域番号 | 放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| ー | 初期設定<br>000 | 1/– | 2/– | 3/– | 4/– | 5/– | 6/– | 7/– | 8/– | 9/– | 10/– | 11/– | 12/– |
| 北海道 | 札幌（江別）<br>001 | 北海道放送<br>1/1 | | NHK総合<br>3/80 | | 札幌テレビ<br>5/5 | | | 北海道文化<br>27/27 | | 北海道テレビ<br>35/35 | テレビ北海道<br>17/17 | NHK教育<br>12/90 |
| | 小樽<br>002 | | NHK教育<br>2/90 | | 北海道テレビ<br>4/35 | | | 札幌テレビ<br>7/5 | 北海道文化<br>26/27 | 北海道放送<br>9/1 | | NHK総合<br>11/80 | テレビ北海道<br>24/17 |
| | 旭川<br>003 | | NHK教育<br>2/90 | 北海道文化<br>37/27 | | 北海道テレビ<br>39/35 | | 札幌テレビ<br>7/5 | | NHK総合<br>9/80 | | 北海道放送<br>11/1 | テレビ北海道<br>33/17 |
| | 名寄<br>004 | | | 北海道文化<br>26/27 | NHK総合<br>4/80 | | 札幌テレビ<br>6/5 | | 北海道テレビ<br>24/35 | | 北海道放送<br>10/1 | | NHK教育<br>12/90 |
| | 稚内<br>005 | | NHK教育<br>30/90 | 北海道文化<br>26/27 | | 北海道テレビ<br>24/35 | | 札幌テレビ<br>22/5 | | NHK総合<br>28/80 | 北海道放送<br>10/1 | | |
| | 室蘭<br>006 | | NHK教育<br>2/90 | 北海道文化<br>37/27 | | 北海道テレビ<br>39/35 | | 札幌テレビ<br>7/5 | | NHK総合<br>9/80 | | 北海道放送<br>11/1 | テレビ北海道<br>29/17 |
| | 苫小牧<br>007 | | NHK教育<br>49/90 | 北海道文化<br>53/27 | | 北海道テレビ<br>61/35 | | 札幌テレビ<br>57/5 | | NHK総合<br>51/80 | | 北海道放送<br>55/1 | テレビ北海道<br>47/17 |
| | 函館<br>008 | | 北海道文化<br>27/27 | | NHK総合<br>4/80 | | 北海道放送<br>6/1 | | 北海道テレビ<br>35/35 | | NHK教育<br>10/90 | テレビ北海道<br>21/17 | 札幌テレビ<br>12/5 |
| | 帯広<br>009 | | 北海道文化<br>32/27 | | NHK総合<br>4/80 | | 北海道放送<br>6/1 | | 北海道テレビ<br>34/35 | | 札幌テレビ<br>10/5 | | NHK教育<br>12/90 |
| | 釧路<br>010 | | NHK教育<br>2/90 | 北海道文化<br>41/27 | | 北海道テレビ<br>39/35 | | 札幌テレビ<br>7/5 | | NHK総合<br>9/80 | | 北海道放送<br>11/1 | |
| | 網走<br>011 | 北海道放送<br>1/1 | | NHK総合<br>3/80 | | 札幌テレビ<br>5/5 | | | 北海道文化<br>27/27 | | 北海道テレビ<br>35/35 | | NHK教育<br>12/90 |
| | 北見<br>012 | | NHK教育<br>2/90 | 北海道文化<br>59/27 | | 北海道テレビ<br>61/35 | | 札幌テレビ<br>7/5 | | NHK総合<br>9/80 | | 北海道放送<br>53/1 | |
| 青森 | 青森（弘前）<br>013 | 青森放送<br>1/1 | | NHK総合<br>3/80 | 青森朝日<br>34/34 | NHK教育<br>5/90 | | | | | | | 青森テレビ<br>38/38 |
| | 八戸<br>014 | | 岩手めんこい<br>29/33 | | 青森朝日<br>31/34 | | | NHK教育<br>7/90 | | NHK総合<br>9/80 | | 青森放送<br>11/1 | 青森テレビ<br>33/38 |
| | むつ<br>015 | | | | NHK総合<br>4/80 | | 青森朝日<br>56/34 | | 青森テレビ<br>58/38 | | 青森放送<br>10/1 | | NHK教育<br>12/90 |
| 岩手 | 盛岡<br>016 | | | | NHK総合<br>4/80 | | 岩手放送<br>6/6 | | NHK教育<br>8/90 | 岩手朝日<br>31/20 | テレビ岩手<br>35/35 | | 岩手めんこい<br>33/33 |
| | 釜石<br>017 | | NHK総合<br>2/80 | | | | テレビ岩手<br>58/35 | | 岩手めんこい<br>60/33 | 岩手朝日<br>62/20 | 岩手放送<br>10/6 | | NHK教育<br>12/90 |
| | 二戸<br>018 | | 岩手放送<br>2/6 | | | NHK総合<br>5/80 | | | 岩手めんこい<br>29/33 | 岩手朝日<br>61/20 | テレビ岩手<br>37/35 | | NHK教育<br>12/90 |
| 宮城 | 仙台<br>019 | 東北放送<br>1/1 | | NHK総合<br>3/80 | | NHK教育<br>5/90 | | 東日本放送<br>32/32 | | 宮城テレビ<br>34/34 | | | 仙台放送<br>12/12 |
| | 石巻<br>020 | 東北放送<br>59/1 | | NHK総合<br>51/80 | | NHK教育<br>49/90 | | 東日本放送<br>61/32 | | 宮城テレビ<br>55/34 | | | 仙台放送<br>57/12 |
| | 気仙沼<br>021 | | NHK総合<br>2/80 | | 東北放送<br>4/1 | | 仙台放送<br>6/12 | 東日本放送<br>43/32 | | 宮城テレビ<br>37/34 | NHK教育<br>10/90 | | |
| 秋田 | 秋田<br>022 | | NHK教育<br>2/90 | | | 秋田朝日<br>31/31 | | | | NHK総合<br>9/80 | | 秋田放送<br>11/11 | 秋田テレビ<br>37/37 |
| | 大館<br>023 | | | | NHK総合<br>4/80 | 秋田朝日<br>59/31 | 秋田放送<br>6/11 | | NHK教育<br>8/90 | | | | 秋田テレビ<br>57/37 |
| | 大曲<br>024 | | NHK教育<br>43/90 | | | 秋田朝日<br>41/31 | | | | NHK総合<br>45/80 | | 秋田放送<br>47/11 | 秋田テレビ<br>51/37 |

| | 地域番号 | 放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 山形 | 山形 025 | | さくらんぼテレビ 30/30 | | NHK教育 4/90 | | テレビユー山形 36/36 | | NHK総合 8/80 | | 山形放送 10/10 | | 山形テレビ 38/38 |
| 山形 | 鶴岡(酒田) 026 | 山形放送 1/10 | さくらんぼテレビ 24/30 | NHK総合 3/80 | | | NHK教育 6/90 | | テレビユー山形 22/36 | | | | 山形テレビ 39/38 |
| 山形 | 米沢 027 | | さくらんぼテレビ 60/30 | | NHK教育 50/90 | | テレビユー山形 56/36 | | NHK総合 52/80 | | 山形放送 54/10 | | 山形テレビ 58/38 |
| 福島 | 福島（郡山） 028 | | NHK教育 2/90 | | テレビユー福島 31/31 | | 福島中央 33/33 | | | NHK総合 9/80 | 福島放送 35/35 | 福島テレビ 11/11 | |
| 福島 | いわき 029 | | テレビユー福島 62/31 | | NHK総合 4/80 | | 福島中央 58/33 | | 福島テレビ 8/11 | | NHK教育 10/90 | | 福島放送 60/35 |
| 福島 | 会津若松 030 | NHK総合 1/80 | | NHK教育 3/90 | テレビユー福島 47/31 | | 福島テレビ 6/11 | | 福島中央 37/33 | | 福島放送 41/35 | | |
| 茨城 | 水戸（勝田） 031 | NHK総合 44/80 | | NHK教育 46/90 | 日本テレビ 42/4 | | TBS 40/6 | | フジテレビ 38/8 | | テレビ朝日 36/10 | | テレビ東京 32/12 |
| 茨城 | 日立 032 | NHK総合 52/80 | | NHK教育 50/90 | 日本テレビ 54/4 | | TBS 56/6 | | フジテレビ 58/8 | | テレビ朝日 60/10 | | テレビ東京 62/12 |
| 栃木 | 宇都宮 033 | NHK総合 29/80 | | NHK教育 27/90 | 日本テレビ 25/4 | | TBS 23/6 | | フジテレビ 21/8 | | テレビ朝日 19/10 | | テレビ東京 17/12 |
| 栃木 | 矢板 034 | NHK総合 51/80 | | NHK教育 49/90 | 日本テレビ 53/4 | | TBS 55/6 | | フジテレビ 57/8 | | テレビ朝日 59/10 | | テレビ東京 61/12 |
| 群馬 | 前橋（伊勢崎・高崎） 035 | NHK総合 52/80 | | NHK教育 50/90 | 日本テレビ 54/4 | | TBS 56/6 | 放送大学 40/16 | フジテレビ 58/8 | | テレビ朝日 60/10 | 群馬テレビ 48/48 | テレビ東京 62/12 |
| 群馬 | 桐生 036 | NHK総合 43/80 | | NHK教育 45/90 | 日本テレビ 39/4 | | TBS 37/6 | 放送大学 40/16 | フジテレビ 35/8 | | テレビ朝日 33/10 | 群馬テレビ 41/48 | テレビ東京 31/12 |
| 埼玉 | 浦和（三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越） 037 | NHK総合 1/80 | MXテレビ 14/14 | NHK教育 3/90 | 日本テレビ 4/4 | 放送大学 16/16 | TBS 6/6 | | フジテレビ 8/8 | | テレビ朝日 10/10 | テレビ埼玉 38/38 | テレビ東京 12/12 |
| 埼玉 | 熊谷 038 | NHK総合 33/80 | | NHK教育 35/90 | 日本テレビ 25/4 | | TBS 23/6 | | フジテレビ 21/8 | | テレビ朝日 19/10 | テレビ埼玉 28/38 | テレビ東京 17/12 |
| 埼玉 | 秩父 039 | NHK総合 51/80 | | NHK教育 49/90 | 日本テレビ 53/4 | | TBS 55/6 | | フジテレビ 57/8 | | テレビ朝日 59/10 | テレビ埼玉 47/38 | テレビ東京 61/12 |
| 千葉 | 千葉（我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代） 040 | NHK総合 1/80 | MXテレビ 14/14 | NHK教育 3/90 | 日本テレビ 4/4 | 放送大学 16/16 | TBS 6/6 | | フジテレビ 8/8 | | テレビ朝日 10/10 | 千葉テレビ 46/46 | テレビ東京 12/12 |
| 千葉 | 銚子 041 | NHK総合 51/80 | | NHK教育 49/90 | 日本テレビ 53/4 | | TBS 55/6 | | フジテレビ 57/8 | | テレビ朝日 59/10 | 千葉テレビ 39/46 | テレビ東京 61/12 |
| 東京 | 23区（昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹） 042 | NHK総合 1/80 | MXテレビ 14/14 | NHK教育 3/90 | 日本テレビ 4/4 | 放送大学 16/16 | TBS 6/6 | テレビ埼玉 38/38 | フジテレビ 8/8 | テレビ神奈川 42/42 | テレビ朝日 10/10 | 千葉テレビ 46/46 | テレビ東京 12/12 |
| 東京 | 八王子 043 | NHK総合 51/80 | MXテレビ 47/14 | NHK教育 49/90 | 日本テレビ 53/4 | | TBS 55/6 | | フジテレビ 57/8 | | テレビ朝日 59/10 | | テレビ東京 61/12 |
| 東京 | 多摩 044 | NHK総合 30/80 | MXテレビ 28/14 | NHK教育 32/90 | 日本テレビ 26/4 | | TBS 24/6 | | フジテレビ 22/8 | | テレビ朝日 20/10 | | テレビ東京 18/12 |
| 神奈川 | *1 横浜1（横浜の一部） 045 | NHK総合 52/80 | | NHK教育 50/90 | 日本テレビ 54/4 | | TBS 56/6 | | フジテレビ 58/8 | | テレビ朝日 60/10 | テレビ神奈川 48/42 | テレビ東京 62/12 |
| 神奈川 | *1 横浜2（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀） 046 | NHK総合 1/80 | MXテレビ 14/14 | NHK教育 3/90 | 日本テレビ 4/4 | 放送大学 16/16 | TBS 6/6 | | フジテレビ 8/8 | | テレビ朝日 10/10 | テレビ神奈川 42/42 | テレビ東京 12/12 |
| 神奈川 | 平塚（茅ヶ崎） 047 | NHK総合 33/80 | | NHK教育 29/90 | 日本テレビ 35/4 | | TBS 37/6 | | フジテレビ 39/8 | | テレビ朝日 41/10 | テレビ神奈川 31/42 | テレビ東京 43/12 |
| 神奈川 | 秦野 048 | NHK総合 47/80 | | NHK教育 49/90 | 日本テレビ 51/4 | | TBS 53/6 | | フジテレビ 55/8 | | テレビ朝日 57/10 | テレビ神奈川 61/42 | テレビ東京 59/12 |
| 神奈川 | 小田原 049 | NHK総合 52/80 | | NHK教育 50/90 | 日本テレビ 54/4 | | TBS 56/6 | | フジテレビ 58/8 | | テレビ朝日 60/10 | テレビ神奈川 46/42 | テレビ東京 62/12 |
| 山梨 | 甲府 050 | NHK総合 1/80 | | NHK教育 3/90 | | 山梨放送 5/5 | | テレビ山梨 37/37 | | | | | |
| 長野 | 長野1 051 | | NHK総合 44/80 | 長野朝日 50/20 | | テレビ信州 40/30 | | 長野放送 42/38 | | NHK教育 46/90 | | 信越放送 48/11 | |
| 長野 | 長野2 052 | | NHK総合 2/80 | 長野朝日 20/20 | | テレビ信州 30/30 | | 長野放送 38/38 | | NHK教育 9/90 | | 信越放送 11/11 | |
| 長野 | 松本 053 | | NHK総合 44/80 | 長野朝日 50/20 | | テレビ信州 48/30 | | 長野放送 42/38 | | NHK教育 46/90 | | 信越放送 40/11 | |
| 長野 | 飯田 054 | | | NHK教育 3/90 | NHK総合 4/80 | テレビ信州 42/30 | 信越放送 6/11 | | 長野放送 40/38 | | 長野朝日 44/20 | | |
| 長野 | 岡谷・諏訪 055 | | | | NHK総合 4/80 | テレビ信州 59/30 | 信越放送 6/11 | | NHK教育 8/90 | 長野放送 47/38 | 長野朝日 61/20 | | |
| 新潟 | 新潟（長岡） 056 | | | 新潟テレビ21 21/21 | テレビ新潟 29/29 | 新潟放送 5/5 | | | NHK総合 8/80 | | 新潟総合TV 35/35 | | NHK教育 12/90 |
| 新潟 | 上越 057 | NHK教育 1/90 | | NHK総合 3/80 | テレビ新潟 27/29 | | 新潟テレビ21 37/21 | | 新潟総合TV 33/35 | | 新潟放送 10/5 | | |
| 富山 | 富山 058 | 北日本放送 1/1 | | NHK総合 3/80 | | | | | 富山テレビ 34/34 | | NHK教育 10/90 | | チューリップTV 32/32 |
| 富山 | 高岡 059 | 北日本放送 50/1 | | NHK総合 48/80 | | | | | 富山テレビ 44/34 | | NHK教育 46/90 | | チューリップTV 42/32 |

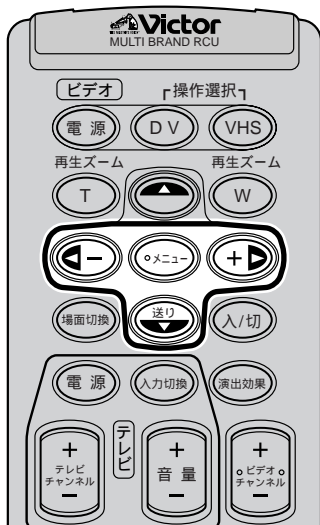
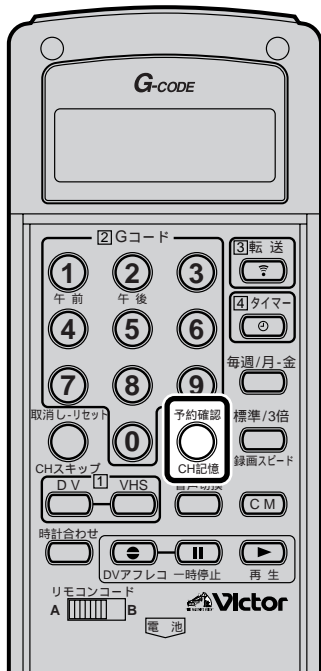
*1 横浜市にお住まいのかたは、通常は「横浜2」をお選びください。
「横浜2」ではうまく受信できないときに、「横浜1」をお選びください。

# 受信チャンネルを設定する（つづき）

| | 地域番号 | 放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 石川 | 金沢（小松）<br>060 | | 石川テレビ<br>37/37 | | NHK総合<br>4/80 | | 北陸放送<br>6/6 | | NHK教育<br>8/90 | | テレビ金沢<br>33/33 | | 北陸朝日<br>25/25 |
| | 七尾<br>061 | テレビ金沢<br>57/33 | | 北陸朝日<br>59/25 | | NHK教育<br>5/90 | | 石川テレビ<br>55/37 | | NHK総合<br>9/80 | | 北陸放送<br>11/6 | |
| 福井 | 福井<br>062 | | | NHK教育<br>3/90 | | | 北陸放送<br>6/6 | | | NHK総合<br>9/80 | | 福井放送<br>11/11 | 福井テレビ<br>39/39 |
| | 敦賀<br>063 | | | | | | NHK総合<br>6/80 | | 福井放送<br>8/11 | | 福井テレビ<br>38/39 | | NHK教育<br>12/90 |
| 岐阜 | 岐阜（大垣）<br>064 | 東海テレビ<br>1/1 | | NHK総合<br>39/80 | | 中部日本放送<br>5/5 | | 中京テレビ<br>35/35 | | NHK教育<br>9/90 | 岐阜放送<br>37/37 | 名古屋テレビ<br>11/11 | テレビ愛知<br>25/25 |
| | 高山<br>065 | | NHK教育<br>2/90 | | NHK総合<br>4/80 | | 中部日本放送<br>6/5 | 中京テレビ<br>26/35 | 東海テレビ<br>8/1 | | 岐阜放送<br>38/37 | | 名古屋テレビ<br>12/11 |
| | 中津川<br>066 | | | | NHK総合<br>4/80 | | 名古屋テレビ<br>6/11 | 中京テレビ<br>26/35 | 中部日本放送<br>8/5 | | 東海テレビ<br>10/1 | 岐阜放送<br>28/37 | NHK教育<br>12/90 |
| 静岡 | 静岡（清水・焼津）<br>067 | | NHK教育<br>2/90 | 静岡第１<br>31/31 | | 静岡朝日<br>33/33 | | テレビ静岡<br>35/35 | | NHK総合<br>9/80 | | 静岡放送<br>11/11 | |
| | 浜松<br>068 | | 静岡第１<br>30/31 | | NHK総合<br>4/80 | | 静岡放送<br>6/11 | | NHK教育<br>8/90 | | 静岡朝日<br>28/33 | | テレビ静岡<br>34/35 |
| | 富士（富士宮）<br>069 | | NHK教育<br>54/90 | 静岡第１<br>27/31 | | 静岡朝日<br>29/33 | | テレビ静岡<br>39/35 | | NHK総合<br>52/80 | | 静岡放送<br>41/11 | |
| | 三島・沼津<br>070 | | NHK教育<br>51/90 | 静岡第１<br>61/31 | | 静岡朝日<br>57/33 | | テレビ静岡<br>59/35 | | NHK総合<br>53/80 | | 静岡放送<br>55/11 | |
| | 島田<br>071 | NHK総合<br>1/80 | | NHK教育<br>3/90 | | 静岡放送<br>5/11 | | 静岡第１<br>48/31 | | | 静岡朝日<br>50/33 | | テレビ静岡<br>58/35 |
| | 藤枝<br>072 | NHK総合<br>42/80 | | NHK教育<br>44/90 | | 静岡放送<br>40/11 | | 静岡第１<br>24/31 | | | 静岡朝日<br>26/33 | | テレビ静岡<br>38/35 |
| 愛知 | 名古屋（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）<br>073 | 東海テレビ<br>1/1 | | NHK総合<br>3/80 | | 中部日本放送<br>5/5 | 岐阜放送<br>37/37 | 中京テレビ<br>35/35 | 三重テレビ<br>33/33 | NHK教育<br>9/90 | | 名古屋テレビ<br>11/11 | テレビ愛知<br>25/25 |
| | 豊橋（豊川）<br>074 | 東海テレビ<br>56/1 | | NHK総合<br>54/80 | | 中部日本放送<br>62/5 | | 中京テレビ<br>58/35 | | NHK教育<br>50/90 | | 名古屋テレビ<br>60/11 | テレビ愛知<br>52/25 |
| | 豊田<br>075 | 東海テレビ<br>57/1 | | NHK総合<br>53/80 | | 中部日本放送<br>55/5 | | 中京テレビ<br>59/35 | | NHK教育<br>51/90 | | 名古屋テレビ<br>61/11 | テレビ愛知<br>49/25 |
| 三重 | 津（鈴鹿・松坂・四日市）<br>076 | 東海テレビ<br>1/1 | | NHK総合<br>31/80 | | 中部日本放送<br>5/5 | | 中京テレビ<br>35/35 | | NHK教育<br>9/90 | 三重テレビ<br>33/33 | 名古屋テレビ<br>11/11 | テレビ愛知<br>25/25 |
| | 伊勢<br>077 | 東海テレビ<br>57/1 | | NHK総合<br>53/80 | | 中部日本放送<br>55/5 | | 中京テレビ<br>47/35 | | NHK教育<br>49/90 | 三重テレビ<br>59//33 | 名古屋テレビ<br>61/11 | |
| | 名張<br>078 | 東海テレビ<br>62/1 | | NHK総合<br>52/80 | | 中部日本放送<br>60/5 | | 中京テレビ<br>54/35 | | NHK教育<br>50/90 | 三重テレビ<br>58/33 | 名古屋テレビ<br>56/11 | |
| 滋賀 | 大津<br>079 | | NHK総合<br>28/80 | | 毎日放送<br>36/4 | | 朝日放送<br>38/6 | 京都テレビ<br>34/34 | 関西テレビ<br>40/8 | | 読売テレビ<br>42/10 | びわ湖放送<br>30/30 | NHK教育<br>46/90 |
| | 彦根<br>080 | | NHK総合<br>52/80 | | 毎日放送<br>54/4 | | 朝日放送<br>58/6 | | 関西テレビ<br>60/8 | | 読売テレビ<br>62/10 | びわ湖放送<br>56/30 | NHK教育<br>50/90 |
| 京都 | 京都（宇治）<br>081 | | NHK総合<br>2/80 | 京都テレビ<br>34/34 | 毎日放送<br>4/4 | テレビ大阪<br>19/19 | 朝日放送<br>6/6 | | 関西テレビ<br>8/8 | | 読売テレビ<br>10/10 | | NHK教育<br>12/90 |
| | 舞鶴<br>082 | | NHK総合<br>51/80 | | 毎日放送<br>53/4 | 京都テレビ<br>57/34 | 朝日放送<br>55/6 | | 関西テレビ<br>59/8 | | 読売テレビ<br>61/10 | | NHK教育<br>49/90 |
| | 福知山<br>083 | | NHK総合<br>50/80 | | 毎日放送<br>54/4 | 京都テレビ<br>56/34 | 朝日放送<br>58/6 | | 関西テレビ<br>60/8 | | 読売テレビ<br>62/10 | | NHK教育<br>52/90 |
| 大阪 | 大阪（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）<br>084 | | NHK総合<br>2/80 | サンテレビ<br>36/36 | 毎日放送<br>4/4 | | 朝日放送<br>6/6 | | 関西テレビ<br>8/8 | テレビ大阪<br>19/19 | 読売テレビ<br>10/10 | | NHK教育<br>12/90 |
| 兵庫 | 神戸<br>085 | | NHK総合<br>28/80 | サンテレビ<br>36/36 | 毎日放送<br>18/4 | | 朝日放送<br>20/6 | | 関西テレビ<br>22/8 | | 読売テレビ<br>24/10 | テレビ大阪<br>19/19 | NHK教育<br>26/90 |
| | 神戸灘<br>086 | | NHK総合<br>52/80 | サンテレビ<br>62/36 | 毎日放送<br>54/4 | | 朝日放送<br>56/6 | | 関西テレビ<br>58/8 | | 読売テレビ<br>60/10 | テレビ大阪<br>19/19 | NHK教育<br>50/90 |
| | 川西<br>087 | | NHK総合<br>29/80 | サンテレビ<br>33/36 | 毎日放送<br>35/4 | | 朝日放送<br>37/6 | | 関西テレビ<br>39/8 | | 読売テレビ<br>41/10 | | NHK教育<br>31/90 |
| | 三木<br>088 | | NHK総合<br>44/80 | サンテレビ<br>36/36 | 毎日放送<br>34/4 | | 朝日放送<br>38/6 | | 関西テレビ<br>40/8 | | 読売テレビ<br>42/10 | | NHK教育<br>46/90 |
| | 姫路<br>089 | | NHK総合<br>50/80 | サンテレビ<br>56/36 | 毎日放送<br>54/4 | | 朝日放送<br>58/6 | | 関西テレビ<br>60/8 | | 読売テレビ<br>62/10 | | NHK教育<br>52/90 |
| | 明石（加古川）<br>090 | | NHK総合<br>51/80 | サンテレビ<br>55/36 | 毎日放送<br>53/4 | | 朝日放送<br>57/6 | | 関西テレビ<br>59/8 | | 読売テレビ<br>61/10 | テレビ大阪<br>19/19 | NHK教育<br>49/90 |
| 奈良 | 奈良（橿原）<br>091 | | NHK総合<br>51/80 | 奈良テレビ<br>55/55 | 毎日放送<br>4/4 | テレビ大阪<br>19/19 | 朝日放送<br>6/6 | | 関西テレビ<br>8/8 | サンテレビ<br>36/36 | 読売テレビ<br>10/10 | | NHK教育<br>12/90 |
| | 五条<br>092 | | NHK総合<br>43/80 | 奈良テレビ<br>41/55 | 毎日放送<br>33/4 | | 朝日放送<br>35/6 | | 関西テレビ<br>37/8 | | 読売テレビ<br>39/10 | | NHK教育<br>45/90 |
| 和歌山 | 和歌山<br>093 | | NHK総合<br>32/80 | テレビ和歌山<br>30/30 | 毎日放送<br>42/4 | | 朝日放送<br>44/6 | | 関西テレビ<br>46/8 | | 読売テレビ<br>48/10 | | NHK教育<br>26/90 |
| | 海南・田辺<br>094 | | NHK総合<br>50/80 | テレビ和歌山<br>56/30 | 毎日放送<br>54/4 | | 朝日放送<br>58/6 | | 関西テレビ<br>60/8 | | 読売テレビ<br>62/10 | | NHK教育<br>52/90 |
| 鳥取 | 鳥取<br>095 | 日本海テレビ<br>1/1 | | NHK総合<br>3/80 | NHK 教育<br>4/90 | | | | 山陰中央<br>24/34 | | 山陰放送<br>22/10 | | |
| 島根 | 松江<br>096 | 日本海テレビ<br>30/1 | | | | | NHK総合<br>6/80 | | 山陰中央<br>34/34 | | 山陰放送<br>10/10 | | NHK教育<br>12/90 |
| | 浜田<br>097 | | NHK総合<br>2/80 | 日本海テレビ<br>54/1 | | 山陰放送<br>5/10 | | | 山陰中央<br>58/34 | NHK教育<br>9/90 | | | |

設置と準備

| | 地域番号 | 放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 岡山 | 岡山（倉敷） 098 | TVせとうち 23/23 | | NHK教育 3/90 | | NHK総合 5/80 | 瀬戸内海放送 25/33 | 岡山放送 35/35 | | 西日本放送 9/9 | | 山陽放送 11/11 | |
| 岡山 | 津山 099 | | NHK総合 2/80 | | TVせとうち 56/23 | | 瀬戸内海放送 62/33 | 山陽放送 7/11 | | 西日本放送 58/9 | | 岡山放送 60/35 | NHK教育 12/90 |
| 岡山 | 笠岡 100 | | NHK総合 2/80 | | NHK教育 4/90 | TVせとうち 19/23 | 山陽放送 6/11 | | | 西日本放送 17/9 | 瀬戸内海放送 21/33 | 岡山放送 60/35 | |
| 広島 | 広島 101 | テレビ新広島 31/31 | | NHK総合 3/80 | 中国放送 4/4 | | | NHK教育 7/90 | | 広島ホームTV 35/35 | | | 広島テレビ 12/12 |
| 広島 | 福山 102 | テレビ新広島 54/31 | | NHK教育 3/90 | | NHK総合 5/80 | | 中国放送 7/4 | | 広島ホームTV 57/35 | | 広島テレビ 11/12 | |
| 広島 | 尾道 103 | NHK総合 1/80 | | | 広島ホームTV 24/35 | | | NHK教育 7/90 | テレビ新広島 26/31 | | 中国放送 10/4 | | 広島テレビ 12/12 |
| 広島 | 呉 104 | NHK教育 1/90 | | | 広島ホームTV 24/35 | 広島テレビ 5/12 | | | テレビ新広島 26/31 | 中国放送 9/4 | | NHK総合 11/80 | |
| 山口 | 山口（徳山・防府） 105 | NHK教育 1/90 | | | | 山口朝日 28/28 | | テレビ山口 38/38 | | NHK総合 9/80 | | 山口放送 11/11 | |
| 山口 | 下関 106 | NHK教育 41/90 | | TXN九州 23/19 | 山口放送 4/11 | 山口朝日 21/28 | | テレビ山口 33/38 | | NHK総合 39/80 | テレビ西日本 10/9 | | |
| 山口 | 宇部 107 | NHK教育 14/90 | | | | 山口朝日 31/28 | | テレビ山口 20/38 | | NHK総合 16/80 | テレビ西日本 10/9 | 山口放送 18/11 | |
| 山口 | 岩国 108 | NHK教育 1/90 | | | | 山口朝日 28/28 | | テレビ山口 22/38 | | NHK総合 9/80 | | 山口放送 11/11 | |
| 徳島 | 徳島 109 | 四国放送 1/1 | | NHK総合 3/80 | 毎日放送 4/4 | | 朝日放送 6/6 | | 関西テレビ 8/8 | | 読売テレビ 10/10 | | NHK教育 38/90 |
| 香川 | 高松 110 | TVせとうち 19/23 | | NHK教育 39/90 | | NHK総合 37/80 | 瀬戸内海放送 33/33 | 岡山放送 31/35 | | 西日本放送 41/9 | | 山陽放送 29/11 | |
| 香川 | 丸亀 111 | TVせとうち 16/23 | | NHK教育 40/90 | | NHK総合 44/80 | 瀬戸内海放送 42/33 | 岡山放送 22/35 | | 西日本放送 20/9 | | 山陽放送 18/11 | |
| 愛媛 | 松山 112 | | NHK教育 2/90 | | あいテレビ 29/29 | | NHK総合 6/80 | | 愛媛放送 37/37 | 愛媛朝日 25/25 | 南海放送 10/10 | テレビ新広島 31/31 | 広島ホームTV 35/35 |
| 愛媛 | 新居浜 113 | | NHK総合 2/80 | | NHK教育 4/90 | | 南海放送 6/10 | | 愛媛放送 36/37 | 愛媛朝日 14/25 | | あいテレビ 27/29 | |
| 愛媛 | 今治 114 | | NHK教育 30/90 | | あいテレビ 27/29 | | NHK総合 32/80 | | 愛媛放送 36/37 | 愛媛朝日 17/25 | 南海放送 34/10 | | |
| 愛媛 | 宇和島 115 | NHK教育 1/90 | | | あいテレビ 34/29 | | NHK総合 6/80 | | 愛媛放送 32/37 | 愛媛朝日 16/25 | 南海放送 10/10 | | |
| 高知 | 高知 116 | | | | NHK総合 4/80 | | NHK教育 6/90 | | 高知放送 8/8 | | テレビ高知 38/38 | | 高知さんさんテレビ 40/40 |
| 福岡 | 福岡 117 | 九州朝日 1/1 | | NHK総合 3/80 | RKB毎日 4/4 | | NHK教育 6/90 | | | テレビ西日本 9/9 | | TXN九州 19/19 | 福岡放送 37/37 |
| 福岡 | 久留米 118 | 九州朝日 57/1 | | NHK総合 46/80 | RKB毎日 48/4 | | NHK教育 54/90 | | | テレビ西日本 60/9 | | TXN九州 14/19 | 福岡放送 52/37 |
| 福岡 | 大牟田 119 | 九州朝日 58/1 | | NHK総合 53/80 | RKB毎日 61/4 | | NHK教育 50/90 | | | テレビ西日本 55/9 | | TXN九州 19/19 | 福岡放送 43/37 |
| 福岡 | 北九州 120 | | 九州朝日 2/1 | TXN九州 23/19 | 福岡放送 35/37 | | NHK総合 6/80 | | RKB毎日 8/4 | | テレビ西日本 10/9 | | NHK教育 12/90 |
| 福岡 | 行橋 121 | | 九州朝日 57/1 | TXN九州 19/19 | 福岡放送 43/37 | | NHK総合 49/80 | | RKB毎日 60/4 | | テレビ西日本 54/9 | | NHK教育 46/90 |
| 佐賀 | 佐賀 122 | | NHK教育 40/90 | 九州朝日 57/1 | RKB毎日 48/4 | TXN九州 14/19 | | サガテレビ 36/36 | テレビ西日本 60/9 | NHK総合 38/80 | | 熊本放送 11/11 | 福岡放送 52/37 |
| 長崎 | 長崎 123 | NHK教育 1/90 | | NHK総合 3/80 | | 長崎放送 5/5 | | 長崎国際 25/25 | | 長崎文化 27/27 | | テレビ長崎 37/37 | |
| 長崎 | 佐世保 124 | | NHK教育 2/90 | | 長崎国際 17/25 | | 長崎文化 31/27 | | NHK総合 8/80 | | 長崎放送 10/5 | | テレビ長崎 35/37 |
| 長崎 | 諫早 125 | NHK教育 45/90 | | NHK総合 47/80 | | 長崎放送 49/5 | | 長崎国際 20/25 | | 長崎文化 24/27 | | テレビ長崎 42/37 | |
| 熊本 | 熊本（八代） 126 | | NHK教育 2/90 | 熊本朝日 16/16 | | 熊本県民 22/22 | | テレビ熊本 34/34 | | NHK総合 9/80 | | 熊本放送 11/11 | |
| 大分 | 大分（別府） 127 | | | NHK総合 3/80 | | 大分放送 5/5 | | テレビ大分 36/36 | | 大分朝日 24/24 | | | NHK教育 12/90 |
| 大分 | 中津 128 | | | NHK総合 48/80 | | 大分放送 51/5 | | テレビ大分 37/36 | | 大分朝日 17/24 | | | NHK教育 45/90 |
| 宮崎 | 宮崎（都城） 129 | | | | | | テレビ宮崎 35/35 | | NHK総合 8/80 | | 宮崎放送 10/10 | | NHK教育 12/90 |
| 宮崎 | 延岡 130 | | NHK教育 2/90 | | NHK総合 4/80 | | 宮崎放送 6/10 | | テレビ宮崎 39/35 | | | | |
| 鹿児島 | 鹿児島 131 | 南日本放送 1/1 | | NHK総合 3/80 | | NHK教育 5/90 | | 鹿児島放送 32/32 | | 鹿児島テレビ 38/38 | | 鹿児島読売 30/30 | |
| 鹿児島 | 阿久根 132 | | 鹿児島読売 17/30 | | 鹿児島放送 23/32 | | 鹿児島テレビ 35/38 | | NHK総合 8/80 | | 南日本放送 10/1 | | NHK教育 12/90 |
| 鹿児島 | 鹿屋 133 | | NHK教育 2/90 | | NHK総合 4/80 | | 南日本放送 6/1 | | 鹿児島放送 31/32 | | 鹿児島テレビ 33/38 | | 鹿児島読売 25/30 |
| 沖縄 | 那覇（沖縄） 134 | | NHK総合 2/80 | | | 琉球朝日 28/28 | | | 沖縄テレビ 8/8 | | 琉球放送 10/10 | | NHK教育 12/90 |

**リモコン表面**

**リモコン裏面**

## 放送局をひとつずつ設定する

次のようなときには、ご自分で放送局をひとつずつ受信できるように設定してください。
- 「一括チャンネル合わせ」（22ページ参照）では受信できない放送局があるとき
- お住まいの地域に新しい放送局ができたとき
- CATV放送のチャンネルを受信できるようにしたいとき

**その前に…**
- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

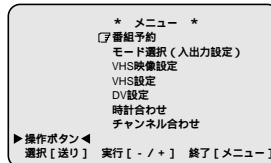
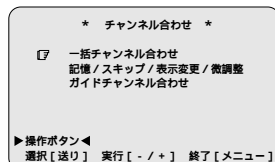
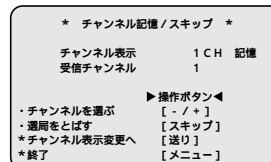
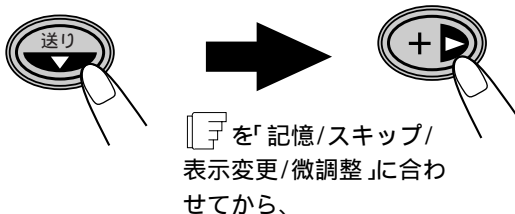
**例：CATV放送の16チャンネル（C16チャンネル：本機での表示は「66チャンネル」）を本機の表示チャンネル「7」で見られるように設定する**
- 本機に表示されるCATV放送の受信チャンネルの番号と実際のCATV放送のチャンネルの番号の違いについては、「主な仕様」（103ページ）をご覧ください。

### 1 「メニュー」画面を表示させる

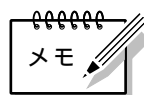
### 2 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

### 3 「チャンネル記憶/スキップ」画面を表示させる

を「記憶/スキップ/表示変更/微調整」に合わせてから、

例：現在受信している放送局が1チャンネルのとき

テレビ画面には現在受信しているチャンネルの映像が、「チャンネル記憶/スキップ」画面と重なって映ります。

## 4 「チャンネル表示」の番号を変える

**「チャンネル表示変更」画面を表示させてから、**

**「チャンネル表示」の番号を選ぶ**

- 手順3のあとで、**送り**ボタンを押すたびに、次の画面がテレビに表示されます。

  「チャンネル表示変更」画面➞
  「受信チャンネル変更」画面➞
  「チャンネル微調整」画面➞
  「チャンネル記憶/スキップ」画面
  （手順3の画面に戻ります。）➞

  変更する必要のない項目があるときは、**送り**ボタンを押して、その項目を抜かして操作してください。
- 受信状態があまり良くないときは、「微調整」を行ってください。（30ページ参照）

## 5 受信チャンネルを変更する

**「受信チャンネル変更」画面を表示させてから、**

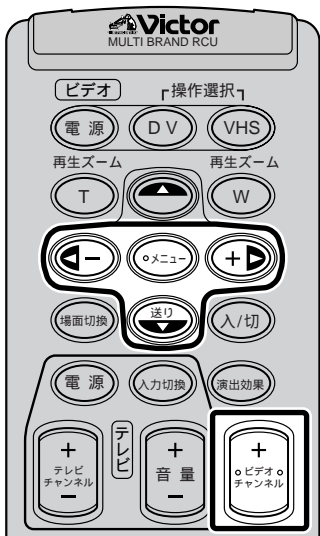
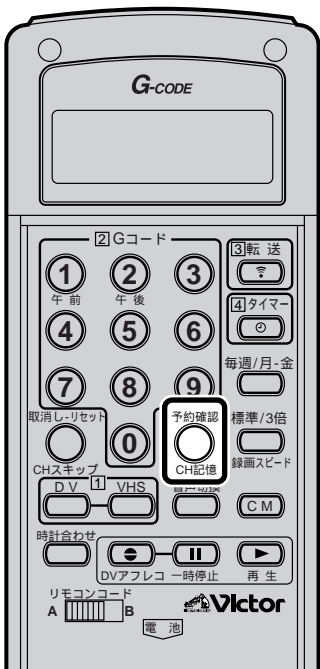
**「受信チャンネル」の番号を選ぶ**

テレビ画面には、新しく選んだ放送局（受信チャンネル）の映像が、「受信チャンネル変更」画面と重なって映ります。

## 6 変更を記憶させる

## 7 メニュー操作を終了する

- 設定が終了したあとで、必ずガイドチャンネルも設定してください。（34ページ参照）

リモコン表面

リモコン裏面

## 映りの悪いチャンネルを微調整する

映像の色がうすく見づらいときは、受信チャンネルを微調整してください。

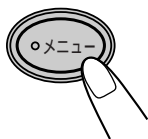
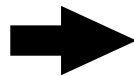
**その前に…**

- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

**例：1チャンネルを微調整するとき**

## 1 映りの悪いチャンネルを選ぶ

テレビ画面には選んだチャンネルの映像が映ります。

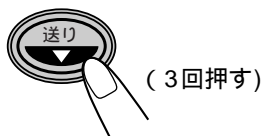
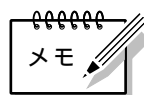
- 本体の**チャンネル＋/ー**ボタンでも操作できます。

## 2 「メニュー」画面を表示させる

## 3 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

## 4 「チャンネル記憶/スキップ」画面を表示させる

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊
チャンネル表示　1CH　記憶
受信チャンネル　1
▶操作ボタン◀
・チャンネルを選ぶ　［－／＋］
・選局をとばす　［スキップ］
＊チャンネル表示変更へ　［送り］
＊終了　［メニュー］

テレビ画面には現在受信しているチャンネルの映像が、「チャンネル記憶/スキップ」画面と重なって映ります。

## 5 「チャンネル微調整」画面を表示させる

（3回押す）

＊　チャンネル微調整　＊

チャンネル表示　　1ＣＨ
受信チャンネル　　1
微調整　　−＊−
▶操作ボタン◀
・微調整をする　［−／＋］
・変えた内容を記憶する　［記憶］
＊チャンネル記憶／スキップへ　［送り］
＊終了　［メニュー］

## 6 微調整を行う

または

＊　チャンネル微調整　＊

チャンネル表示　　1ＣＨ
受信チャンネル　　1
微調整　　−−＊
▶操作ボタン◀
・微調整をする　［−／＋］
・変えた内容を記憶する　［記憶］
＊チャンネル記憶／スキップへ　［送り］
＊終了　［メニュー］

映像を見ながら調整する

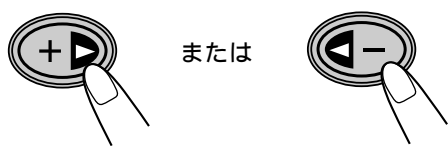
## 7 変更を記憶させる

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

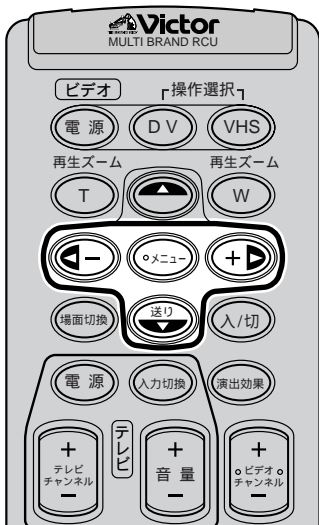
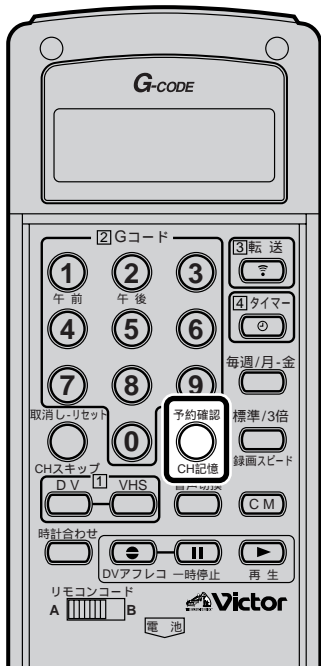
チャンネル表示　　1ＣＨ　記憶
受信チャンネル　　1
▶操作ボタン◀
・チャンネルを選ぶ　［−／＋］
・選局をとばす　［スキップ］
＊チャンネル表示変更へ　［送り］
＊終了　［メニュー］

## 8 メニュー操作を終了する

● 手順4のあとで、**送り**ボタンを押すたびに、次の画面がテレビに表示されます。

「チャンネル表示変更」画面➞
「受信チャンネル変更」画面➞
「チャンネル微調整」画面➞
「チャンネル記憶/スキップ」画面
（手順4の画面に戻ります。）➞

**お願い**

● ＢＳチャンネルでは「微調整」を行うことはできません。BSチャンネルの映りが悪いときは、風などの影響により、BSアンテナの向きが変わってしまったことが原因として考えられます。
このときは、BSアンテナの方向をもう１度調節し直してください。
（１９ページ参照）

リモコン表面

リモコン裏面

## 不要な放送局を受信できないようにする

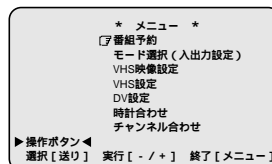
不要な放送局や、映りが悪すぎて見ない放送局などを受信できなくしたい（チャンネルスキップ）ときは、以下の操作を行ってください。BSチャンネルも同じ操作で、受信できなくすることができます。

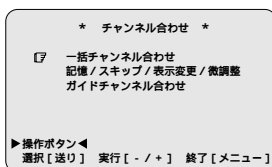
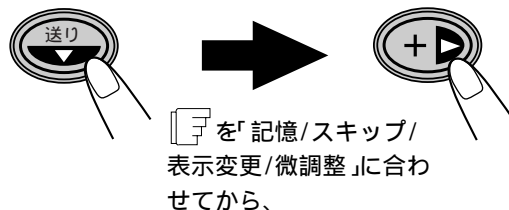
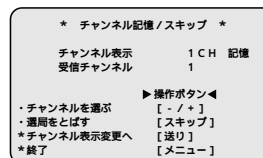
**その前に…**

- 本機の電源を入れる。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

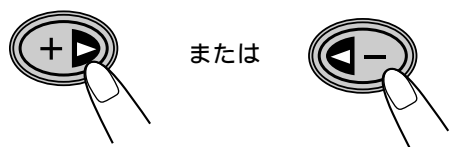
**例：CATV放送の16チャンネル（C16チャンネル：本機での表示は「66チャンネル」）を受信できないようにする**

- 本機に表示されるCATV放送の受信チャンネルの番号と実際のCATV放送のチャンネルの番号の違いについては、「主な仕様」（103ページ）をご覧ください。

### 1 「メニュー」画面を表示させる

### 2 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

### 3 「チャンネル記憶/スキップ」画面を表示させる

を「記憶/スキップ/表示変更/微調整」に合わせてから、

例：現在受信している放送局が1チャンネルのとき

テレビ画面には現在受信しているチャンネルの映像が、「チャンネル記憶/スキップ」画面と重なって映ります。

## 4 受信できなくしたい放送局を選ぶ

または

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　６６ＣＨ　記憶
受信チャンネル　６６

▶操作ボタン◀
・チャンネルを選ぶ　[−／＋]
・選局をとばす　[スキップ]
＊チャンネル表示変更へ　[送り]
＊終了　[メニュー]

テレビ画面には選んだチャンネルの映像が、「チャンネル記憶/スキップ」画面と重なって映ります。

## 5 スキップを設定する

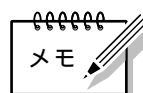
＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　６６ＣＨ　スキップ
受信チャンネル　６６

▶操作ボタン◀
・チャンネルを選ぶ　[−／＋]
・スキップをやめる　[記憶]
＊チャンネル表示変更へ　[送り]
＊終了　[メニュー]

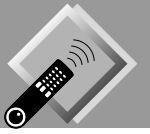
## 6 他の放送局もスキップするときは、手順の4と5をくり返す

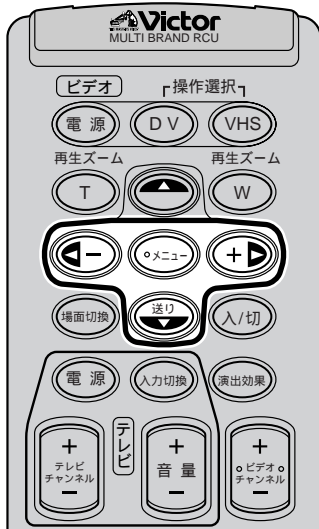
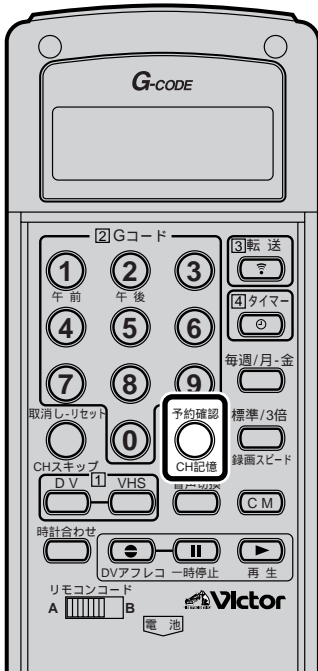
## 7 メニュー操作を終了する

## 放送局を受信できるようにするには

新しい放送局が放送を開始したときなどに、その放送局を受信できるようにします。

**1**　「不要な放送局を受信できないようにする」の手順1から3までを行う
**2**　＋(►)または−(◄)ボタンを押し、受信したい放送局を選ぶ
**3**　**CH記憶**ボタンを押す
**4**　**メニュー**ボタンを押し、メニュー操作を終了する

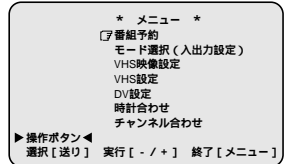
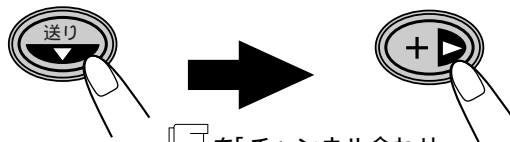
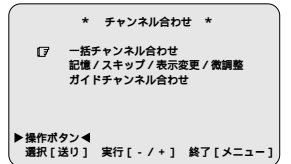
● チャンネル表示も変更したいときは、「放送局をひとつずつ設定する」(28ページ)をご覧ください。
● 受信の状態があまり良くないときは、「微調整」を行ってください。(30ページ参照)
● 放送局を新たに記憶させたときは、その放送局のガイドチャンネルも設定してください。(34ページ参照)

# ガイドチャンネルを設定する

ガイドチャンネルが正しく設定されていないと、Gコードによる録画の予約ができなくなります。
**次のような操作をされたときは、ガイドチャンネルを設定し直す必要があります。**
- 受信チャンネルをひとつずつ設定したとき
- 「一括チャンネル合わせ」(22ページ参照)のあとで、新たな放送局を追加したとき
- チャンネル表示を変えたとき

**リモコン表面**

**リモコン裏面**

**その前に…**
- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

**例：テレビ神奈川（42チャンネル）のチャンネル表示番号を7チャンネルに変えたとき**

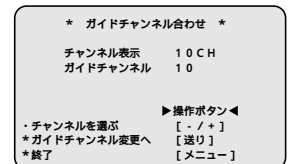
## 1 「メニュー」画面を表示させる

＊ メニュー ＊
☞番組予約
モード選択（入出力設定）
VHS映像設定
VHS設定
DV設定
時計合わせ
チャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
選択［送り］ 実行［−／＋］ 終了［メニュー］

## 2 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

☞を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

現在受信している放送局の設定が表示されます

## 3 「ガイドチャンネル合わせ」画面を表示させる

☞を「ガイドチャンネル合わせ」に合わせてから、

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊
チャンネル表示 10CH
ガイドチャンネル 10
▶操作ボタン◀
・チャンネルを選ぶ ［−／+］
＊ガイドチャンネル変更へ ［送り］
＊終了 ［メニュー］

現在受信している放送局の設定が表示されます

テレビ画面には現在受信しているチャンネルの映像が、「ガイドチャンネル合わせ」画面と重なって映ります。

## 4 設定したい放送局のチャンネル表示番号を選ぶ

● この例では、テレビ画面の「チャンネル表示」欄に「7」を表示させます。

または

## 5 設定したい放送局のガイドチャンネル番号を選ぶ

● この例では、テレビ画面の「ガイドチャンネル」欄に「42」を選びます。
実際に設定をするときは、37ページのガイドチャンネル一覧表を参照してください。

「ガイドチャンネル」を選んでから、

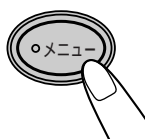
または

## 6 変更を確定する

## 7 他の放送局もガイドチャンネルを設定するときは、手順の4から6をくり返す

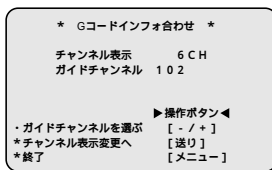
## 8 メニュー操作を終了する

メモ

● ガイドチャンネルとは、Gコード予約で放送局を正しく受信するために付けられた、その放送局専用の番号です。実際のチャンネルとは異なることがありますのでご注意ください。

## G コードインフォのガイドチャンネルを設定する

Gコードインフォとは、近い将来に始められる放送(「0」から始まるGコードが使われます。)です。その放送をGコードを使って録画予約するためには、やはりGコードインフォのためのガイドチャンネルを設定する必要があります。
同一ネットワーク内の放送局には、すべて同じGコードインフォのガイドチャンネルが割り当てられます。

録画予約の方法はGコード録画予約(50ページ参照)と同じです。
ただし、**Gコードインフォのサービスが始まるまで使用できません。**

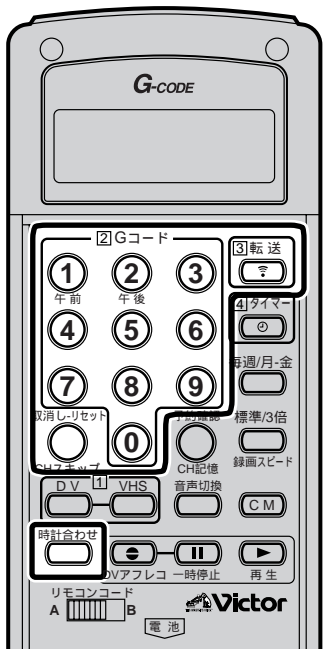
**Gコードインフォの設定のしかたは、各放送局のガイドチャンネルの設定の方法と同じです。**
前ページの手順5で送りボタンを2回押すと「Gコードインフォ合わせ」画面が表示されます。

＋(▶)またはー(◀)ボタンを押すとガイドチャンネル番号「１０２」〜「１０６」(Gコードインフォのガイドチャンネルは3桁の番号)が表示されます。

## ガイドチャンネル一覧表

（1998年9月現在）

| 地域 | | 放送局 | ガイドチャンネル | Gコードインフォのガイドチャンネル |
|---|---|---|---|---|
| 全国共通 | | NHK総合 | 80 | － |
| | | NHK教育 | 90 | － |
| | | BS1 | 71 | － |
| | | BS3 | 72 | － |
| | | BS5　ＷＯＷＯＷ | 73 | － |
| | | BS7　NHK衛星第1 | 74 | － |
| | | BS9　ハイビジョン放送 | 75 | － |
| | | BS11 NHK衛星第2 | 76 | － |
| | | BS13 | 77 | － |
| | | BS15 | 78 | － |
| CATV／CS放送 | | 日本テレビケーブルニュース | 40 | － |
| | | CSN1ムービーチャンネル | 49 | － |
| | | チャンネルNECO | 50 | － |
| | | ゴルフネットワーク | 51 | － |
| | | CNN | 81 | － |
| | | MTV | 82 | － |
| | | スター・チャンネル | 83 | － |
| | | スペースシャワーTV | 84 | － |
| | | スポーツ・アイ | 85 | － |
| | | 衛星劇場 | 86 | － |
| | | GAORA（ガオラ） | 87 | － |
| | | ホームチャンネル | 88 | － |
| | | スカイ・A | 89 | － |
| | | BBC | 91 | － |
| | | ファミリー劇場 | 92 | － |
| | | スーパーチャンネル | 93 | － |
| | | ザ・ゴルフ・チャンネル | 94 | － |
| | | 朝日ニュースター | 99 | － |
| ●北海道・東北 | 北海道 | 北海道放送（HBC） | 1 | 102 |
| | | 札幌テレビ（STV） | 5 | 103 |
| | | テレビ北海道（TVH） | 17 | 106 |
| | | 北海道文化（UHB） | 27 | 104 |
| | | 北海道テレビ（HTB） | 35 | 105 |
| | 青森 | 青森放送（RAB） | 1 | 103 |
| | | 青森朝日（ABA） | 34 | 105 |
| | | 青森テレビ（ATV） | 38 | 102 |
| | 岩手 | 岩手放送（IBC） | 6 | 102 |
| | | 岩手朝日（IAT） | 20 | 105 |
| | | めんこい（MIT） | 33 | 104 |
| | | テレビ岩手（TVI） | 35 | 103 |
| | 秋田 | 秋田放送（ABS） | 11 | 103 |
| | | 秋田朝日（AAB） | 31 | 105 |
| | | 秋田テレビ（AKT） | 37 | 104 |
| | 宮城 | 東北放送（TBC） | 1 | 102 |
| | | 仙台放送（OX） | 12 | 104 |
| | | 東日本放送（KHB） | 32 | 105 |
| | | 宮城テレビ（MMT） | 34 | 103 |
| | 山形 | 山形放送（YBC） | 10 | 103 |
| | | さくらんぼテレビ（SAY） | 30 | 104 |
| | | テレビユー山形（TUY） | 36 | 102 |
| | | 山形テレビ（YTS） | 38 | 105 |
| | 福島 | 福島テレビ（FTV） | 11 | 104 |
| | | テレビユー福島（TUF） | 31 | 102 |
| | | 福島中央（FCT） | 33 | 103 |
| | | 福島放送（KFB） | 35 | 105 |
| ●関東・甲信越 | 関東 | 日本テレビ（NTV） | 4 | 103 |
| | | TBSテレビ（TBS） | 6 | 102 |
| | | フジテレビ（CX） | 8 | 104 |
| | | テレビ朝日（ANB） | 10 | 105 |
| | | テレビ東京（TX） | 12 | 106 |
| | | 東京メトロポリタン（MXテレビ） | 14 | － |
| | | 放送大学 | 16 | － |
| | | テレビ埼玉（TVS） | 38 | － |
| | | テレビ神奈川（TVK） | 42 | － |
| | | 千葉テレビ（CTC） | 46 | － |
| | | 群馬テレビ（GTV） | 48 | － |
| | 新潟 | 新潟放送（BSN） | 5 | 102 |
| | | 新潟テレビ21（NT21） | 21 | 105 |
| | | テレビ新潟（TNN） | 29 | 103 |
| | | 新潟総合（NST） | 35 | 104 |
| | 長野 | 信越放送（SBC） | 11 | 102 |
| | | 長野朝日（ABN） | 20 | 105 |
| | | テレビ信州（TSB） | 30 | 103 |
| | | 長野放送（NBS） | 38 | 104 |
| | 山梨 | 山梨放送（YBS） | 5 | 103 |
| | | テレビ山梨（UTY） | 37 | 102 |
| ●中部 | 静岡 | 静岡放送（SBS） | 11 | 102 |
| | | 静岡第一（SDT） | 31 | 103 |
| | | 静岡朝日テレビ(SATV) | 33 | 105 |
| | | テレビ静岡（SUT） | 35 | 104 |
| | 中京 | 東海テレビ（THK） | 1 | 104 |
| | | 中部日本放送（CBC） | 5 | 102 |
| | | 名古屋テレビ（NBN） | 11 | 105 |
| | | テレビ愛知（TVA） | 25 | 106 |
| | | 三重テレビ（MTV） | 33 | － |
| | | 中京テレビ（CTV） | 35 | 103 |
| | | 岐阜放送（GBS） | 37 | － |
| | 富山 | 北日本放送（KNB） | 1 | 103 |
| | | チューリップTV（TUT） | 32 | 102 |
| | | 富山テレビ（T34） | 34 | 104 |
| | 石川 | 北陸放送（MRO） | 6 | 102 |
| | | 北陸朝日（HAB） | 25 | 105 |
| | | テレビ金沢（KTK） | 33 | 103 |
| | | 石川テレビ（ITC） | 37 | 104 |
| | 福井 | 福井放送（FBC） | 11 | 103､105 |
| | | 福井テレビ（FTB） | 39 | 104 |
| ●関西・中国 | 関西 | 毎日放送（MBS） | 4 | 102 |
| | | 朝日放送（ABC） | 6 | 105 |
| | | 関西テレビ（KTV） | 8 | 104 |
| | | 読売テレビ（YTV） | 10 | 103 |
| | | テレビ大阪（TVO） | 19 | 106 |
| | | テレビ和歌山（WTV） | 30 | － |
| | | びわ湖放送（BBC） | 30 | － |
| | | 京都テレビ（KBS） | 34 | － |
| | | サンテレビ（SUN） | 36 | － |
| | | 奈良テレビ（TVN） | 55 | － |
| | 岡山 | 西日本放送（RNC） | 9 | 103 |
| | | 山陽放送（RSK） | 11 | 102 |
| | | テレビせとうち(TSC) | 23 | 106 |
| | | 瀬戸内海放送（KSB） | 33 | 105 |
| | | 岡山放送（OHK） | 35 | 104 |
| | 広島 | 中国放送（RCC） | 4 | 102 |
| | | 広島テレビ（HTV） | 12 | 103 |
| | | テレビ新広島（TSS） | 31 | 104 |
| | | 広島ホーム（HOME） | 35 | 105 |
| | 鳥取島根 | 日本海テレビ（NKT） | 1 | 103 |
| | | 山陰放送（BSS） | 10 | 102 |
| | | 山陰中央（TSK） | 34 | 104 |
| | 山口 | 山口放送（KRY） | 11 | 103 |
| | | 山口朝日（YAB） | 28 | 105 |
| | | テレビ山口（TYS） | 38 | 102 |
| ●四国 | 香川 | 西日本放送（RNC） | 9 | 103 |
| | | 山陽放送（RSK） | 11 | 102 |
| | | テレビせとうち（TSC） | 23 | 106 |
| | | 瀬戸内海放送（KSB） | 33 | 105 |
| | | 岡山放送（OHK） | 35 | 104 |
| | 愛媛 | 南海放送（RNB） | 10 | 103 |
| | | あいテレビ（ITV） | 29 | 102 |
| | | 愛媛放送（EBC） | 37 | 104 |
| | 徳島 | 四国放送（JRT） | 1 | 103 |
| | 高知 | 高知放送（RKC） | 8 | 103 |
| | | テレビ高知（KUTV） | 38 | 102 |
| | | さんさんテレビ（KSS） | 40 | 104 |
| ●九州 | 福岡 | 九州朝日（KBC） | 1 | 105 |
| | | RKB毎日（RKB） | 4 | 102 |
| | | テレビ西日本（TNC） | 9 | 104 |
| | | TXN九州（TVQ） | 19 | 106 |
| | | 福岡放送（FBS） | 37 | 103 |
| | 大分 | 大分放送（OBS） | 5 | 102 |
| | | 大分朝日（OAB） | 24 | 105 |
| | | テレビ大分（TOS） | 36 | 103､104 |
| | 佐賀 | サガテレビ（STS） | 36 | 104 |
| | 長崎 | 長崎放送（NBC） | 5 | 102 |
| | | 長崎国際（NIB） | 25 | 103 |
| | | 長崎文化（NCC） | 27 | 105 |
| | | テレビ長崎（KTN） | 37 | 104 |
| | 熊本 | 熊本放送（RKK） | 11 | 102 |
| | | 熊本朝日（KAB） | 16 | 105 |
| | | 熊本県民（KKT） | 22 | 103 |
| | | テレビ熊本（TKU） | 34 | 104 |
| | 宮崎 | 宮崎放送（MRT） | 10 | 102 |
| | | テレビ宮崎（UMK） | 35 | 103,104,105 |
| | 鹿児島 | 南日本放送（MBC） | 1 | 102 |
| | | 鹿児島読売テレビ(KYT) | 30 | 103 |
| | | 鹿児島放送（KKB） | 32 | 105 |
| | | 鹿児島テレビ（KTS） | 38 | 104 |
| | 沖縄 | 沖縄テレビ（OTV） | 8 | 104 |
| | | 琉球放送（RBC） | 10 | 102 |
| | | 琉球朝日（QAB） | 28 | 105 |

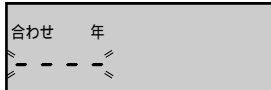
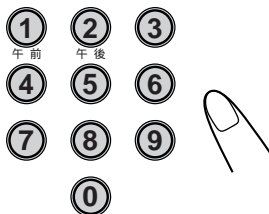
# 日付と時刻を設定する

お買い上げ時には時計は設定されていません。始めに正しい日付と時刻を設定してください。

## 1 リモコン表示窓に時計合わせ画面を表示する

リモコン表示窓

合わせ　年
- - - -

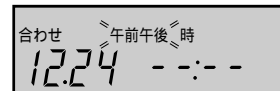
## 2 年、月、日を入力する

合わせ　年
1999

- 年→月→日の順に入力します。
- 年は西暦（4桁）で入力します。
- 月、日がひと桁の場合は、先に「0」を入力します。

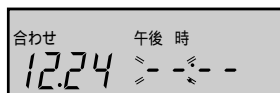
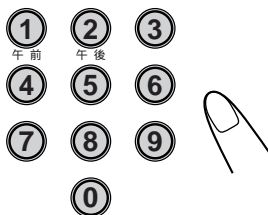
- **設定中に間違えて入力したら**
  取消しボタンを押して、もう1度数字ボタンで入力してください。

## 3 午前、午後を合わせる

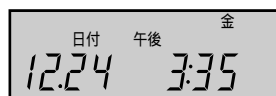
午前にする場合　　午後にする場合

合わせ　午前午後　時
12.24　- -:- -

- 正午は午後0:00、深夜0時は午前0:00です。

## 4 時刻を入力する

合わせ　午後　時
12.24　- -:- -

- 時→分の順に合わせます。
- ひと桁の場合は、「0」を先に入力します。

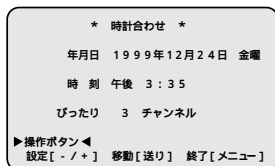
## 5 本体に転送する

日付 午後 金
12.24 3:35

リモコンと本体の時計が同時に動き始めます。

● 正確に合わせたいときは時報に合わせて、**転送**ボタンを押してください。

## ぴったりクロックのチャンネルを合わせる

ぴったりクロックは、自動的にテレビの時報に合わせて本機に内蔵されている時計を修正する機能です。NHK教育テレビの時報(7時、12時、19時)に合わせます。
「地域内のテレビ放送局を一括して設定する」(22ページ参照)を行ったときは、ぴったりクロックも自動的に設定されますので、設定しなおす必要はありません。
「放送局をひとつずつ設定する」(28ページ参照)で、NHK教育テレビのチャンネル表示を変更したときは、ぴったりクロックを設定しなおしてください。

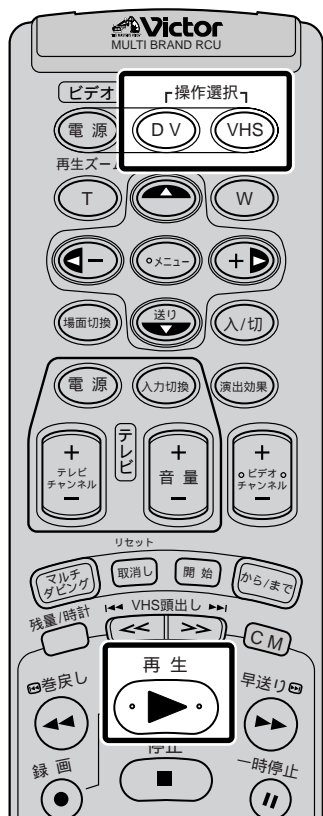
1 **メニュー**ボタンを押す
2 **送り**ボタンを押し、☞を「時計合わせ」に合わせて、**＋(►)**ボタンを押す
「時計合わせ」画面が表示されます。

3 **送り**ボタンを押して「ぴったり」を選ぶ
4 **＋(►)**または**ー(◄)**ボタンを押して、NHK教育テレビのチャンネルを選ぶ
5 **メニュー**ボタンを押し、メニュー操作を終了する

● 次のようなときは、ぴったりクロックは働きません。
- 時報が放送されていないとき
- 本機の電源が入っているとき
- 現在時刻とのずれが±3分以上あるとき
- 時報のバックに音楽が入っているとき
- 本体のデジタルCS予約ランプが点灯しているとき

● 「時計合わせ」画面では、日付と時刻の設定をすることもできます。

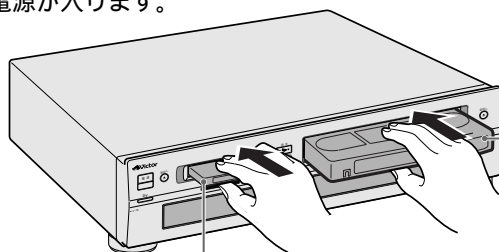
## ビデオを見る

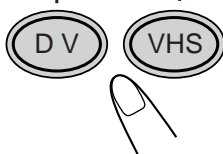
はじめに、ビデオテープを再生してみましょう。

● **リモコンの準備、テレビと本機の接続**が終わっていないときは、先に「設置と準備」編（10〜39ページ）をご覧ください。

**その前に…**

● 本機の電源を入れます。
● テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

### 1 ミニDVカセットまたはVHSカセットを入れる

電源が入ります。

**テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。カセットが自動的に引き込まれるまで確実に挿入してください。**
**両方のカセットを入れる必要はありません。**

### 2 使用するデッキを選ぶ

● カセット挿入口の下のラインライトが点灯して選んだデッキが操作できるようになります。
● リモコン表面（シャトルリングのあるほう）または本体のDV、VHSボタンを使います。

**DVボタン**
DVデッキを使うときに押します。

**DVラインライト**

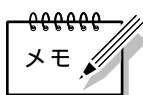
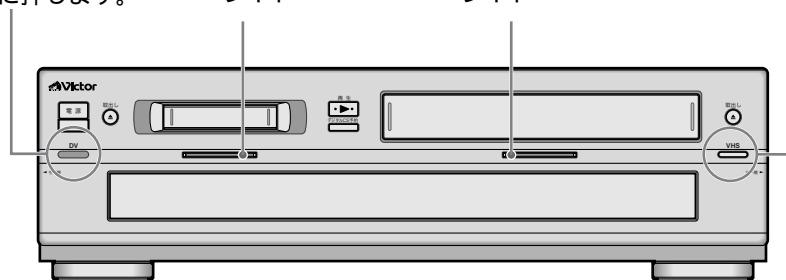
**VHSラインライト**

**VHSボタン**
VHSデッキを使うときに押します。

### 3

**再 生**

再生が始まります。

メモ

● 手順1で、VHSデッキにつめのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。
または、DVデッキに誤消去防止ツマミが「SAVE」になっているミニDVカセットを入れると自動的に再生が始まります。

メモ

● 再生中や早送り中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻戻されます。

## 再生をやめる

**再生中に**

## 早送り/巻戻しをする

**停止中に**

**早送りをするときは:**

**巻戻しをするときは:**

**早送り/巻戻しをやめるには、停止**(■)ボタンを押します。

## 再生を一時停止する

**再生中に**

再生が一時停止されて、静止画がテレビ画面に映ります。
**通常の再生に戻すには、再生**(▶)ボタンを押します。

## テープを取り出す

**停止中に**

本体のボタンでのみできます。

- 予約録画待機中(本体表示窓に「 ◴ 」が点灯中)やデジタルCS予約録画待機中(本体表示窓に「CS」が点灯中)は操作できません。

## 映像を見ながら早送り/巻戻しする

**再生中に**

**早送りをするときは:**

早送り

**巻戻しをするときは:**

**通常の再生に戻すには、再生**(▶)ボタンを押します。

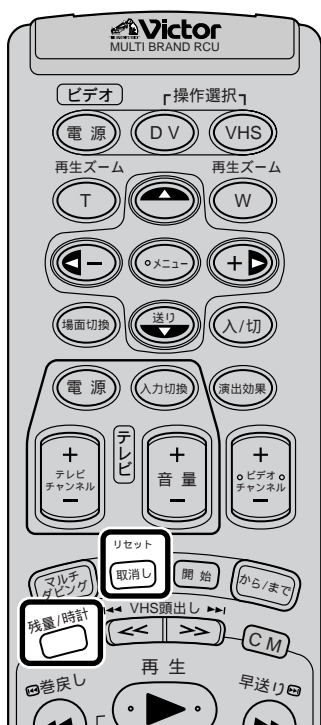
- ボタンを2秒以上押し続けると、押している間、早送り/巻戻しされます。
  指を離すと通常の再生に戻ります。
- 再生中の早送り／巻き戻しのスピードは下のようになります。
  録画スピード「標準」で録画されたVHS(S-VHS)カセット:通常再生の7倍のスピード
  録画スピード「3倍」で録画されたVHS(S-VHS)カセット:通常再生の21倍のスピード
  ミニDVカセット:通常再生の約10倍のスピード

**著作権について**
本機で再生されるソフトに著作権保護のための信号が記録されている場合には、本機で再生した信号の他機での記録が制限される場合があります。

- 一時停止(静止画再生)がVHSデッキで5分以上、DVデッキで3分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 一時停止(静止画再生)中には、コマ送りができます。
  詳しくは、「コマ送り再生する」(72ページ)をご覧ください。

**録画スピード「3倍」で録画したVHS(S-VHS)カセットを再生中に、映像が上下に揺れるときは**
メニューの「VHS映像設定」で「Vスタビライズ」(ビデオスタビライザー)を「入」にしてください。(83ページ参照)
映像の上下の揺れが補正されます。
**テープを見終わったあとは、必ず「Vスタビライズ」を「切」に戻してください。**

- 録画中やスロー再生中などには、効果はありません。
- メニューの「VHS映像設定」で「Vスタビライズ」を「入」にすると、自動的に「629TBC」は「切」になります。(76ページ参照)

基本操作

## テープの残り時間などを調べる

本体の表示窓やテレビ画面に表示されているカウンターの表示を切り換えることができます。まずVHSボタンまたはDVボタンを押して、操作するデッキを選んでください。

押すたびに、表示窓の表示が次のように切り換わります。

**VHS表示窓**

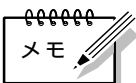
**テープの残量表示* → チャンネル表示** → 時計表示 → カウンター表示 → テープの残量表示 → …**

**DV表示窓**

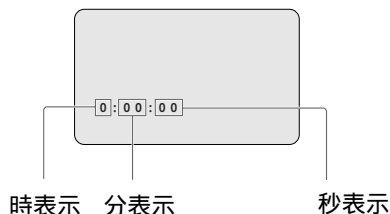
**タイムコード → チャンネル表示** → 時計表示 → タイムコード → …**

＊ テープの残量は少しの間テープを走行させないと表示されません。
＊＊再生時は表示されません。

## カウンターをリセットするには（VHSデッキのみ）

- 本体の表示窓やテレビ画面のカウンターが「0:00:00」に戻ります。
- リモコン裏面の取消し－リセットボタンでもできます。

- テープの残量表示は、目安の時間であり、現在選ばれている録画スピードで計算されます。
- 使用されているテープによっては、テープの残量が正しく表示されないことがあります。
- カウンターや残量表示などをテレビ画面に出したくないときは、メニューで「オンスクリーン」を「切」にしてください。（81ページ参照）
- テープの残量を計算中は、カウンターの表示が「ーー：ーー」になったり、点滅したりすることがあります。

## タイムコードについて（DVテープのみ）

DVテープでは録画中にテープにタイムコードと呼ばれる数字を記録していきます。タイムコードはテープの再生や編集の際に、映像のテープ上の位置を確かめる目安になります。マルチダビング（58ページ参照）ではこのタイムコードの機能を利用します。

**お願い**

**テープの途中に無記録部分があると誤動作の原因となります。**
テープに何も記録されていない部分を無記録部分と言います。同じテープの中の何も記録されていない部分から録画を開始すると、タイムコードは「0:00:00」から新たにカウントを始めます。1本のテープの中に複数の同一タイムコードが記録されるため、自動編集などのときに誤動作の原因となります。
次のような場合は、一度再生して場面の終わりを確かめてから録画してください。

- 録画済みのテープに途中から録画するとき
- 録画後に確認のため再生してみたテープで、引き続き録画するとき
- ビデオムービーなどで撮影中に電源やバッテリーが切れたとき

# BS放送を見る

お買い上げ時には、BS放送のチャンネルはBS5、7、9、11が映るようになっています。

- BS5チャンネルはJSB（日本衛星放送株式会社）がWOWOWを、SDAB（衛星デジタル音楽放送株式会社）がSt.GIGAを有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また専用のBSデコーダーが必要になります。（83ページ参照）。
- BS9チャンネルはハイビジョン放送をしています。本機でハイビジョン放送をお楽しみいただくには、MUSE-NTSCコンバーターが必要になります（84ページ参照）。
- **BSアンテナと本機の接続**が終わっていないとき、接続後に「BSアンテナ電源の設定」と「BSアンテナの向きの調節」が終わっていないときは、先に「設置と準備」編（10～39ページ）をご覧ください。

## BS 放送の番組を見る

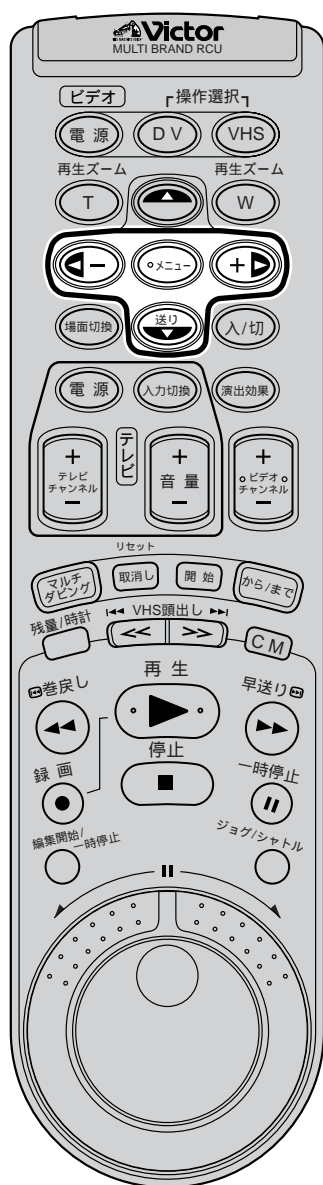
**その前に…**

- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

### BS放送のチャンネルを選ぶ

- 本体の**チャンネル＋/ー**ボタンでも操作できます。

- BSデコーダーを接続してお使いのときは、85ページの操作方法もあわせてご覧ください。

# ＢＳ放送を見る（つづき）

## BS 放送の独立音声を聞く

Ａモード音声で放送されているＢＳの番組のテレビ音声と独立音声を切り換えます。

**ＢＳ放送の音声について**
ＢＳ放送の音声には、Ａモード（FM放送以上の音質）とＢモード（CDと同等の音質）があり、番組ごとに適した音声で放送されています。
Ａモード放送のときは、番組（映像）の内容に合った音声以外に、番組と全く関係のない独立音声を放送することができます。
ＢＳ５チャンネルはおもにＡモードで放送されており、WOWOWの音声はテレビ音声、St.GIGAは独立音声で放送されています。

### ＢＳ放送受信中に

次の操作をしてください。

1 **メニュー**ボタンを押す
2 **送り**ボタンを押し、を「モード選択」に合わせる
3 **＋(►)**ボタンを押し、「モード選択」画面を表示させる
4 **送り**ボタンを押し、を「ＢＳ独立音声」に合わせる
5 **＋(►)**または**ー(◄)**ボタンを押し、「ＢＳ独立音声」の設定を「入」にする
これで、独立音声が聞こえるようになります。
6 **メニュー**ボタンを押し、メニュー操作を終了する

**お願い**

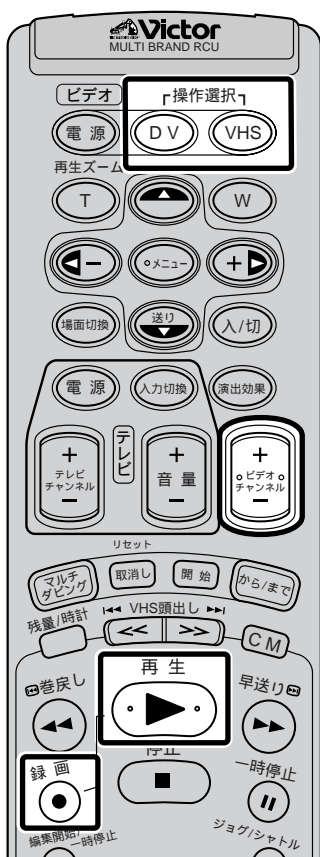
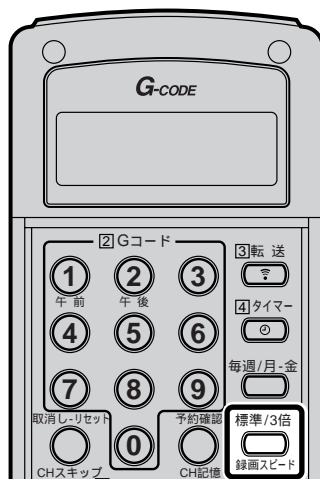
● 独立音声を聞き終わったあとは、「ＢＳ独立音声」を「切」に戻しておいてください。
● St.GIGAなどのＢＳ有料放送の独立音声を聞くときは、ＢＳデコーダーでも音声を切り換えてください。（８６ページ参照）

# テレビ番組やBS放送を録画する

## 録画する

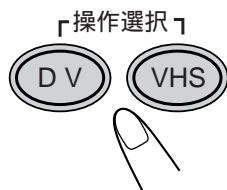
テレビ番組を録画してみましょう。

- **リモコンの準備**、**テレビと本機の接続**、**チャンネルの設定**が終わっていないときは、先に「設置と準備」編（10～39ページ）をご覧ください。
- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- BSデコーダーを接続してお使いのときは、86ページの操作方法もあわせてご覧ください。
- DVデッキとVHSデッキでは、テレビ番組やBS放送の画面の色の濃さや明るさが少し異なります。

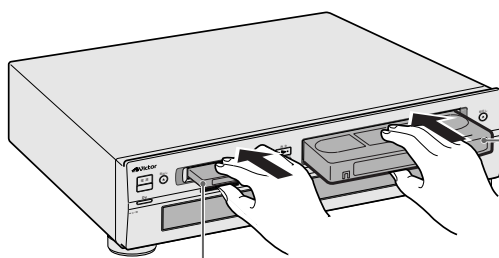
**リモコン表面**

**リモコン裏面**

**その前に…**

- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

### 1 使用するデッキを選ぶ

カセット挿入口の下のラインライトが点灯して、選んだデッキが操作できるようになります。

- リモコン表面（シャトルリングのあるほう）または本体のDV、VHSボタンを使います。

### 2 選んだデッキにカセットを入れる

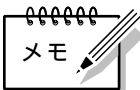
- VHSカセットの場合はつめがついていることを確認してください。
- ミニDVカセットの場合は誤消去防止ツマミが「REC」になっていることを確認してください。

**テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。カセットが自動的に引き込まれるまで確実に挿入してください。両方のカセットを入れる必要はありません。**

### 3 録画するテレビ番組を選ぶ

- 本体の**チャンネル＋/－**ボタンでも操作できます。

**次のページに続く**

- 二カ国語放送の主音声と副音声の両方の音を録音したいときは、メニューで「二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。（82ページ参照）
- DVデッキで、アフレコをする予定のときはメニューの「音声モード」を「32kHz（アフレコ用）」（83ページ参照）にし、手順4で録画スピードを「SP」にしてください。
- S-VHSのテープにVHSモードで録画したいときは、メニューで「S-VHS記録」を「切」にしてください。（83ページ参照）
- VHSテープにS-VHSの画質で録画したいときは、本体前面扉内のS-VHS ETボタンを押して「S-VHS ET:入」にしてください。
- 録画と録画のつなぎ部分で映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
- VHSデッキとDVデッキで同時にテレビ放送やＢＳ放送を録画することはできません。
  また、同じ外部入力から同時に録画することもできません。

- **録画スピード「LP」のときは**
  DVデッキで録画スピードを「LP」にして録画したテープは本機で再生することをおすすめします。他社のデジタルビデオではうまく再生できない場合があります。
- SPモードとLPモードのつなぎ目で、映像が乱れたり、音声がとぎれたりすることがあります。

- 録画中にテープの終わりまでくると、自動的に巻き戻され、カセットが取り出されて、電源が切れます。
- 一時停止が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 早送り中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻戻されます。

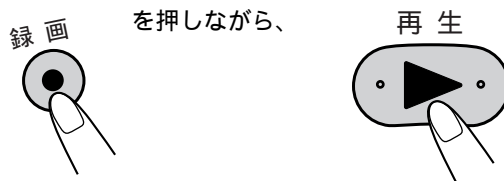
## 4 録画スピードを選ぶ

押すたびに、録画スピードが次のように切り換わります。

**VHSデッキ**
「標準」←→「3倍」
●「標準」: 画質を重視するとき
●「3倍」: 3倍長く録画するとき

**DVデッキ**
「SP」←→「LP」*
●「SP」: 画質を重視するとき
●「LP」: 1.5倍長く録画するとき
＊「LP」で録画した場合はアフレコ（49ページ参照）はできません。

## 5 録画を始める

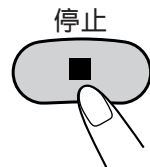
**を押しながら、**

- 本体の**録画**（●）ボタンでも操作できます。
  このときは、**再生**（►）ボタンを押す必要はありません。

### 録画を一時停止する

**録画中に**

録画が一時停止されます。
**再び録画を始めるには、再生**（►）ボタンを押します。

### 録画をやめる

**録画中に**

### 早送り/巻戻しをする

**停止中に**

**早送りをするときは:**

**巻戻しをするときは:**

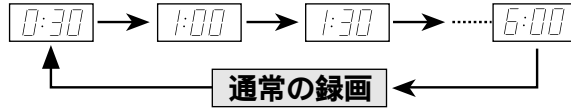
**早送り/巻戻しをやめるには、停止**（■）ボタンを押します。

## 録画時間を設定する（ワンタッチタイマー録画）

録画中に録画時間を設定できます。録画が終わると自動的に停止し、電源が切れます。

押すたびに、録画時間が30分単位で延長されます。表示窓に録画時間が表示されます。
VHSデッキでは最長6時間まで、DVデッキでは最長2時間まで録画できます。

**録画を途中でやめるには、停止（■）**ボタンを押します。

● ワンタッチタイマー録画中にテープの終わりまでくると、自動的にカセットが取り出され電源が切れます。

● 片方のデッキでワンタッチタイマー録画をしているときに、もう一方のデッキで再生や外部入力からの録画をすることができます。ただし、ワンタッチタイマー録画が終了すると電源が切れますので、ご注意ください。

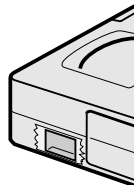
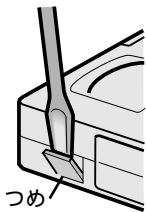
● ワンタッチタイマー録画中に、録画予約した時間が重なったときは、ワンタッチタイマーでの録画が優先されますのでご注意ください。

## 録画中に別の番組を見る（裏番組録画）

録画中に別のテレビ番組を見ることができます。
テレビでご覧になりたいチャンネルや他の入力を選んでください。
録画には影響しません。

● BS放送を録画中に別のBSチャンネルを見ることはできません。ただし、お持ちのテレビがBSチューナーを内蔵している場合は、テレビでBSチャンネルを選んで見ることができます。

**誤消去を防止するために**

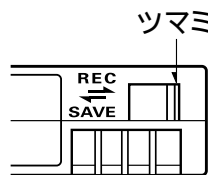
**VHSテープ**
つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。ふたたび録画するときはセロハンテープを二重に貼って穴をふさいでください。

**DVテープ**
ミニDVカセットの背面にあるツマミを「SAVE」の矢印方向に引いてください。ふたたび録画するときは、ツマミを「REC」の矢印方向に引いてください。

メモ

**著作権保護技術について**
本機は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

**著作権について**
著作権保護のための信号が記録されているソフトや放送を本機で録画することはできません。また、予約録画した場合も同様です。
このようなソフトや放送を録画しようとすると

- **DVデッキの場合**
  テレビ画面に警告表示が出て録画できません。
- **VHSデッキの場合**
  録画した映像は乱れます。
  また、DVデッキからVHSデッキへダビングすると、録画された映像は乱れます。

基本操作

# ダビングする（まるごとダビング）

本機はVHSデッキとDVデッキを搭載していますので、他のビデオ機器をつながずに簡単にダビング／編集できます。
本機では次のような方法でダビング／編集することができます。

**他のビデオ機器をつながずに、本機のみでダビング／編集する方法**

- **まるごとダビング**：カセット1本分をそのままダビングします。
- **マルチダビング**：お好きな場面のみをいろいろな演出効果を加えて編集します。
  始めに設定しておくと、自動的に編集できます。
  マルチダビングはDVデッキで再生してVHSデッキで録画します。（58ページ参照）
- **通常のダビング／編集**：手動でお好きな場面のみを編集します。（64ページ参照）

**DV端子のあるビデオムービーなどをつないでダビング／編集する方法**

- **デジタルダビング**：デジタルの高画質な映像のまま編集できます。（66ページ参照）

**あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。**

- ダビングの方向を間違えると大切な録画が消去されてしまいます。まず不要なカセットで試しにダビングしてみることをおすすめします。
- 再生側のカセットは誤消去防止ツマミを「SAVE」側にしておく（ミニDVカセット）か、ツメを折っておく（VHSカセット）ことをおすすめします（47ページ参照）。

メモ

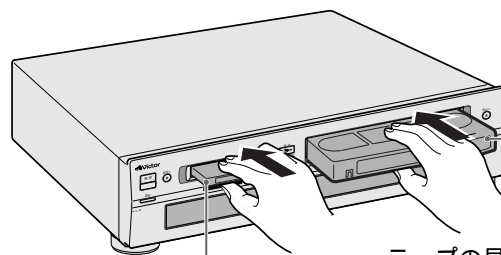
**録画スピードを設定するには**

1. 右の手順1のあとでDVまたはVHSボタンを押して録画側のデッキを操作できるようにする。
2. 録画スピードボタンを押して録画スピードを設定する。

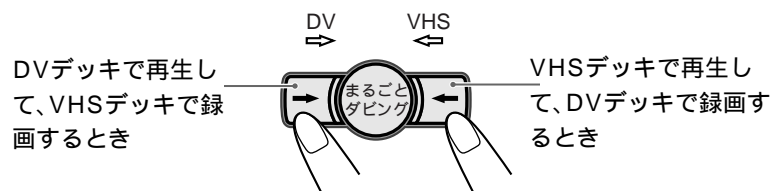
* 「L3」は外部入力ではなく、内部のDVデッキとVHSデッキの間の信号の送信を意味します。

## カセット1本分をまるごとダビングする

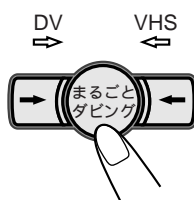
**その前に…**

- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

### 1 カセットを入れる

**テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。カセットが自動的に引き込まれるまで確実に挿入してください。**

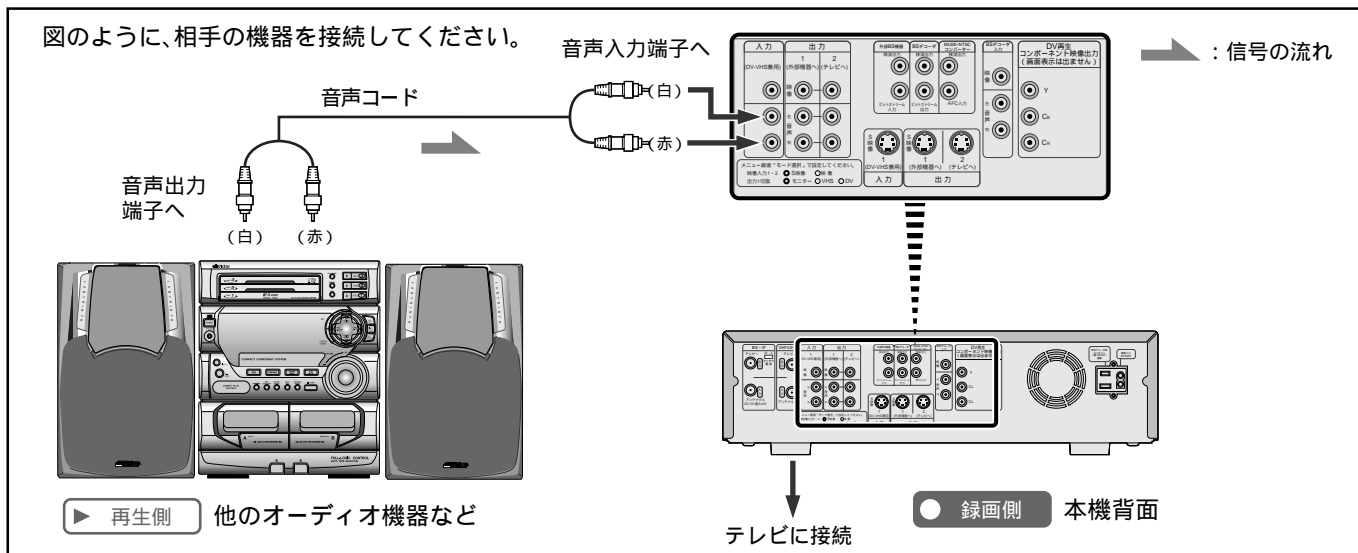
### 2 ダビングの方向を決める

録画側のデッキの表示窓に「L3」*と表示されます。

### 3 ダビングを始める

まるごとダビングボタンを2秒間押します。

テープが巻き戻されていない場合は、自動的に巻き戻され、録画側は録画一時停止状態に、再生側は再生一時停止状態になります。
両方とも巻き戻しが終了すると自動的にダビングを始めます。
ダビングが終わると、自動的にテープが巻戻されたあと取り出され、電源が切れます。

# アフレコする（DVデッキのみ）

「音声モード」を「32kHz（アフレコ用）」に設定して（83ページ参照）録画したDVテープに、もとの音声を消さずに新たに音声を録音することができます。他のオーディオやビデオ機器をつないで録音する音声を再生します。

● 「音声モード」が「48kHz」で録画されたテープや録画スピードが「LP」（46ページ参照）で録画されたテープ、または録画されていないテープにはアフレコできません。

## 他機側（再生）

**その前に…**

● 再生するCDやビデオを入れておきます。

● 相手の機器の詳しい操作方法については、相手の機器の取扱説明書をご覧ください。

## 本機側（録画）

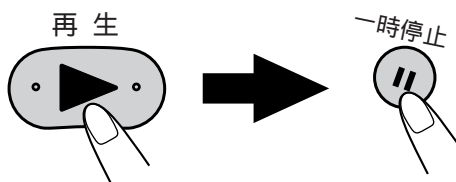
**その前に…**

● **DV**ボタンを押して、DVデッキを操作できるようにします。

● 録画用のミニDVカセットを入れておきます。

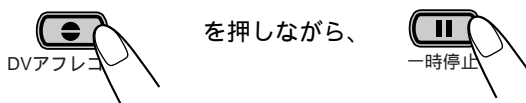
### 1 外部入力を選ぶ

● 背面の映像/音声入力1端子に、相手の機器をつないだときは、「L1」を選びます。

### 2 アフレコ開始場面を映す

### 3 アフレコ一時停止状態にする

リモコン裏面のボタンを使います。

を押しながら、

### 4 録音したい部分の少し前から再生を始める

### 5 アフレコを始める

リモコン裏面のボタンを使います。

**アフレコをやめるには、停止（■）**ボタンを押します。

● **アフレコした音声を聞くには**
71ページをご覧ください。

● **DV入力端子からのアフレコはできません。**

# 録画を予約する（Gコード録画予約）

本機では次の2つの方法でテレビ番組を予約録画することができます。

● **Gコード録画予約：**簡単な録画の予約方法です。新聞のテレビ欄などに記載されているGコードを使って録画を予約します。

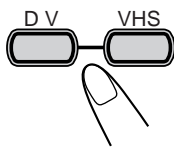
Gコードを使って録画を予約するためには、ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります。もう1度、ガイドチャンネルが正しく設定されていることを確認してください。（34ページ参照）

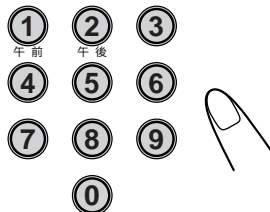
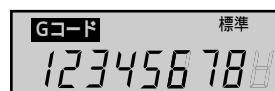
● **通常の録画予約：**メニュー画面で録画したい番組の開始時間、終了時間、チャンネルなどの情報を入力して、録画を予約します。

## Gコードを使って録画を予約する

**その前に…**

● 録画用のカセットを入れておきます。
● 本機の電源を入れる。
● テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

### 1 予約するデッキを選ぶ

リモコン裏面（表示窓のあるほう）のＤＶ、ＶＨＳボタンを使います。

### 2 Gコード(番組予約番号)を入力する

**リモコン表示窓**

● Ｇコードは新聞・雑誌などのテレビ番組欄でお調べください。
**番号を間違えたときは、取消しーリセット**ボタンを押します。

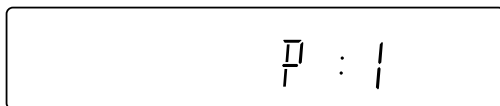
### 3 録画スピードを選ぶ

押すたびに、次のように切り換わります。
「標準」←→「3倍」

ＤＶデッキの録画予約をする場合、リモコンの表示窓には「標準」または「３倍」と表示されますが、「標準」＝「ＳＰ」、「3倍」＝「ＬＰ」の設定になります。

● リモコン表示窓に「Error」と表示されたときは、次の点を確認してください。
＊ 番組の開始時刻を過ぎていないか
＊ Ｇコードが正しいか（間違っていたら、Ｇコードを入力し直します。）
● Ｇコード予約の場合、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。開始／終了時刻を変更したいときは、56ページをご覧ください。
● 本体へ転送した予約の確認／取消しをするときは、56ページをご覧ください。
● ＶＨＳデッキで録画する場合に、「ぴったり録画」（83ページ参照）が「入」になっていると、録画スピードを「標準」に設定していても、実際は「3倍」で録画されることがあります。
また、録画の途中で変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。

## 4 本体へ転送する

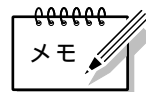
本体表示窓

- 本体が正しく受け取ると、本体表示窓に予約番号を30秒間表示します。
- リモコンには1番組しか入力できないので、他の番組も予約するときは、手順1〜4を繰り返してください。
- 転送時に本体表示窓に「Err」や「FULL」と表示されたときは、97ページをご覧ください。

## 5 本機を予約録画待機の状態にする

本体表示窓に「◷」が点灯し、電源が切れます。

本体表示窓

これで、録画開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると録画が終わり、電源が切れます。

- 別の予約がしてあるときは、表示窓の「◷」は点灯し続けます。

**毎週または月〜金の同じ時間の番組を録画予約するには**

前ページの手順3の後で**毎週／月-金**ボタンを押します。
1回押すと：毎週予約
2回押すと：毎週月〜金曜日の予約
3回押すと：元に戻ります

**予約録画日時の変更、CMカットなどさらに細かい設定をするには**

「予約の確認・変更・取消しをする」をご覧ください（56ページ参照）。

- タイマー録画終了後、残りの予約がない場合は、本体表示窓の「◷」表示が約10秒間点滅したあと消えます。
- 録画用のカセットを一度取り出したときは、タイマー（◷）ボタンを押す前に、もう一度録画用カセットを入れてください。
- どちらかのデッキが録画予約待機中のときは、もう一方のデッキを使用することはできません。
また、デジタルCS予約待機中も、本機を使用することはできません。（78ページ参照）
- 録画予約待機を解除して本機を使用するには、「予約した後で本機を使う」（55ページ参照）をご覧ください。

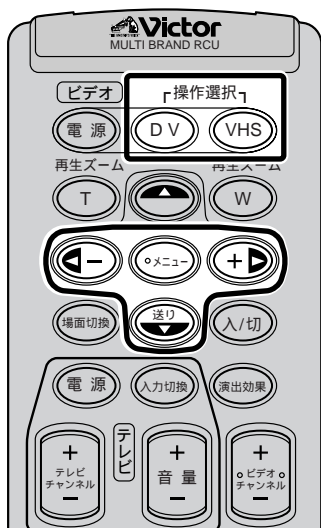
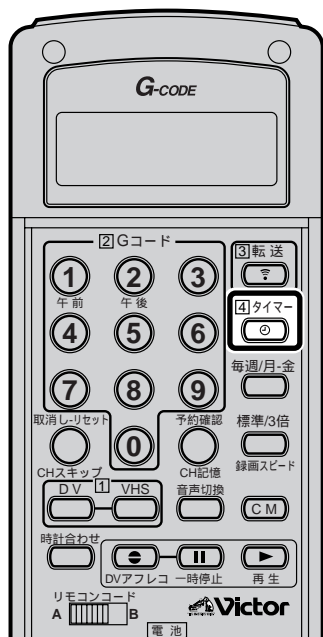
- DVデッキとVHSデッキで同時に同じチャンネルを録画予約することはできません。
- DVデッキとVHSデッキで録画予約の時間帯が重なった場合は、開始時刻が早いほうが優先されます。
開始時刻が同時の場合は、VHSデッキが優先されます。

# 録画を予約する（通常録画予約）

リモコン表面

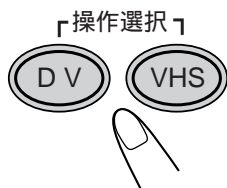
リモコン裏面

メモ

- DVデッキとVHSデッキで同時に同じチャンネルを録画予約することはできません。
- DVデッキとVHSデッキで録画予約の時間帯が重なった場合は、開始時刻が早いほうが優先されます。
  開始時刻が同時の場合は、ＶＨＳデッキが優先されます。

## メニュー画面で録画を予約する

**その前に…**

- 録画用のカセットを入れておきます。
- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

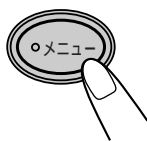
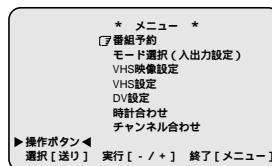
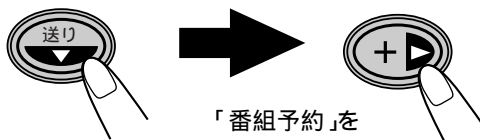
### 1 デッキを選ぶ

リモコン表面（シャトルリングのあるほう）または本体のDV、VHSボタンを使います。

### 2 メニュー画面を表示させる

テレビ画面

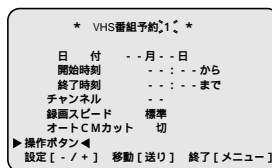
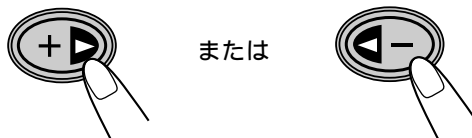
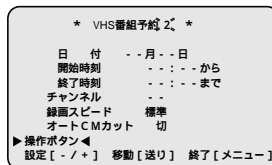
＊ メニュー ＊
番組予約
モード選択（入出力設定）
VHS映像設定
VHS設定
DV設定
時計合わせ
チャンネル合わせ
▶操作ボタン◀
選択［送り］ 実行［－／＋］ 終了［メニュー］

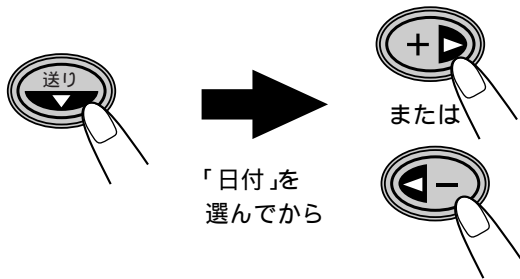
### 3 「番組予約」画面を表示させる

「番組予約」を
選んでから、

例：VHSデッキの番組予約画面

### 4 予約番号を選ぶ

または

＊ VHS番組予約 2 ＊
日 付 ――月――日
開始時刻 ――：――から
終了時刻 ――：――まで
チャンネル ――
録画スピード 標準
オートCMカット 切
▶操作ボタン◀
設定［－／＋］ 移動［送り］ 終了［メニュー］

まだ予約が設定されていない番号を選んでください。

## 5　録画の日付を設定する

```
＊ VHS番組予約2 ＊
日　付　　12月26日 土曜
開始時刻　　――:――から
終了時刻　　――:――まで
チャンネル　――
録画スピード　標準
オートCMカット　切
▶操作ボタン◀
設定［－／＋］ 移動［送り］ 終了［メニュー］
```

＋／－ボタンを押すたびに、日付が1日単位で変わります。

## 6　録画開始時刻を設定する

```
＊ VHS番組予約2 ＊
日　付　　12月26日 土曜
開始時刻　　10:00から
終了時刻　　――:――まで
チャンネル　――
録画スピード　標準
オートCMカット　切
▶操作ボタン◀
設定［－／＋］ 移動［送り］ 終了［メニュー］
```

＋／－ボタンを押すたびに、1分単位で変わります。
押し続けると、30分単位で変わります。

## 7　録画終了時刻を設定する

＋／－ボタンを押すたびに、1分単位で変わります。
押し続けると、30分単位で変わります。

メモ

**毎週または毎日、同じ時間に録画するには**
日付を選ぶとき＋／－ボタンを押していくと、次のように表示が変わります。

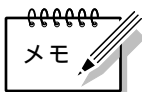
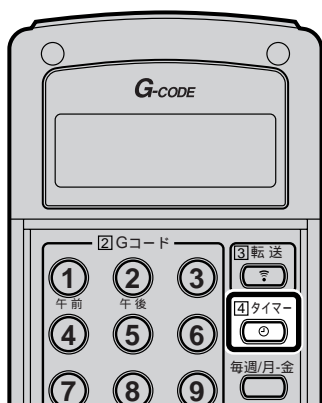
表示は＋ボタンで変わり、－ボタンで戻ります。

- 手順5で「日付」を選ぶと、自動的に現在の日付が表示されます。
- 手順6で「開始時刻」を選ぶと、自動的に現在の時刻が表示されます。
- 手順7で「終了時刻」を選ぶと、自動的に「終了時刻」に開始時刻と同じ時刻が表示されます。

録画予約

次のページに続く

リモコン表面

リモコン裏面

**手順8で外部入力を選ぶときは**

- 本体背面の映像／音声入力1端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「入力1」を表示させます。
- 本体前面の映像／音声2入力端子（VHSデッキ専用）につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「入力2」を表示させます。

**録画用のカセットを一度取り出したときは**

タイマー（ ◴ ）ボタンを押す前に、もう一度録画用カセットを入れてください。

**「ぴったり録画」を設定しているときは**

VHSデッキで録画する場合に、「ぴったり録画」（83ページ参照）が「入」になっていると、録画スピードを「標準」に設定していても、実際は「3倍」で録画されることがあります。

また、録画の途中で変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。

## 8 チャンネルを選ぶ

- 他の番組も予約するときは、手順1〜8を繰り返してください。
- 設定内容が正しくないときは、**取消しーリセット**ボタンを押して、手順4からやり直してください。

## 9 本機を予約録画待機の状態にする

本体表示窓に「 ◴ 」が点灯し、電源が切れます。

これで、録画開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると録画が終わり、電源が切れます。

- 別の予約がしてあるときは、表示窓の「 ◴ 」は点灯し続けます。

### 録画スピードを選ぶには

手順8のあとで、**送り**ボタンを押して「録画スピード」を選び、**＋(►)**または**ー(◄)**ボタンを押して設定します。

**VHSデッキ**

「標準」←→「3倍」

**DVデッキ**

「SP」←→「LP」*

＊「LP」で録画した場合はアフレコ（49ページ参照）はできません。

### CMをカットして録画するには

手順8のあとで、**送り**ボタンを押して「オートCMカット」を選び、**＋(►)**または**ー(◄)**ボタンを押して「入」を選びます。

- 「チャンネル」がBSチャンネルや外部入力（「入力1」または「入力2」）になっているときは、「オートCMカット」の設定はできません。
- オートCMカットについて詳しくは77ページをご覧ください。

# 予約した後で本機を使う

## 予約録画待機中は

**タイマー**（ ◴ ）ボタンを押します。予約録画待機が解除されます。（表示窓の「 ◴ 」が消えます。）

これで、本機を通常のように操作することができます。
本機を使い終わったら、もう1度タイマー（ ◴ ）ボタンを押します。
ふたたび表示窓の「 ◴ 」が点灯し、予約録画待機中になります。

## デジタルCS予約待機中は

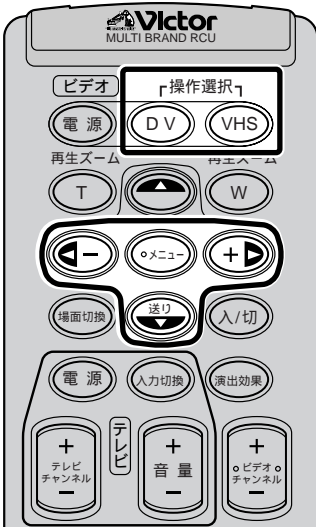
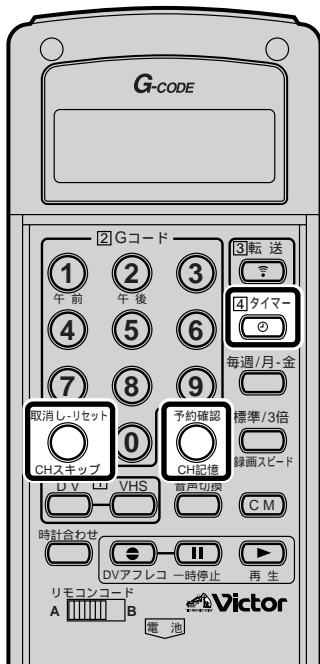
本体前面のデジタルCS予約ボタンを押します。デジタルCS予約ランプが消えて予約待機が解除されます。（表示窓の「CS」が消えます。）

これで、本機を通常のように操作することができます。
本機を使い終わったらもう一度デジタルCS予約ボタンを2秒間押します。
ふたたびデジタルCS予約ランプが点灯し、表示窓の「CS」が点灯し、デジタルCS予約待機中になります。

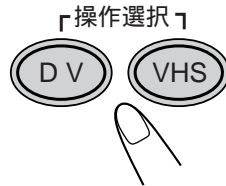
**本機を使い終わったあとは**
- 録画用のテープが入っていることを確認してください。
- 表示窓に「 ◴ 」または「CS」が点灯していることを確認してください。

録画予約

# 予約の確認・変更・取消しをする

**リモコン表面**

**リモコン裏面**

**その前に…**

- 表示窓に「 ◴ 」が表示されているときは、**タイマー**（ ◴ ）ボタンを押して「 ◴ 」を消します。
- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

## 1 デッキを選ぶ

リモコン表面（シャトルリングのあるほう）または本体のDV、VHSボタンを使います。

## 2 録画予約の詳細内容を表示させる

- 押すたびに、録画予約されている内容が順番に表示されます。全てを表示すると、元のテレビ画面に戻ります。

**例：VHSデッキの予約確認画面**

## 3 必要に応じて、設定を変更する

- 「録画を予約する（通常録画予約）」（53〜54ページ）の手順5から8をご覧ください。

**録画予約を取消したいときは**

表示中の録画予約が取り消され、次の録画予約の詳細内容が表示されます。

## 4 終了する

表示窓の「 ◴ 」が点灯し、電源が切れます。

## 本体の表示窓で録画予約を確認するときは

**1** **DV**または**VHS**ボタンを押す
予約してあるデッキを選びます。

**2** **予約確認**ボタンを押す
本体の表示窓には録画予約番号「P：1」が表示されます。
予約確認ボタンをくり返し押すと、録画予約番号が「P：1」→「P：2」→「P：3」…と表示が変わります。

**3** 確認したい録画予約番号が表示されたら、**送り**ボタンを押します。
押すたびに、表示される内容が次の順番で切り換わります。

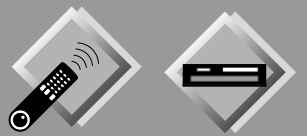
**開始時刻→終了時刻→チャンネル→録画スピード→オートCMカットの入/切→日付→開始時刻…**

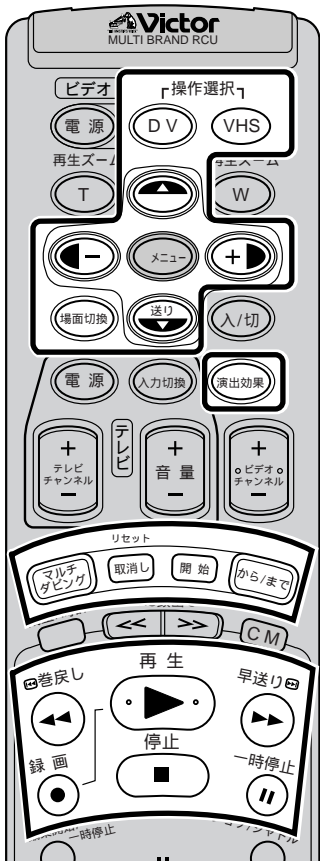
**4** 内容の確認が終わったら、**予約確認**ボタンを押してテレビ画面に戻します。

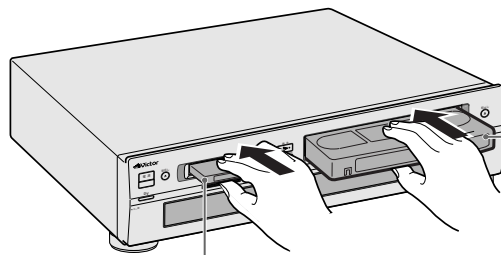
● **予約の確認中に、予約内容を変更するには**
それぞれの内容が表示されているときに、＋または－ボタンを押して内容を変更することができます。

● 予約内容を確認したり、変更したときには、**予約確認**ボタンを押して一度テレビ画面に戻してからでないと、他の録画予約番号を確認できません。

録画予約

# ダビングする（マルチダビング）

## 64プログラム編集メモリー（8作品×8プログラム）

本機はVHSデッキとDVデッキを搭載していますので、他のビデオ機器をつながずに簡単にダビング／編集できます。
マルチダビングでは、録画（撮影）済みのミニDVカセットの中からお好きな場面を8場面まで選んで、VHSデッキに自動的にダビングします。編集する場面と場面の間に場面切換効果を入れたり、演出効果を使って映像そのものに変化をつけることもできます。

**その前に…**

- 本機の電源を入れる。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

## 1 カセットを入れる

**テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。カセットが自動的に引き込まれるまで確実に挿入してください。**

## 2 DVデッキを選ぶ

リモコン表面（シャトルリングのあるほう）または本体のDV、VHSボタンを使います。

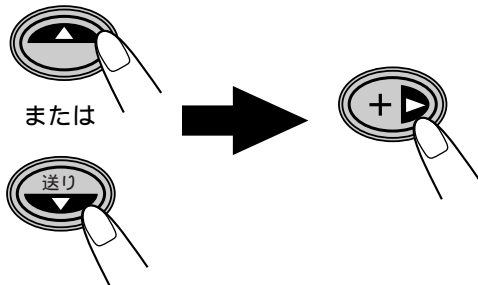
## 3 作品リスト画面を表示させる

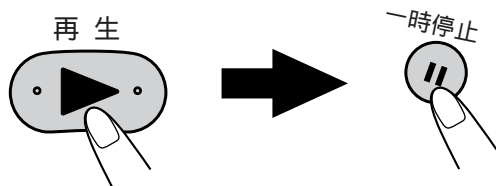
作品番号を選び（作品番号を点滅させる）、**取消し**／**リセット**ボタンを2秒以上押すと、その作品を作品リストから削除することができます。

**あなたがビデオテープレコーダーで録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。**

- マルチダビングができるのは、DVデッキで再生してVHSデッキで録画する場合のみです。
- ダビングの方向を間違えると大切な録画が消去されてしまいます。まず不要なカセットで試しにダビングしてみることをおすすめします。
- ミニDVカセットは誤消去防止ツマミを「SAVE」側にしておくことをおすすめします（47ページ参照）。

## 4 作品番号を選ぶ

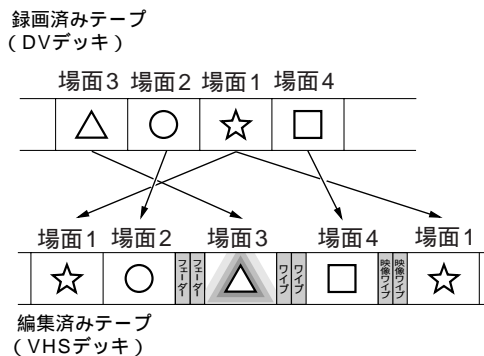
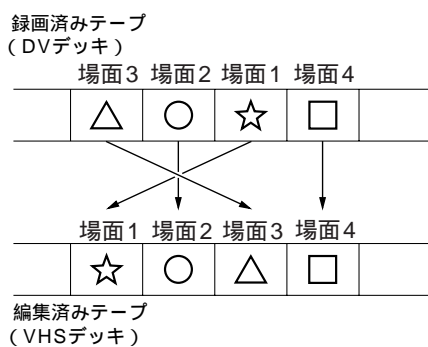
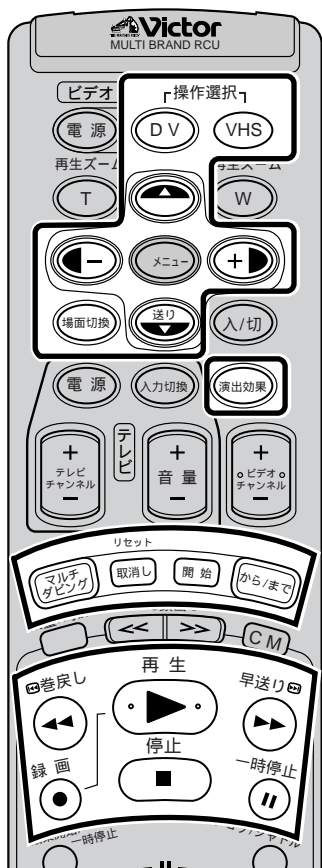
マルチダビング設定画面が表示されます。

## 5 編集開始場面を映す

ミニDVテープを再生して、編集を始める場面をテレビ画面に映します。

次のページに続く



### 自動編集機能について

録画済みのテープの中から場面をお好きな順番に選び、並べ変えてダビングすることができます。
そのためには、あらかじめ自動編集したい順番に場面番号を設定しておいてください。
そして自動編集すると、次のように編集されます。

**場面切換や演出効果を入れて自動編集したときは**
自動編集するテープの始めと終わりの場面に場面切換効果を入れたり、映像そのものに演出効果を付けてダビングすることができます。
場面切換効果や演出効果を入れて自動編集すると、次のように編集されます。

録画済みテープ
（DVデッキ）
場面3 場面2 場面1 場面4
場面1 場面2 場面3 場面4 場面1
フェーダー フェーダー ワイプ ワイプ 映像ワイプ 映像ワイプ
編集済みテープ
（VHSデッキ）

## 6 必要に応じて場面切換効果を入れる

- 場面切換ボタンを繰り返し押して、使用したい場面切換えのアイコンを表示させてください。編集開始場面に場面切換効果が入ります。
- 場面2以降は、前の場面の終了時に場面切換効果を入れた場合は、引き続き同じ場面切換効果で次の場面が始まります。
- 場面切換効果については63ページをご覧ください。
- 場面切換効果を入れないときは、この手順をとばして手順7へすすんでください。

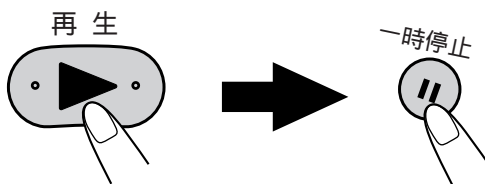
## 7 から／までボタンを押す

編集開始場面のタイムコードが表示されます。

「最後の映像（静止画）で切替え」（63ページ参照）の場面切換効果は最初の場面の始まりや、最後の場面の終わりには入れられません。

## 8 編集終了場面を映す

ミニDVテープを再生して、編集を終わる場面をテレビ画面に映します。

**タイムコードの合計時間**
編集開始場面と終了場面のタイムコードには1秒以下の数値（フレーム）が表示されないため、各場面のタイムコードの時間と合計時間が合わないことがあります。

## 9 から／までボタンを押す

編集終了場面のタイムコードが表示されます。

＊作品1＊ ココカラ ココマデ 効果
1 白 0：31：02～0：54：00 －－
2－－ －：－－：－－～
3 ～
4 ～
5 ～
6 ～
7 ～
8 ～
00：10 トータル時間22：58

## 10 必要に応じて場面切換効果を入れる

● 場面切換効果を入れないときは、この手順をとばして手順11へすすんでください。

● 場面切換ボタンを繰り返し押して、使用したい場面切換えのアイコンを表示させてください。編集終了場面と次の開始場面に同じ場面切換効果が入ります。
● 場面切換効果については63ページをご覧ください。

## 11 必要に応じて映像に演出効果を入れる

● 演出効果を入れないときは、この手順をばして手順12へすすんでください。

● 演出効果ボタンを繰り返し押して、使用したい演出効果のアイコンを表示させてください。
● 演出効果については62ページをご覧ください。

## 12 手順5～11を繰り返して編集する場面を設定する

## 13 最初に設定した開始場面あたりまでテープを巻戻し、一時停止の状態にする

## 14 VHSデッキを選び、録画一時停止の状態にする

**こんなときはマルチダビングできません**
● 同じタイムコードが2つ以上存在するテープでタイムコードを指定しても、どのタイムコードかわからないため誤動作することがあります。
● 編集終了場面のタイムコードが編集開始場面のタイムコードより小さい場合。
● 編集終了場面と開始場面までの早送り時間が録画一時停止させておける時間（約5分）を超えるときは、自動編集できません。

**マルチダビング設定画面の内容を修正したいときは**
リセットー取消しボタンを押します。
**タイムコード（「ココカラ」／「ココマデ」）を修正したいときは**
リセットー取消しボタンを押したあとで、DVデッキ側で正しい場面を映し、から／までボタンを押してください。
**マルチダビングを途中で止めるには**
マルチダビングボタンをもう一度押すと作品リスト画面に戻ります。さらにもう一度押すと、テレビ画面に戻ります。

**録画スピードを設定するには**
1 左の手順12のあとでVHSボタンを押してVHSデッキを操作できるようにする。
2 録画スピードボタンを押して録画スピードを設定する。

次のページに続く

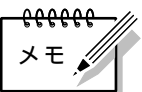
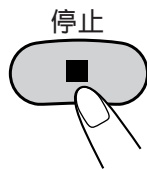
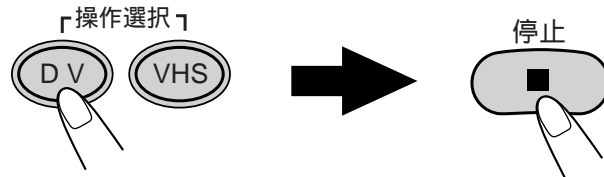
## 15 自動編集を始める

マルチダビングが終わると、自動的にＤＶデッキは静止画再生の状態になり、ＶＨＳデッキは録画一時停止の状態になります。

## 16 VHSデッキを停止させる

## 17 DVデッキを選んで、停止させる

● 編集開始場面や終了場面の前後に無記録部分があるときは、ブルーバック（青い画面）を記録してしまうことがあります。

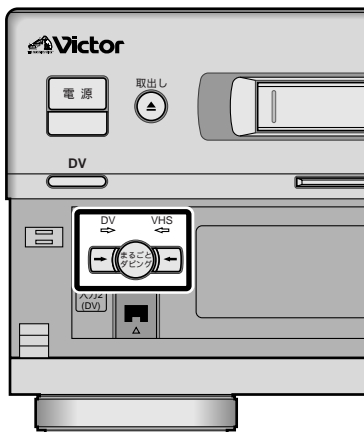
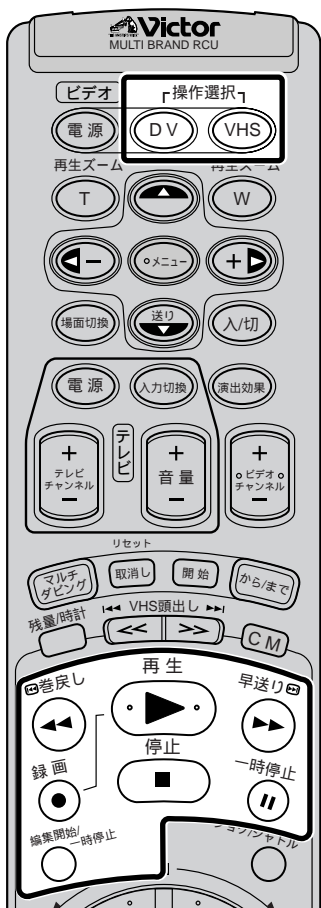
メモ

**2つ以上の作品を続けてマルチダビングするときは**
作品ごとに**開始**ボタンを押してください。
また、別のミニＤＶカセットからダビングするときは、ミニＤＶカセットを入れ換えてから、**開始**ボタンを押してください。

### 演出効果一覧

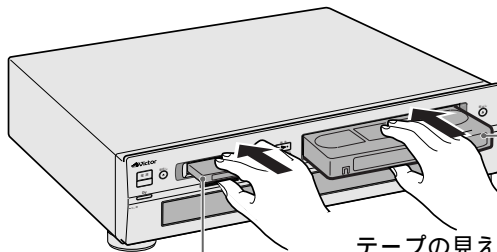
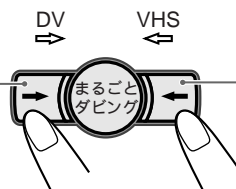
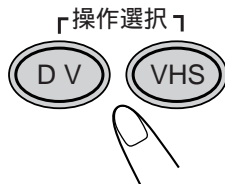
| メニューアイコン | 効 果 |
| --- | --- |
| 切 | 「演出効果」を使用しないときに選択します。 |
| セピア | 古い写真のようなセピア色で映像を再生します。 |
| B/W ブラック/ホワイト | 映像を白黒で再生します。 |
| 映画効果 | 早いコマ落とし効果を付けて映像を再生します。 |
| ストロボ | コマ落としの効果で、連続写真のように再生します。 |
| ゴースト | 映像が何重にも重なった幻想的なイメージで再生します。 |
| 日時 | 年月日と時間を表示して再生します。 |

## 場面切換効果一覧

| 分　類 | メニューアイコン | 効　果 |
|---|---|---|
| 白・黒画面で切替 | 白 フェーダー：白 | 白い画面でフェードイン、フェードアウトします。 |
| | 黒 フェーダー：黒 | 黒い画面でフェードイン、フェードアウトします。 |
| | 白黒 フェーダー：白黒 | 白黒画面からカラー画面にフェードインし、カラー画面から白黒画面にフェードアウトします。 |
| | フェーダー：モザイク | モザイク画面で、フェードイン、フェードアウトします。 |
| | ワイプ：コーナー | 黒い画面の右上から左下へ映像が徐々にワイプインし、左下から右上へワイプアウトします。 |
| | ワイプ：ウィンドウ | 黒い画面の中心から映像が徐々にワイプインし、画面の中心へワイプアウトします。 |
| | ワイプ：スライド | 黒い画面の右から左へ映像が徐々にワイプインし、左から右へワイプアウトします。 |
| | ワイプ：ドア | 黒い画面から映像が左右にドアを開けていくように徐々にワイプインし、閉めていくようにワイプアウトします。 |
| | ワイプ：スクロール | 黒い画面から映像が下から上へ徐々にワイプインし、上から下へワイプアウトします。 |
| | ワイプ：シャッター | 黒い画面の中央から映像が上下に徐々にワイプインし、上下から中央にワイプアウトします。 |
| 最後の映像（静止画）で切替 | P オーバーラップ | 最後に撮った映像から次の撮影の映像が徐々に浮かび上がっていくように場面を切り替えます（オーバーラップ）。 |
| | P ワイプ：コーナー | 最後に撮った映像の右上から左下へ徐々にワイプインします。 |
| | P ワイプ：ウィンドウ | 次の撮影の映像が、最後に撮った映像の中心から徐々にワイプインします。 |
| | P ワイプ：スライド | 次の撮影の映像が、最後に撮った映像の右から左に徐々にワイプインします。 |
| | P ワイプ：ドア | 次の撮影の映像が、最後に撮った映像から左右にドアを開けていくように徐々にワイプインします。 |
| | P ワイプ：スクロール | 次の撮影の映像が、最後に撮った映像の下から上に徐々にワイプインします。 |
| | P ワイプ：シャッター | 次の撮影の映像が、最後に撮った映像の中央から上下に徐々にワイプインします。 |
| — | 切 | 「場面切替」を使用しないときに選択します。 |

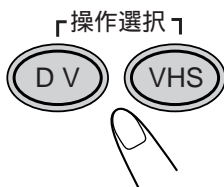
# ダビングする（通常ダビング）

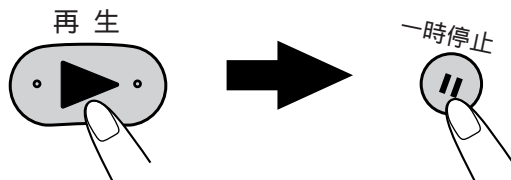
テープの好きな場面から始め、好きなところで止めてダビング／編集することができます。

リモコン表面

リモコン裏面

## 1 カセットを入れる

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。カセットが自動的に引き込まれるまで確実に挿入してください。

## 2 ダビングの方向を選ぶ

## 3 録画するデッキを選ぶ

リモコン表面（シャトルリングのあるほう）または本体のDV、VHSボタンを使います。

## 4 録画スピードを選ぶ

## 5 再生するデッキを選ぶ

## 6 編集開始場面を映す

再生側のテープを再生して、編集を始める場面をテレビ画面に映します。

## 7 録画側のデッキを録画一時停止にする

## 8 ダビングを始める

## 9 ダビングを止める

- 再生側のデッキは再生一時停止状態になり、録画側のデッキは録画一時停止状態になります。
- 続けていくつかの場面をダビングするときは、手順6〜9を繰り返してください。

## 10 編集を終了する

## 11 再生側のデッキを選び、停止させる

- ダビングの方向を間違えると大切な録画が消去されてしまいます。まず不要なカセットで試しにダビングしてみることをおすすめします。
- 再生側のカセットは誤消去防止ツマミを「SAVE」側にしておく（ミニDVカセット）か、ツメを折っておく（VHSカセット）ことをおすすめします（47ページ参照）。
- 編集開始場面は数秒ずれることがあります。
- 操作中／ダビング中の画面表示は録画されません。
- VHSデッキからDVデッキにダビングするときは、DVテープの音声モードを選べます。（83ページ参照）

**DVデッキからVHSデッキへダビングするときは**

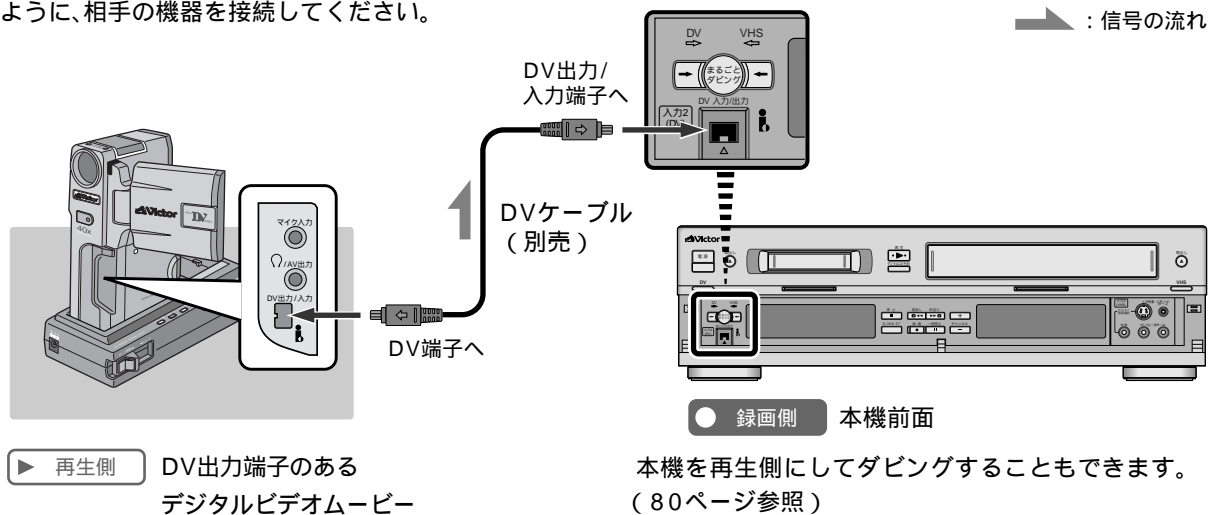
- メニューの「記録日時表示」を「入」にしておくと、日時を録画することができます。（83ページ参照）
- 演出効果（73ページ参照）を入れることができます。
- アフレコしたDVテープをダビングするときは、あらかじめ音声を選んで再生してください。（71ページ参照）

# 他のビデオ機器をつないでダビングする

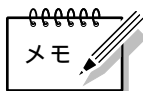
## DV 端子のあるビデオ機器をつなぐ

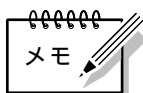
DV端子のあるビデオムービーなどをつないで、デジタルダビングができます。
デジタルなので画質／音質を落とさずにダビング／編集できます。

**図のように、相手の機器を接続してください。**

● 本機を再生側にしてダビングすることもできます。（80ページ参照）

### 他機側（再生）

**その前に…**

● 再生するDVカセットを入れておきます。
● 相手の機器がビクター製のデジタルビデオムービーのときは、デジタルビデオムービーの編集（EDIT）端子と本機のリモートポーズ端子を接続します。デジタルビデオムービーからの操作だけでダビングや編集を行うことができます。
ビデオムービーの詳しい操作については、ビデオムービーの取扱説明書をご覧ください。

● ダビングが終わったときは、ビデオムービーと本機の両方のを、ともに停止してください。
● 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
● 本機で録画中に画面の上部が歪む（揺れる）ことがありますが、録画される映像には影響しません。

### 3 ダビングする部分の少し前から再生を始める

● DV入力端子からの映像をVHSデッキで録画することはできません。VHSデッキで録画する場合は、相手の機器を映像／音声入力1またはVHSデッキ側の入力2端子につないでください。（67ページ参照）
● DV端子を使ってダビングしているときに、再生機側で無記録部分などを再生したり、無信号の状態になると 録画機は停止します。

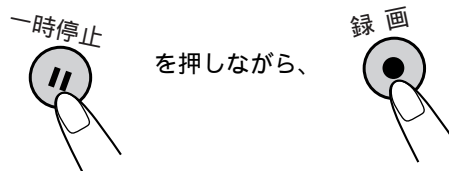
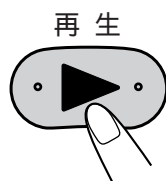
### 本機側（録画）

**その前に…**

● 録画用のミニDVカセットを入れておきます。
● **DV**ボタンを押して、DVデッキを選びます。

### 1 外部入力（L2）を選ぶ

### 2 録画一時停止状態にする

を押しながら、

### 4 録画を始める

## 映像／音声端子につないでダビングする−他機で再生、本機で録画

他社やビクター製のビデオデッキをつないでダビング／編集できます。

**図のように、相手の機器を接続してください。**

● 本機前面の映像/音声入力2端子に接続することもできます。その場合はVHSデッキで録画してください。

### 他機側（再生）

**その前に…**

● 再生するカセットを入れておきます。

● 相手の機器の詳しい操作方法については、相手の機器の取扱説明書をご覧ください。

● ダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。VHSデッキで録画するときはS-VHSの標準モードを選ぶことをお勧めします。

● 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。

### 3 ダビングする部分の少し前から再生を始める

### 本機側（録画）

**その前に…**

● **相手の機器を、どちらの映像入力端子（「S映像」または「映像」）につないだかを、メニューで正しく設定してください。**（82ページ参照）　両方の端子をつなぐ必要はありません。

● **VHS**または**DV**ボタンを押して、デッキを選びます。

● 録画用のカセットを入れておきます。

### 1 外部入力を選ぶ

● 前面の映像/音声入力2端子（VHSデッキ専用）に、相手の機器をつないだときは「L2」、背面の映像/音声入力1端子に、相手の機器をつないだときは、「L1」を選びます。

### 2 録画一時停止状態にする

### 4 録画を始める

## 映像／音声端子につないでダビングするー本機で再生、他機で録画

### 本機側（再生）

**その前に…**

- 再生するカセットを入れておきます。
- **DV**または**VHS**ボタンを押してデッキを選びます。
- 本機背面の映像／音声出力２端子に接続した場合は、メニューの「オンスクリーン」（82ページ参照）を「切」にしておきます。
  「オート」または「入」になっていると、本機のオンスクリーン表示が一緒に録画されてしまいます。
- メニューの「出力1切換」（82ページ参照）を再生するデッキに合わせます。

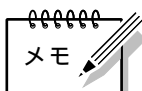
### 他機側（録画）

**その前に…**

- 録画用のカセットを入れておきます。
- 実際の操作のしかたは、他機の取扱説明書をご覧ください。

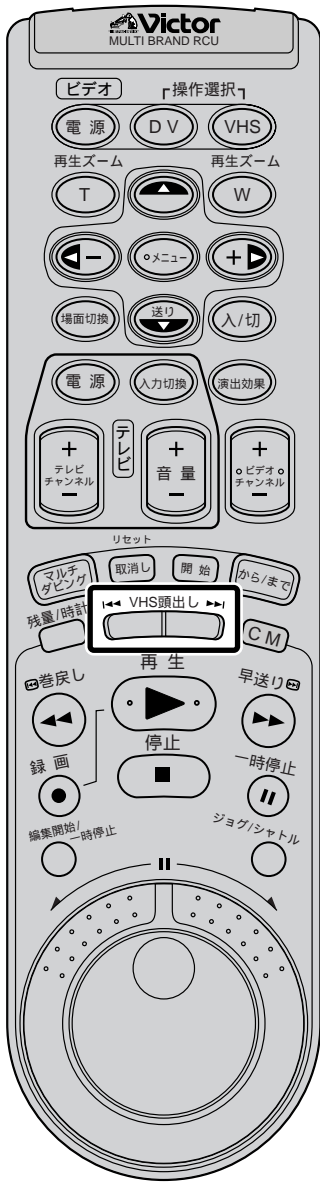
**1 本機を接続した外部入力を選ぶ**

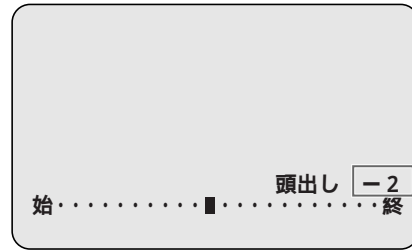
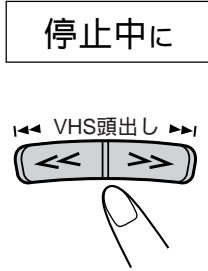
**2 録画一時停止状態にする**

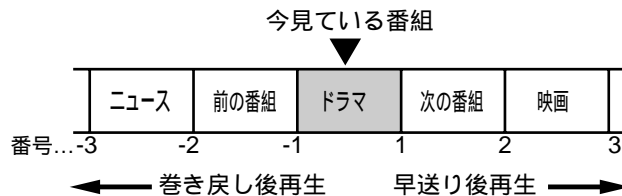
**3 ダビングしたい部分の少し前から再生を始める**

**4 録画を始める**

VHSデッキを使用するときは、メニューの「VHS映像設定」の「映像」を「ダビング」にします。（83ページ参照）
よりきれいな映像でテープがダビングできます。
**ダビングが終わったあとは、必ず「映像」を「スタンダード」に戻しておいてください。**

# 見たい番組(録画)を探す(VHSデッキのみ)

VHSデッキでは、録画を始めると、自動的に録画の始めにインデックスマーク(VISS:VHS Index Search System)と呼ばれる信号が記録されます。この信号を使って、録画の頭出しを簡単にすることができます。

## 番組(録画)の頭出しをする(VHSデッキのみ)

テープの何番目に見たい番組が録画されているかわかっているときに便利です。インデックスマーク(VISS)は前後9番目まで指定できます。

指定した頭出し番号が表示されます。
**例:**今見ている番組(録画)のひとつ前の番組を見たいとき

● 押すたびに、頭出しの番号がひとつずつ増えて(減って)いきます。

頭出しができるのはVHSデッキのみです。

二重音声放送(二カ国語放送など)やステレオ放送を録画したテープを再生するときは、聞きたい音声を選ぶことができます。メニューの「オンスクリーン」が「オート」または「入」になっているときは、選んだ音声をテレビ画面で確認することができます。(82ページ参照)
また、アフレコされたDVテープの音声も切り換えられます。

● 文字多重放送は二重音声放送ではありません。

**その前に…**

● **DV**または**VHS**ボタンを押して、使用するデッキを操作できるようにしてください。

## 音声を選ぶ–VHSデッキの場合

押すたびに、聞こえる音声が次のように変わります。

● **二重音声放送を(主音声と副音声で)録画したテープのとき**
メニューの「ミックス音声」(83ページ参照)が「切」のとき

| 聞こえる音声 | 主音声+副音声 | 主音声 | 副音声 | ノーマル音声(主音声) |
|---|---|---|---|---|
| テレビ画面の表示 | 左　右 | 左 | 右 | ノーマル |

● **ステレオ放送を録画したテープのとき**
メニューの「ミックス音声」が「切」のとき

| 聞こえる音声 | ステレオ音声 | 左音声 | 右音声 | ノーマル音声(モノラル音声) |
|---|---|---|---|---|
| テレビ画面の表示 | 左　右 | 左 | 右 | ノーマル |

**メモ**

● ハイファイ音声が録音されていないテープを再生中は、他の音声を選ぶことはできません。

● お買い上げ時の設定では、二重音声放送を録画すると、「主音声」だけが録音されます。副音声も録音したいときは、メニューで「二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。(82ページ参照)

● お買い上げ時の設定では、メニューの「ミックス音声」は「切」になっています。(83ページ参照)

**お願い**

● 「ミックス音声」が「入」のときに、ハイファイ音声とモノラル音声に同じ音が録音されているテープを再生すると、音が歪むことがあります。
このときは、メニューの「ミックス音声」を「切」にしてください。
(83ページ参照)

## メニューの「ミックス音声」が「入」のときは(VHSデッキのみ)

左右の音声(二重音声やステレオ音声)にノーマル音声がミックスして聞こえてきます。
**音声切換**ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

| 聞こえる音声 | ミックス音声(左右の音声+ノーマル音声) | 左音声+ノーマル音声 | 右音声+ノーマル音声 |
|---|---|---|---|
| テレビ画面の表示 | ミックス 左　右 | ミックス 左 | ミックス　右 |

## 音声を選ぶ–DVデッキの場合

押すたびに、聞こえる音声が次のように変わります。

● **二重音声放送を(主音声と副音声で)録画したテープのとき**

| 聞こえる音声 | 主音声+副音声 | 主音声 | 副音声 |
|---|---|---|---|
| テレビ画面の表示 | 左　右 | 左 | 右 |

● **ステレオ放送を録画したテープのとき**

| 聞こえる音声 | ステレオ音声 | 左音声 | 右音声 |
|---|---|---|---|
| テレビ画面の表示 | 左　右 | 左 | 右 |

**メニューの「32kHz音声切換」が「フル音声」になっているときは**

● 二重音声放送は「主音声+副音声」に、ステレオ放送は「ステレオ音声」になります。
「主音声」または「副音声」のみ、「右音声」または「左音声」のみを選択することはできません。その場合は、メニューで「音声1」を選んでください。

● お買いあげ時の設定では、メニューの「32kHz音声切換」は「音声1」になっています。

## アフレコしたDVテープの音声を選ぶ

メニューで「32kHz音声切換」を切換えます。

1 **メニュー**ボタンを押す
2 **送り**ボタンを押し、☞を「DV設定」に合わせる
3 **+(►)**ボタンを押し、「DV設定」画面を表示させる
4 **送り**ボタンを押し、☞を「32kHz音声切換」に合わせる
5 **+(►)**または**−(◄)**ボタンを押し、「音声1」または「音声2」、「フル音声」を選ぶ

| 聞こえる音声 | 録画時の音声 | アフレコ音声 | 録画時の音声<br>+アフレコ音声 |
|---|---|---|---|
| 32kHz<br>音声切換 | **音声1** | **音声2** | **フル音声** |

6 **メニュー**ボタンを押し、メニュー操作を終了する

**アフレコするには(49ページ参照)**

アフレコができるのは、あらかじめ「音声モード」を「32kHz(アフレコ用)」に設定して録画したDVテープのみです。(83ページ参照)

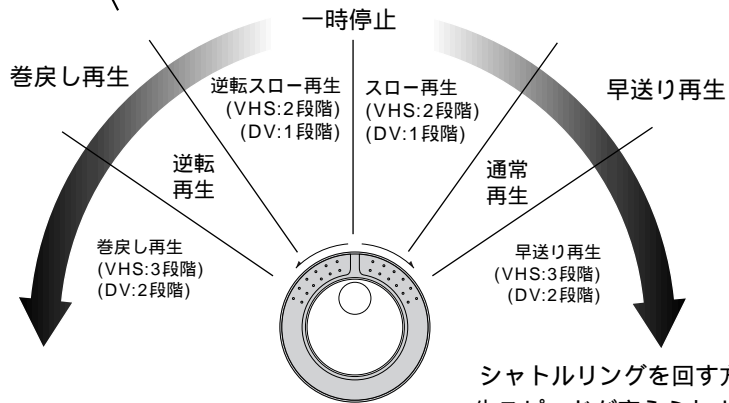
## コマ送り再生する

ジョグ／シャトルランプを点灯させる

ジョグダイヤルの動きを止めると、静止画再生になります。

## 再生スピードを変える

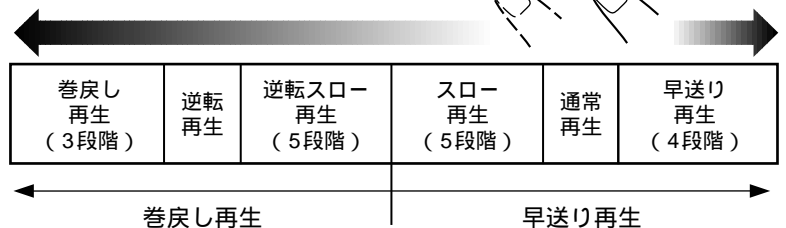
### 再生中に

ジョグ／シャトルランプを点灯させてから、シャトルリングを回す

シャトルリングを回す方向と角度で再生スピードが変えられます。シャトルリングを離すと、静止画再生になります。

**VHSデッキで再生しているときは**
リモコンの ≪ / ≫ ボタンで再生スピードを変えることができます。≪ / ≫ ボタンを押すたびに再生スピードが表のように変わります。

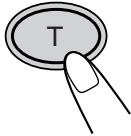
| 巻戻し再生（3段階） | 逆転再生 | 逆転スロー再生（5段階） | スロー再生（5段階） | 通常再生 | 早送り再生（4段階） |
|---|---|---|---|---|---|

巻戻し再生　　早送り再生

**再生を止めるには、停止（■）ボタンを押します。**

- ジョグダイヤル／シャトルリングを操作するときは、ジョグ／シャトルボタンを押してランプを点灯させます。もう一度押すとランプは消えます。
  また、ランプが点灯したあと、約1分以内に次の操作をしないとランプは自動的に消えます。
- コマ送り再生、可変速再生中は音声が出ません。
- VHSデッキは静止画再生、スロー再生を5分以上、DVデッキは静止画再生を3分以上、スロー再生を1分以上、逆転スロー再生を20秒以上続けると、テープ保護のため自動的に停止します。

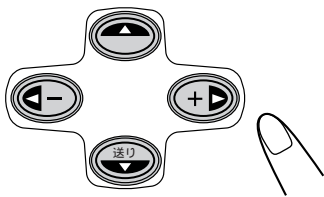
## ズーム機能を使う（DV デッキのみ）

テープを再生中に、画面の一部分だけを拡大して見る（ズーム）ことができます。

**再生中に**

**映像がズームアップします**　　**映像が広角になります**

**ズームを止めるには、**通常の再生画面の大きさに戻るまで**再生ズーム（W）**ボタンを押します。または、一度、**停止（■）**ボタンを押したあとに**再生（►）**ボタンを押します。

拡大した状態で画面を上下左右に移動することができます。

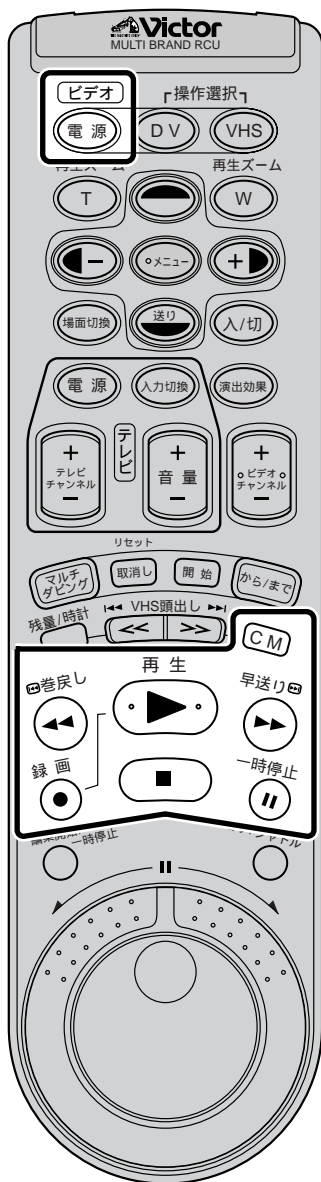
**ズーム再生中に**

## 再生画面に演出効果を加える（DVデッキのみ）

再生中の画面に一時的に演出効果を入れて見ることができます。
録画されるわけではないので次回再生するときはオリジナルの映像をご覧になれます。

**再生中に**

**演出効果画面が表示されます。**

**繰り返し押す**
**（2秒以内）**

- 演出効果ボタンを繰り返し押して、お好きな演出効果を選びます。
- 演出効果を止めるには、入／切ボタンを押します。
  もう一度押すと選ばれている演出効果に戻ります。
- それぞれの演出効果については62ページをご覧ください。

## コマーシャルを飛ばして再生する（VHSデッキのみ）

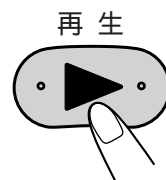
テープを再生中に、コマーシャル部分を30秒単位で早送りすることができます。
（CMスキップサーチ）

**再生中に**

1度押すと、早送りが始まります。
その後押すたびに、早送りの時間が約30秒ずつ（最長2分まで）増えていきます。

## その他の便利な機能

### テープを巻き戻してから、再生する

を押してから、2秒以内に

### テープを巻き戻してから、電源を切る

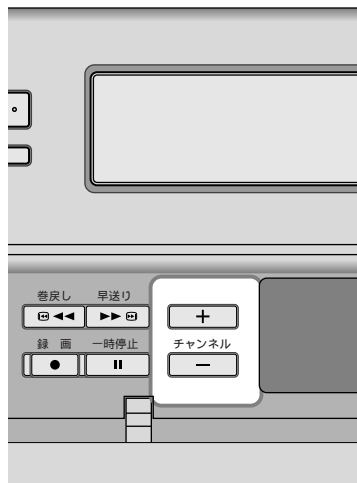
を押してから、2秒以内に

### テープを巻き戻してから、カセットを取り出す

を押してから、2秒以内に

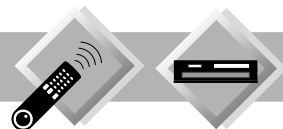
本体の取出し（▲）ボタンを使います。

# 再生中の映像を調節する（VHSデッキのみ）

メモ

● 本機の電源を入れたり、カセットを入れると、オートトラッキングが自動的に「入」になります。

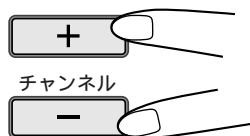
お願い

● 録画状態の極端に悪いテープや他のビデオデッキで録画したテープでは、十分にトラッキングを調節できないことがあります。
● スロー再生中の映像の乱れやちらつきは、調節しても消えないことがありますが、故障ではありません。
● お使いのテレビによっては、静止画再生中の映像の揺れをとめられないことがあります。

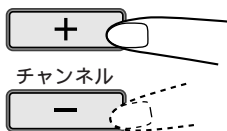
## トラッキングを調節する

本機には、オートトラッキング機能が付いています。
テープの再生を始めると、自動的にオートトラッキングが働き、映像の乱れやちらつきを調節します。

オートトラッキングで、映像の乱れやちらつきがとれないときは、次の操作をしてください。

1

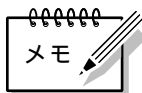
再生中に
### オートトラッキングを解除する

● **本体ボタン**でのみ解除ができます。押すたびに、オートトラッキングの「入/切」が切り換わります。

2

### トラッキングを調節する

● リモコンの**ビデオチャンネル＋/ー**ボタンでも操作できます。

**スロー再生中に、映像に横すじやちらつきが出るときは**
**1**　静止画再生中は、**一時停止**（❚❚）ボタンを2秒以上押し、スロー再生にする
**2**　**ビデオチャンネルー**または＋ボタンを押し、調節する

**次のようなときは「629TBC」を「切」にすると見やすい場合がありあます**

- 電波の弱い地域でテレビ番組を録画したテープなど、録画状態の悪いテープを再生するとき
- 「S-VHS ET」（79ページ参照）で録画スピード「3倍」で録画されたテープを再生するとき
- 特殊な信号（パソコン、一部のキャラクタージェネレーターなど）を録画したテープを再生するとき

- 「629TBC」を「入」にすると、自動的に「Vスタビライズ」（83ページ参照）は「切」になります。「629TBC」と「Vスタビライズ」を同時に働かせることはできません。

## 画面の歪みを補正する （629TBC）

本機は、テープの伸びや変形によって再生画像に発生する微妙な横揺れや画面の曲がりを補正し、安定した画面で再生するデジタルタイムベースコレクターを採用しています。

（TBC：Time（タイム） Base（ベース） Corrector（コレクター）の略）

**このようなときに効果を発揮します**

- ビデオムービーで記録したテープを再生するとき
- 何度もくり返し使用したテープを再生するとき
- ダビング時、本機を再生側で使用するとき

### 「629TBC」を設定するには

1. **メニュー**ボタンを押す
2. **送り**ボタンを押し、☞を「VHS映像設定」に合わせる
3. **＋(▶)**ボタンを押し、「VHS映像設定」画面を表示させる

4. **送り**ボタンを押し、☞を「629TBC」に合わせる
5. **＋(▶)**または**ー(◀)**ボタンを押し、「629TBC」の設定を「入」にする
6. **メニュー**ボタンを押し、メニュー操作を終了する

お買い上げ時は、「629TBC」は「入」に設定されています。

# 録画に便利な機能

**リモコン表面**

**リモコン裏面**

## コマーシャルを飛ばして録画する

二重音声放送（二カ国語放送など）やモノラル放送の番組を録画中に、コマーシャルを飛ばして録画することができます。（オートCMカット）

### 停止中または録画中に

● 押すたびに、オートCMカットの「入/切」が切り換わり、現在の設定がテレビ画面に表示されます。

### 予約録画中は…

予約録画でオートCMカットを使いたい場合は、録画を予約をするときに設定してください。（54ページ参照）

● 録画予約中は、予約時の設定に合わせて、オートCMカットの「入/切」が切り換わります。

### オートCMカット機能について

オートCMカット機能は、二重音声放送やモノラル放送の番組を録画中に、ステレオ放送が始まると自動的に録画を中止し、ふたたび二重音声放送やモノラル放送が始まると、録画を再開する機能です。

通常、映画やスポーツ中継などは二重音声で放送されることが多く、逆にコマーシャルはステレオ音声で放送されることが多いので、そのことを利用した機能が「オートCMカット」です。

**お願い**

● **ステレオ放送の番組を録画するときには、使わないでください。**
オートCMカットが「入」になっているときに、ステレオ放送の録画を始めると、本機は自動的に一時停止になります。約5分後に一時停止が解除され録画が始まります。
● オートCMカットを使って、コマーシャルを飛ばして録画すると、コマーシャルの前後で本来の録画したい番組が多少欠けて録画されることがあります。DVデッキの場合、CMが多少残って録画されます。
● モノラル放送のコマーシャルは、オートCMカットが「入」になっていても、録画されます。
● 電波の弱い地域では、オートCMカットが正しく働かないことがあります。
● 本機の映像入力端子やDV入力端子からの録画（テープをダビングするときなど）、またはBS番組の録画のときは、オートCMカットは使えません。

**メモ**

● 次のようなときは、オートCMカットが自動的に「切」になります。
- 録画中に**停止**（■）ボタンまたは**一時停止**（❚❚）ボタンを押したとき
- 録画を始める前に**再生**（►）ボタン、**巻戻し**（◄◄）ボタン、**早送り**（►►）ボタン、**電源**ボタンを押したとき
- 録画を始める前やCMカット中(録画一時停止中)に、チャンネルを切り換えたとき

## タイマー付きの映像機器から録画する

タイマー予約の機能があるデジタルCSチューナーやCATV放送のホームターミナルなどの機器で番組を予約して、簡単に本機で録画することができます。（デジタル放送着信予約）

**その前に…**

- お使いになる**デジタルCSチューナーなどの相手の機器を本機の背面の映像/音声入力1端子につないでください。**
  また、**どちらの映像信号の入力端子（「S映像」または「映像」）を使うのかを、メニューで正しく設定してください。**（82ページ参照）
- **VHS**または**DV**ボタンを押して、使用するデッキを選びます。
- 録画用のカセットを入れておきます。

### 1 デジタルCSチューナーやCATVのホームターミナルで番組を予約する

- 予約後、相手機器の電源が切れていることを確認してください。
- 番組の予約方法は、お持ちの機器に付いている取扱説明書をご覧ください。

### 2 本機を録画（デジタル放送着信予約）待機状態にする

**（約2秒間押す。）**

本体のデジタルCS予約ランプ（ボタン自体）が緑色に点灯し、選択されたデッキの表示窓に「CS」と表示され、本機の電源が切れます。

- これで、予約開始時刻になるとデジタルCSチューナーなどの機器の電源が入り、本機で自動的に録画が開始されます。
  本機で録画が始まると、デジタルCS予約ランプが点滅し始めます。

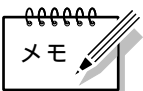
**録画待機を解除するときは、デジタルCS予約**ボタンをもう1度押します。

**録画を途中で止めるときは、デジタルCS予約**ボタンを押してから、**停止**（■）ボタンを押します。

デジタルCS予約が入っているときは、Gコード録画予約／通常録画予約はできません。

メモ

- ビデオ・リモート・コントローラーが付いている、ビクター製デジタルCSチューナーTU-CSD2などでは、録画予約の方法が異なります。デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 録画スピードを変更したいときは、手順2で**デジタルCS予約**ボタンを押す前に、**標準/3倍録画スピード**ボタンを押してください。
- デジタルCSチューナーなどの相手機器の電源が入っているときに、**デジタルCS予約**ボタンを押すと、デジタルCS予約ランプが点滅します。このときは、相手機器の電源を切ってください。

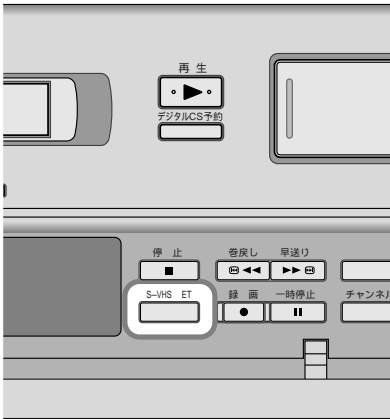
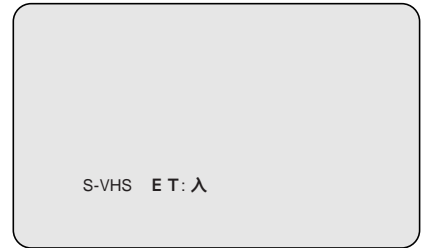
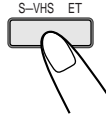
メモ

- コピーガードのかかっている番組の場合、本機を経由してデジタルCS放送を見ようとすると、画像がきれいに映らない場合があります。このときは、デジタルCSチューナーから直接テレビに映像・音声コードを接続し、テレビの入力をデジタルCSチューナーに切り換えてご覧ください。

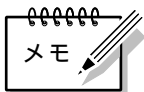
### デジタル放送着信予約機能について

この機能は、本機背面の映像/音声入力1端子に信号が入力されると、その信号を検知して、本機の電源を入れ、録画を開始する機能です。
デジタルCSチューナーなどにタイマー予約機能が付いていれば、その機器の電源がタイマーで「入」になったときに、同時にその機器と本機をつないだ映像/音声コードから本機に信号が入力されます。このことを利用した機能です。

**お願い**

- **デジタル放送着信予約待機（本体のデジタルCS予約ランプが緑色に点灯）中は、デジタルCSチューナーなどの相手機器の電源を入れないでください。**
  入れると、本機で録画が始まります。
- 本機背面の映像/音声入力1端子にタイマーの付いていない機器をつないでいる場合に、デジタル放送着信予約機能を使うと、相手機器の電源が入ると、本機で録画が始まってしまいますので、ご注意ください。
- お使いになっているデジタルCSチューナーやCATV放送のホームターミナルなどの機器によっては、実際の番組より多少長めに録画されたり、番組の始まりが欠けて録画されることがあります。

## VHSテープにS-VHSの画質で録画する

VHSテープにS-VHSの画質で録画ができます。

1回押すと、現在の設定を表示します。
現在の設定を表示中にくり返し押すと、S-VHS ETモードの「入/切」が切り換わります。

- VHSテープにS-VHSの画質で録画するときは、「入」を選んでください。
  このときは、表示窓にS VHSが表示されます。

- 次のようなときは、S-VHS ETボタンは働きません。
  - 録画中
  - S-VHSカセットが入っているとき

### S-VHS ET機能について

この機能は、VHSテープにS-VHSの画質で記録するための機能です。S-VHS ET機能を使って録画したテープは、本機またはS-VHS ET機能を持ったビデオデッキで再生してください。

お願い

- **よりよい画質で録画・再生・長期保存するためには、S-VHSテープをご利用ください。**
- **S-VHS ET機能を使って録画したテープの再生は本機、もしくはS-VHS ET機能付きのビデオデッキでお楽しみください。**
  添付の「Super VHS ET」シールをテープの背ラベルに貼るなどして、通常のモード（VHSモード）で録画したテープと区別して保存することをお勧めします。
- S-VHS ET機能を使って録画したテープは、S-VHSのビデオデッキやS-VHS簡易再生機能（SQPB）付きのビデオデッキでも再生することができます。ただし、機種によっては再生できないこともありますので、ご注意ください。
- 再生時テープの品質によっては、ノイズが出ることがあります。
- 静止画再生やコマ送り・スロー再生を行うと、画面にノイズがでる場合があります。
- 静止画再生やコマ送り・スロー再生を頻繁に行うと、画質が劣化することがあります。これらの操作の多用は避けてください。
- お使いになるテープによっては、十分な画質が得られないことがあります。必ず事前に試し撮りをして、十分な画質で録画されてることを確かめてください。
  S-VHS ET機能を使って録画するときは、次のことをお勧めします。
  - HG(ハイグレード)タイプのVHSテープをお使いください。
  - 映像がちらついたり、乱れたりするときは、クリーニングカセットをお使いください。（6ページ参照）

# パソコンを接続する

本機前面のDV入力／出力端子にデジタルプリンターGV-DT1/GV-DT3（別売）をつないでビデオの画像をプリントしたり、映像をパソコンに送ることができます。
詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

**図のように、プリンターとパソコンを接続してください。**

：信号の流れ

DV入力端子へ

DV端子へ

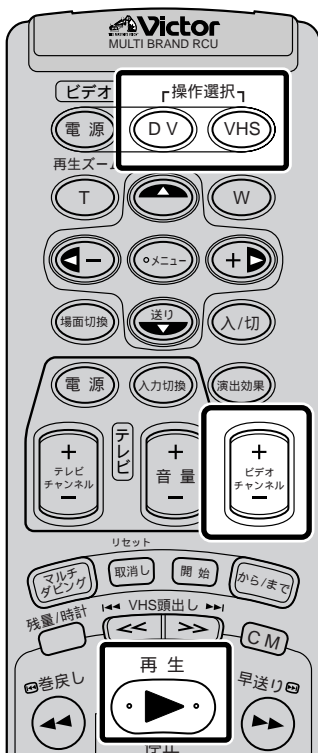
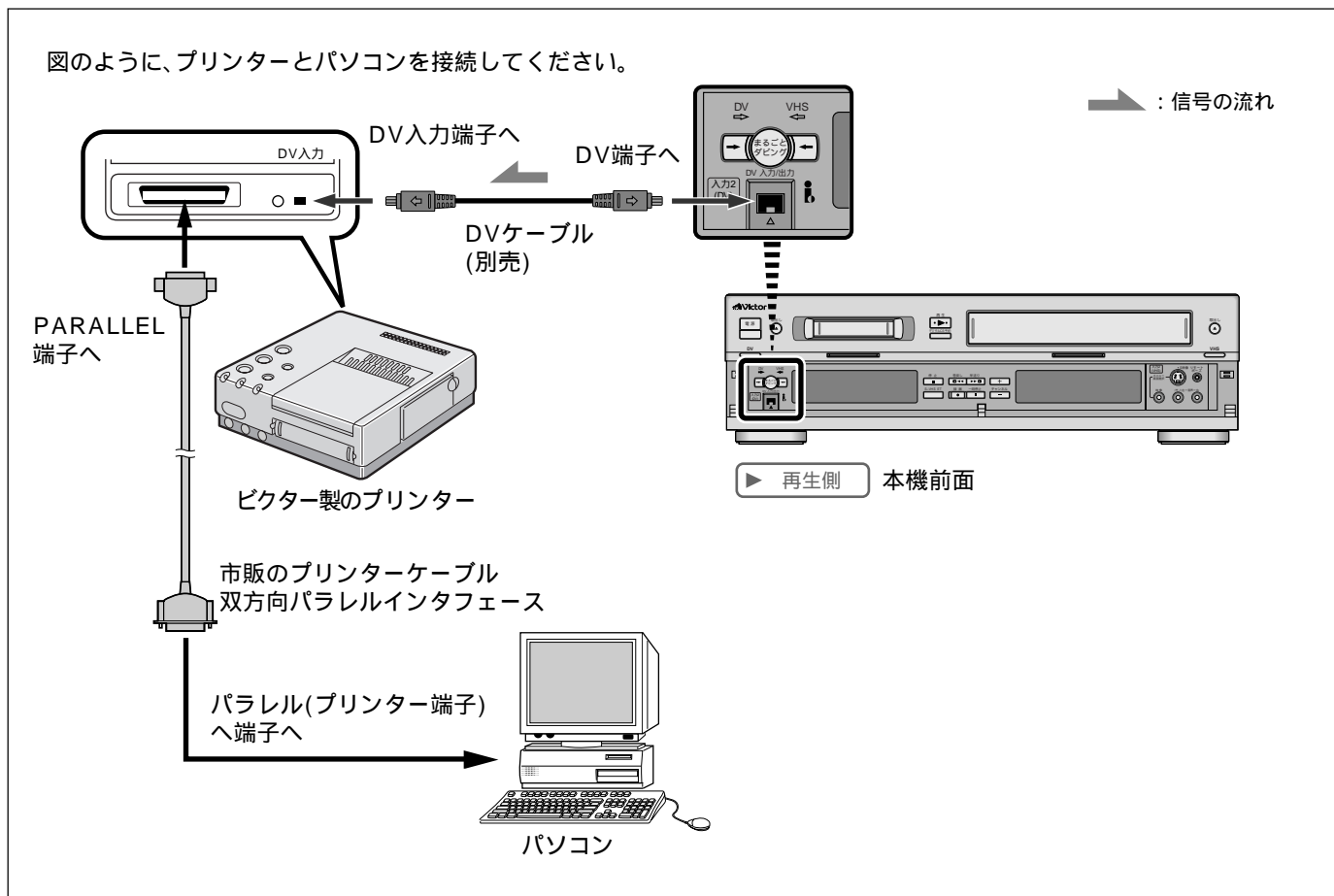
DVケーブル
(別売)

PARALLEL
端子へ

ビクター製のプリンター

▶ 再生側　本機前面

市販のプリンターケーブル
双方向パラレルインタフェース

パラレル(プリンター端子)
へ端子へ

パソコン

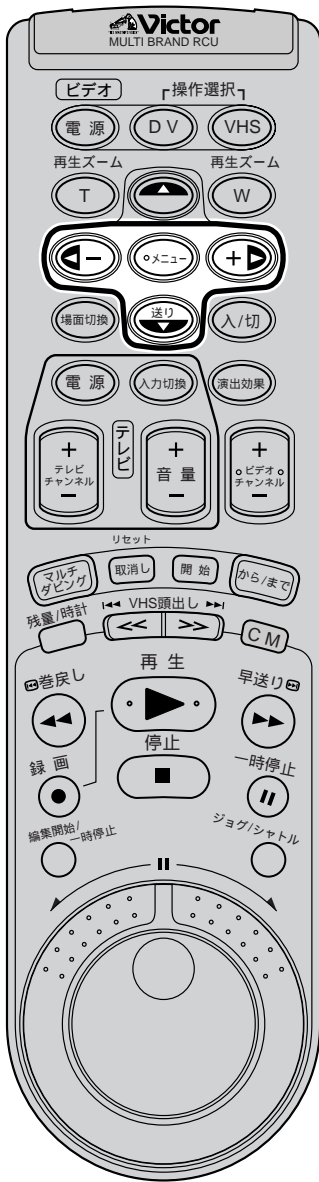
## DVデッキの画像をパソコンなどに出力するときは

1　リモコン表面の**DV**ボタンを押す
2　**再生**ボタンを押す
テレビ画面に映っている画像がDV出力端子から出力されます。
ただし、オンスクリーン表示は出力されません。

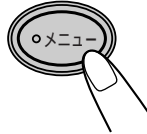
## VHSデッキの画像をパソコンなどに出力するときは

1　リモコン表面の**DV**ボタンを押す
2　**チャンネル＋**／−ボタンを押して、「L3」をDVデッキの表示窓に表示させる
3　リモコン表面の**VHS**ボタンを押す
4　**再生**ボタンを押す
VHSデッキの再生画像がDV出力端子から出力されます。
ただし、オンスクリーン表示は出力されません。

● 上の接続図のプリンターのかわりに、DV入力端子のあるデジタルビデオムービーやデジタルビデオデッキを接続すると、本機を再生側にしてデジタルダビングをすることができます。（66ページ参照）

# お買い上げ時の設定を変える

ここでは、メニューの設定内容の変更のしかたを説明します。次のように設定を変更できます。

**その前に…**

- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

## 1 「メニュー」画面を表示させる

## 2 「モード選択」、「VHS映像設定」、「VHS設定」、「DV設定」のいずれかを表示させる

各項目については82～83ページをご覧ください。

例：「モード選択」画面

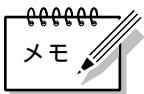
## 3 ☞を、設定を変えたい項目に合わせる

例：「BS独立音声」の設定を変更したいとき

## 4 設定を変える

または

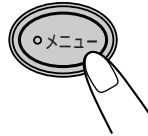
＊ モード選択 ＊
映像入力１ ◉映像 ○S映像
映像入力２ ◉映像 ○S映像
出力１切換 ◉モニター（画面表示あり）
○ＶＨＳ ○ＤＶ
二カ国語音声録音 ◉主 ○主＊副
ＢＳ独立音声 ○切 ◉入
オンスクリーン ◉オート ○切 ○入
▶操作ボタン◀
選択［送り］ 設定［－／＋］ 終了［メニュー］

メモ

**メニュー画面が表示されないときは**

- テレビを本機背面の映像／音声出力2端子（テレビへ）につないでください。
- すでにテレビを映像／音声出力2端子（テレビへ）につないでいるときは、テレビで本機をつないだ外部入力を正しく選んでください。

次のページに続く

## 5 必要ならば、手順1～4をくり返して、他の設定も変更する

## 6 設定を終了する

メニュー画面が消えます。

## 各設定項目の内容

● 停電があったり、電源プラグを抜いたりしたときは、お買い上げ時の設定に戻ります。

### 「モード選択」画面ーVHS、DVデッキ共通

| | |
|---|---|
| **映像入力1：** | 本機背面の映像/音声入力1端子のS映像端子と映像端子のどちらを使用するのかを設定します。<br>● **映像**　背面の映像/音声入力1端子の映像端子を使うとき<br>**S映像** 背面のS映像入力1端子を使うとき |
| **映像入力2：** | 本機前面の映像/音声入力2端子のS映像端子と映像端子のどちらを使用するのかを設定します。<br>● **映像**　前面の映像/音声入力2端子の映像端子を使うとき<br>**S映像** 前面の映像/音声入力2端子のS映像端子を使うとき |
| **出力1切換：** | 本機背面の映像/音声出力1端子から出力する信号を選びます。<br>● **モニター**　使用しているデッキを選んで出力します。画面表示も出力します。<br>**VHS**　常にVHSデッキの信号を出力します。画面表示は出力しません。<br>**DV**　常にDVデッキの信号を出力します。画面表示は出力しません。 |
| **二カ国語音声録音：** | 二重音声放送を録画するときに、録音される音声を選びます。<br>● **主**　二重音声放送の主音声だけを録音します。<br>**主＊副**　二重音声放送の主音声と副音声の両方を録音します。 |
| **BS独立音声：** | BS放送の独立音声を聞きたいとき使います。<br>● **切**　通常は「切」にしておきます。<br>**入**　BS放送の独立音声を聞きたいときに選びます。 |
| **オンスクリーン：** | テレビ画面にカウンター（VHSデッキ）、タイムコード（DVデッキ）などの表示をするのか、しないのかを設定します。<br>● **オート**　ビデオ操作時に、操作の内容を約5秒間テレビ画面に表示します。<br>**入**　常にカウンター、タイムコード(または残量/時計/チャンネル)を表示します。<br>**切**　ビデオの操作内容をテレビ画面に表示しません。 |

●：お買い上げ時の設定

## 「VHS映像設定」画面ーVHSデッキのみ

| | |
|---|---|
| **映像:** | 再生する映像の輪郭をクッキリさせるときに設定をします。<br>● **スタンダード** 通常は「スタンダード」にしておきます。<br>**レンタル** レンタルビデオをご覧になるときに選びます。<br>**ダビング** ダビングするときに選びます。 |
| **3R:** | 再生する映像を、よりきれいに再生(画質改善)します。<br>● **入** 通常は「入」にしておきます。<br>**切** 3R(画質改善)を「切」にします。 |
| **ブルーバック:** | 放送のないチャンネルを受信中やビデオを停止中に、テレビ画面を青くするか、しないかの設定をします。DVデッキとVHSデッキではブルーバックの色が少し異なります。<br>● **入** 放送のないチャンネルを受信中やビデオを停止しているとき、または録画されていないテープを再生しているときに、テレビ画面を青色にします。<br>**切** 電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは「切」を選びます。 |
| **S-VHS記録:** | S-VHSのテープにVHSモードで録画したいときに使います。<br>● **入** S-VHSテープにはS-VHSモードで、VHSテープにはVHSモードで録画します。通常は「入」にしておきます。<br>**切** S-VHSテープにVHSモードで録画したいときに選びます。 |
| **629TBC:** | テープの伸びや変形などでおこる再生画像の横ゆれや画面の歪みを補正するかどうかの設定をします。<br>● **入** 通常は「入」にしておきます。<br>**切** この機能を使わないときにだけ選びます。 |
| **Vスタビライズ:** | 録画スピード「3倍」で録画されたテープを再生中に、映像が上下に揺れるときに使います。<br>● **切** 通常は「切」にしておきます。<br>**入** この機能を使うときにだけ選びます。 |

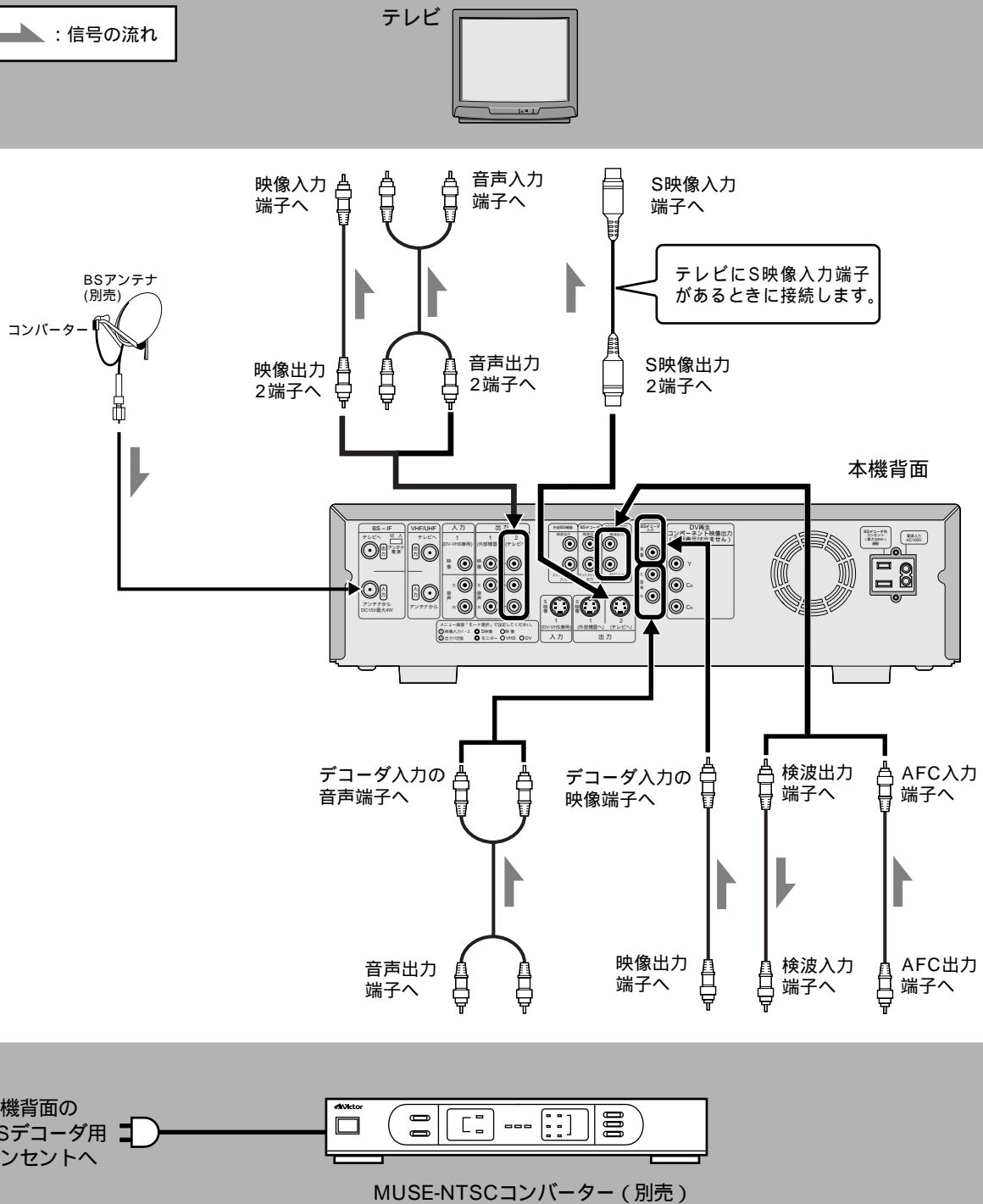
## 「VHS設定」画面ーVHSデッキのみ

| | |
|---|---|
| **ぴったり録画:** | 予約録画実行時に、テープに十分の残量がないときは、自動的に録画スピードを「3倍」に変えるか、変えないかの設定をします。<br>● **切** この機能を使用しません。<br>**入** 録画スピードが「標準」で予約録画中テープが足りなくなりそうなときに、途中で自動的に「3倍」に切り換わり、録画切れを防ぎます。ただしデジタルCS予約のときは働きません。 |
| **ミックス音声:** | ノーマル音声とハイファイステレオ音声をミックスして再生したいときに使います。<br>● **切** 通常は「切」にしておきます。<br>**入** ハイファイ音声とノーマル音声をミックスして再生します。 |

## 「DV設定」画面ーDVデッキのみ

| | |
|---|---|
| **音声モード:** | 録画するときの音声モードの設定をします。<br>● **32kHz(アフレコ用)** 「32kHz(アフレコ用)」を選んでから録画すると、あとでアフレコをすることができます。<br>**48kHz** 録音したままの高音質で再生します。アフレコはできません。 |
| **32kHz音声切換:** | 32kHzで録画したテープを再生するときの音声を選びます。<br>● **音声1** 録画時の音声をステレオ音声で再生します。<br>**音声2** アフレコ音声をステレオ音声で再生します。<br>**フル音声(1、2ミックス)** 録画時の音声とアフレコ音声を同時にステレオ音声で再生します。 |
| **記録日時表示:** | 録画した日時を、再生時に画面に表示するかどうかを設定をします。<br>● **切** 録画日時を表示しません。<br>**入** 録画日時を表示します。 |

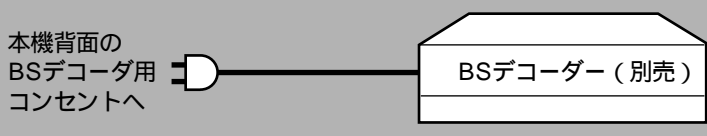
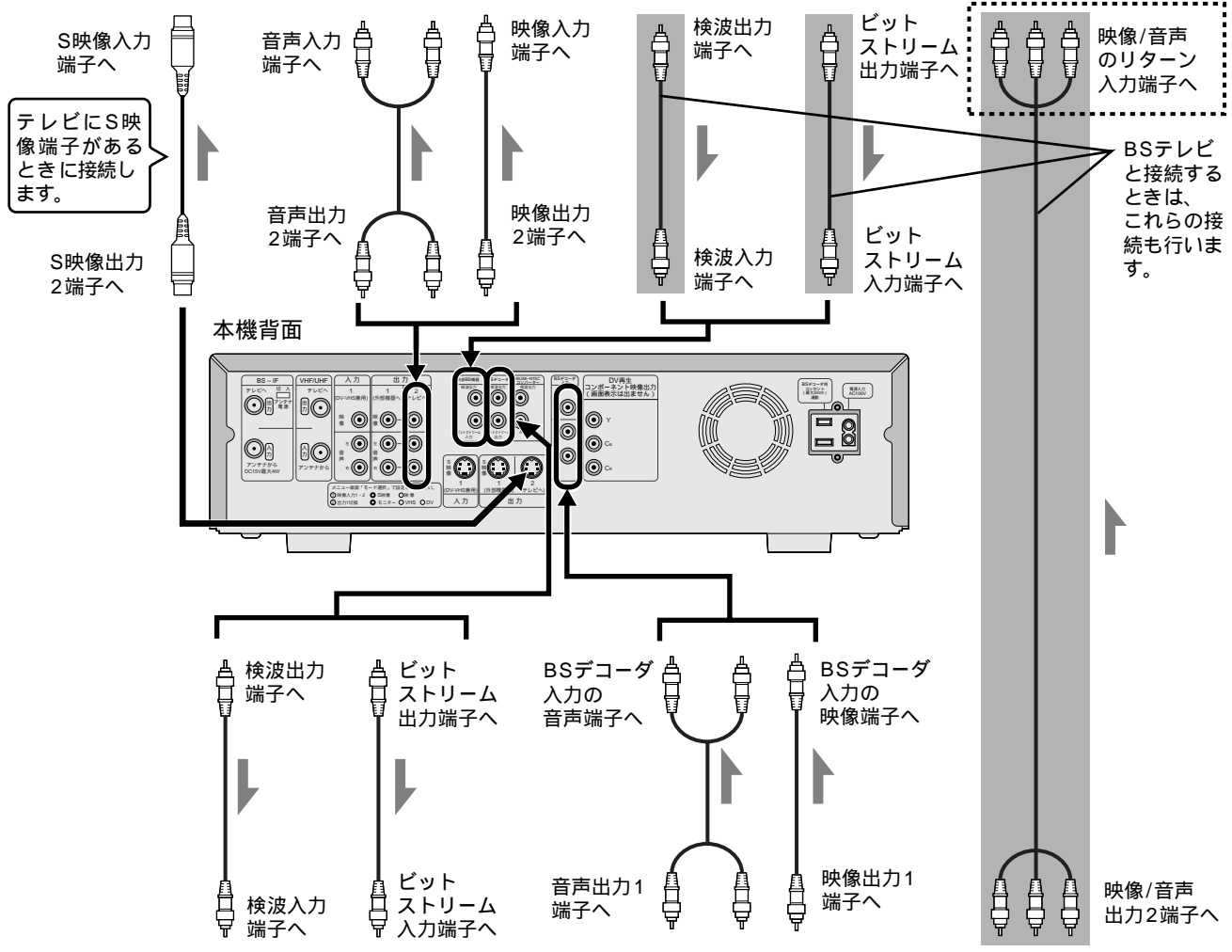
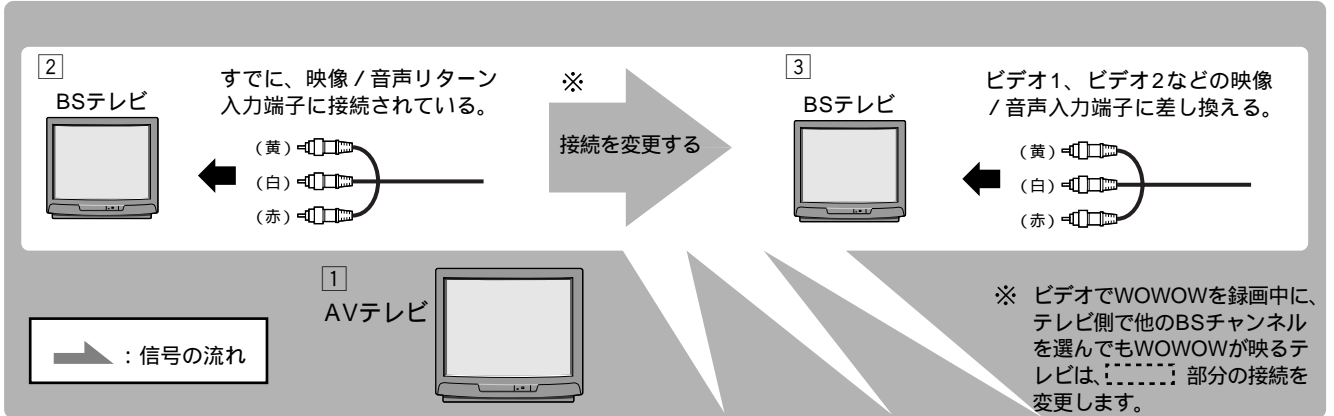
●:お買い上げ時の設定

# MUSE-NTSCコンバーターを接続する

**ハイビジョン放送の番組を見るときは**

1 本機とMUSE-NTSCコンバーターの電源を入れる
2 本機でBS9チャンネルを選ぶ
3 テレビで「外部入力」を選ぶ

**ハイビジョン放送の番組を録画するときは**

1 本機とMUSE-NTSCコンバーターの電源を入れる
2 本機でBS9チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録画中のハイビジョン放送の番組を見ることができます。

# BSデコーダーを接続する

便利な機能

# BSデコーダーを接続する（つづき）

## AVテレビの場合：(前ページの1の場合)

**WOWOWの番組を見るときは**

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 テレビで「外部入力」を選ぶ

**St.GIGAを聞くときは**

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ（82ページ参照）
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 テレビで「外部入力」を選ぶ
テレビ画面にはWOWOWの映像が映りますが、音声はSt.GIGAの音声になります。

**WOWOWの番組を録画するときは**

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

**St.GIGAを録音するときは**

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ（82ページ参照）
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録音中のSt.GIGAの音声を聞くことができます。
テレビ画面にはWOWOWの映像が映ります。

## BSテレビの場合：(前ページの2の場合)

**WOWOWの番組を見るときは**

1 テレビとBSデコーダーの電源を入れる
2 テレビでBS5チャンネルを選ぶ

**St.GIGAを聞くときは**

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ（82ページ参照）
4 テレビでBS5チャンネルを選ぶ

**WOWOWの番組を録画するときは**

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、BS5チャンネルを選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

**St.GIGAを録音するときは**

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ
（82ページ参照）
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める

**WOWOWやSt.GIGAを録画・録音中に、別のBS放送の番組を見るときは**

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
● St.GIGAを録音するときは、BSデコーダーと本機の両方で、独立音声を選びます。
3 本機で録画を始める
4 テレビで他のBSチャンネルを選ぶ

## BSテレビの場合：(前ページの3の場合)

**WOWOWの番組を見るときは**

1 テレビとBSデコーダーの電源を入れる
2 テレビでBS5チャンネルを選ぶ
3 テレビで前ページの3で接続した「外部入力」を選ぶ

**St.GIGAを聞くときは**

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ（82ページ参照）
4 テレビでBS5チャンネルを選ぶ
5 テレビで前ページの3で接続した「外部入力」を選ぶ

**WOWOWの番組を録画するときは**

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、前ページの3で接続した「外部入力」を選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

**St.GIGAを録音するときは**

1 本機とBSデコーダーの電源を入れる
2 BSデコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ
（82ページ参照）
4 本機でBS5チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、前ページの3で接続した「外部入力」を選ぶと、録音中のSt.GIGAの放送を聞くことができます。

**WOWOWやSt.GIGAを録画・録音中に、別のBS放送の番組を見るときは**

1 本機とテレビ、BSデコーダーの電源を入れる
2 本機でBS5チャンネルを選ぶ
● St.GIGAを録音するときは、BSデコーダーと本機の両方で、独立音声を選びます。
3 本機で録画を始める
4 テレビで他のBSチャンネルを選ぶ

リモコン表面

リモコン裏面

## BS デコーダーの設定をする

BSデコーダーに関する本機の設定はお買い上げ時には次のようになっています。

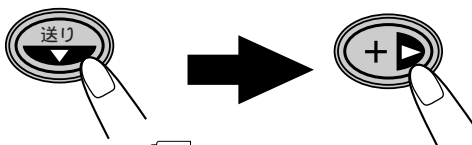
- スクランブルのかかった有料のBS放送（WOWOW、St.GIGA）を見るときには、BSデコーダーの電源を入れてください。
  スクランブルのかかっていない放送はBSデコーダーを通さずに見ることができるので、有料放送でない番組を見るときは、BSデコーダーの電源を入れる必要はありません。

WOWOWやSt.GIGAは、スクランブルをかけていない無料の番組も放送しています。
BS5チャンネルの「デコーダ入力」の設定を「オート」（お買い上げ時の設定）にしておくと、このような無料放送の番組と有料放送の番組の変わり目で、音や映像が途切れることがあります。
そのようなときは、「デコーダ入力」の設定を「入」にしてください。
WOWOWやSt.GIGAの放送を見たり、聞いたりするときは、必ずBSデコーダーの電源を入れてください。

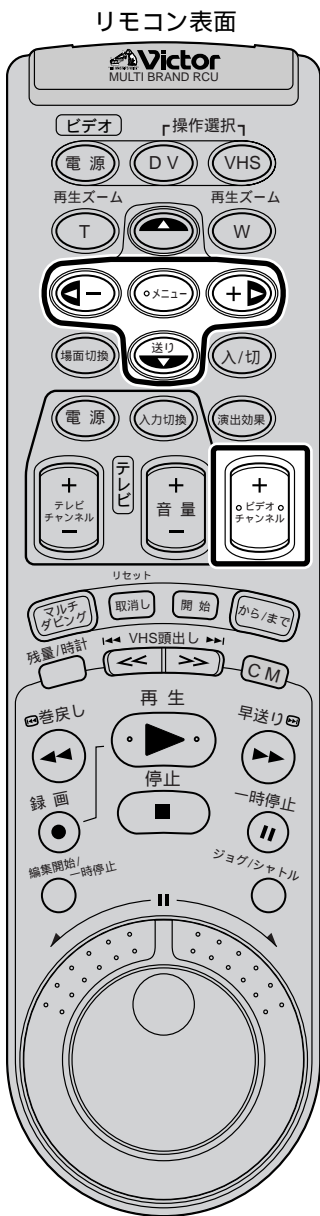
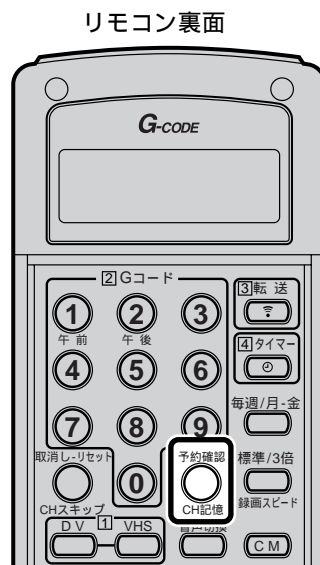
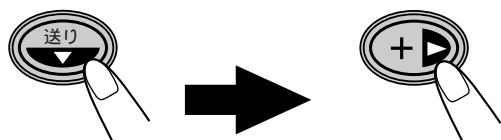
**その前に…**

- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

## 1 BS5チャンネルを選ぶ

## 2 「メニュー」画面を表示させる

## 3 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

便利な機能

次のページに続く

## 4 「BSチャンネル合わせ」画面を表示させる

＊ BSチャンネル合わせ ＊
チャンネル表示 BS 5CH 記憶
デコーダ入力 オート
▶操作ボタン◀
・チャンネルを選ぶ [－／＋]
・選局をとばす [スキップ]
＊デコーダ入力変更へ [送り]
＊終了 [メニュー]

を「記憶／スキップ／表示変更／微調整」に合わせてから、

## 5 「デコーダ入力変更」を選ぶ

## 6 デコーダ入力を「入」にする

または

## 7 変更を記憶させる

リモコン裏面（表示窓のあるほう）の予約確認／CH記憶ボタンを使います。

## 8 メニュー操作を終了する

メモ

● 手順4のあとで、**送り**ボタンを押すたびに、次の画面がテレビに表示されます。

「デコーダ入力変更」画面→
「BSアンテナ合わせ」画面→
「BSチャンネル合わせ」（手順4の画面に戻ります。）→

# 各部の名称

（☞P.　）の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

## 本体前面

1 **DVボタン**
DVデッキが操作できるようになります。（☞P.40、45）

2 **リモコン受光部**
リモコンをここに向けて操作します。

3 **電源ボタン**
電源を入/切します。

4 **取出し（▲）ボタン（DV用）**
ミニDVカセットを取り出すことができます。（☞P.41）

5 **DVラインライト**
点灯しているときはDVデッキを操作できます。（☞P.40）

6 **ミニDVカセット挿入口**
ミニDVカセットを入れます。（☞P.40、45）

7 **再生（►）ボタン**
テープの再生を始めます。（☞P.40）

8 **デジタルCS予約ボタン（ランプ）**
お持ちのデジタルCSチューナーなどにタイマー機能が付いているときにご利用になれます。（☞P.78）

9 **VHSカセット挿入口**
VHSカセットを入れます。（☞P.40、45）

10 **VHSラインライト**
点灯しているときはVHSデッキを操作できます。（☞P.40）

11 **取出し（▲）ボタン（VHS用）**
VHSカセットを取り出すことができます。（☞P.41）

12 **VHSボタン**
VHSデッキが操作できるようになります。（☞P.40）

## 本体前面扉内

1 **まるごとダビング→／←ボタン**

→：DVデッキで再生してVHSデッキで録画するときに押します。（☞P.48）

←：VHSデッキで再生してDVデッキで録画するときに押します。（☞P.48）

2 **DV入力／出力端子（i-LINK*）（DVデッキ専用）**

デジタルビデオ機器のDV端子とつなぎます。（☞P.66、80）

* i-LINKは、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様です。

ℹ はi-LINKに準拠した商品につけられるロゴマークです。

3 **S-VHS ETボタン**

VHSテープにS-VHSの画質で録画するときに使います。（☞P.79）

4 **テープ操作部**

**停止（■）ボタン**

録画や再生を止めます。（☞P.41、46）

**巻戻し（⊟/◀◀）ボタン**

再生中は、映像を見ながら巻戻しができます。
停止中は、テープを巻戻します。（☞P.41、46）

**早送り（▶▶/⊟）ボタン**

再生中は、映像を見ながら早送りができます。（☞P.41、46）
停止中は、テープを早送りします。（☞P.41、46））

**録画（●）ボタン**

録画を始めます。（☞P.46）
録画中に、くり返し押すと、録画時間を30分単位で設定できます。（☞P.47）

**一時停止（❚❚）ボタン**

再生中や録画中に押すと、一時停止します。（☞P.41、46）
一時停止中に、くり返し押すと、コマ送り再生ができます。
VHSデッキで再生中に、2秒以上押し続けるとスロー再生になります。

5 **チャンネル＋／－ボタン**

ビデオのチャンネルを切換えます。
VHSデッキのトラッキングの調節にも使用します。（☞P.75）

6 **映像/音声入力2端子（VHSデッキ専用）**

ビデオムービーなどの映像をダビングしたいときにお使いください。

7 **リモートポーズ端子（DV・VHS兼用）**

ビクター製のビデオムービーなどを接続して、テープをダビングや編集するときに使います。
再生プリロールには対応していません。

## 本体背面

1 **BS-IF入力端子**
BSアンテナをつなぎます。(☞P.18)

**BS-IF出力端子**
BSテレビのBSアンテナ入力端子とつなぎます。(☞P.18)

**アンテナ電源入／切スイッチ**
BSアンテナへの電源供給を入／切します。(☞P.19)

2 **VHF/UHF入力端子**
VHF/UHFアンテナをつなぎます。(☞P.14)

**VHF/UHF出力端子**
テレビのアンテナ入力端子とつなぎます。(☞P.15)

3 **映像/音声入力1端子(DV・VHS兼用)**
デジタルCSチューナーや他のビデオデッキなどの映像／音声出力端子とつなぎます。(☞P.67)

4 **映像/音声出力1端子(外部機器へ)**
他のビデオデッキなどの映像／音声入力端子とつなぎます(☞P.68)。オンスクリーン表示は出力されません。

**映像/音声出力2端子(テレビへ)**
テレビの映像/音声入力端子とつなぎます(☞P.16、84、85)。通常はこちらの端子にテレビの映像/音声入力端子をつないでください。

5 **外部BS機器端子**
**検波入力端子：** BSテレビなどの検波出力端子とつなぎます。(☞P.85)
**ビットストリーム入力端子：** BSテレビなどのビットストリーム出力端子とつなぎます。(☞P.85)

6 **BSデコーダ端子**
**検波出力端子：** BSデコーダーの検波入力端子とつなぎます。(☞P.85)
**ビットストリーム出力端子：** BSデコーダーのビットストリーム入力端子とつなぎます。(☞P.85)

7 **MUSE-NTSCコンバーター端子**
**検波出力端子：** MUSE-NTSCコンバーターの検波入力端子とつなぎます。(☞P.84)
**AFC入力端子：** MUSE-NTSCコンバーターのAFC出力端子とつなぎます。(☞P.84)

8 **BSデコーダ入力端子**
BSデコーダーの映像/音声出力端子とつなぎます。(☞P.85)

9 **DV再生コンポーネント映像出力端子**
コンポーネント映像入力のあるテレビとつなぎます。(☞P17)

10 **通風孔**
内部にファンがありますので、塞がないようにしてください。

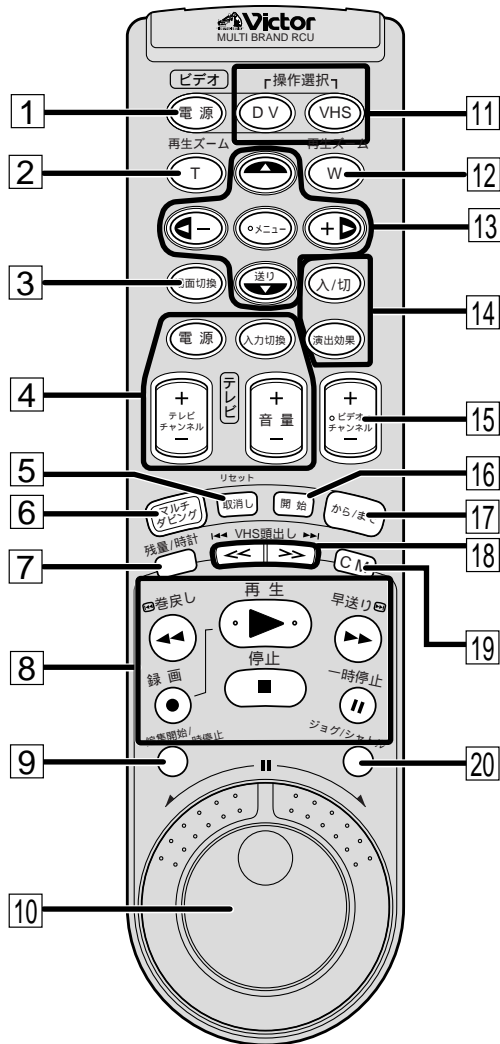
11 **BSデコーダ用コンセント**
BSデコーダーなどの電源コードをつなぎます。(☞P.84、85)

12 **電源入力端子**
付属の電源コードで壁のコンセントにつなぎます。

13 **S映像入力1端子(DV・VHS兼用)**
映像/音声入力1端子のS映像端子です。
デジタルCSチューナーや他のビデオデッキなどのS映像出力端子とつなぎます。(☞P.67)

14 **S映像出力1端子(外部機器へ)**
映像/音声出力1端子のS映像端子です。
他のビデオデッキなどのS映像入力端子とつなぎます。(☞P.68)。オンスクリーン表示は出力されません。

**S映像出力2端子(テレビへ)**
映像/音声出力2端子のS映像端子です。
テレビのS映像入力端子とつなぎます。(☞P.16、84、85)
通常はこちらの端子にテレビのS映像入力端子をつないでください。

## リモコン表面

1 **ビデオ電源ボタン**
本機の電源を入/切します。

2、12 **再生ズームT／Wボタン**
DVデッキで再生中の映像を拡大（ズーム）、縮小します。（☞P.73）

3 **場面切換ボタン**
マルチダビングで場面切換効果を入れるときに使います。（☞P.60）

4 **テレビ操作部**

**テレビ電源ボタン**
テレビの電源を入/切します。

**テレビチャンネル＋／－ボタン**
テレビのチャンネルを選びます。

**テレビ音量調節＋/－ボタン**
テレビの音量を調節します。

**入力切換ボタン**
テレビの外部入力を切り換えます。

5 **リセット／取消しボタン**
VHSデッキのカウンターをリセットします。（☞P.42）
マルチダビング設定中は設定を取消します。（☞P.58）

6 **マルチダビングボタン**
マルチダビングの作品リストを表示させます。（☞P.58）

7 **残量/時計ボタン**
表示窓やテレビ画面のカウンター／残量／時計表示を切り換えます。（☞P.42）

8 **テープ操作部**
巻戻し（◀◀/⏪）、再生（▶）、早送り（⏩/▶▶）、録画（●）、停止（■）、一時停止（❚❚）（☞P.40～41、45～46）

9 **編集開始／一時停止ボタン**
通常のダビング／編集のときに、録画／再生を始めたり、止めたりします。（☞P.65）

10 **ジョグダイヤル／シャトルリング**
再生中にジョグダイヤルを回すとコマ送り再生ができます。
再生中にシャトルリングを回すと再生スピードが変わります。（☞P.72）

11 **操作選択DV／VHSボタン**
操作するデッキを選びます。（☞P.40、45）

13 **メニュー操作部**

**メニューボタン**
メニュー画面を表示させます。

**送り（▼）／＋（▶）／－（◀）/▲ボタン**
メニューの各項目の設定をします。
再生中にズーム機能を使っているときは、ズーム画面を移動をします。

14 **演出効果、入／切ボタン**
再生中（DVデッキのみ）やマルチダビングで演出効果を入れるときに使います。（☞P.61、73）

15 **ビデオチャンネル＋/－ボタン**
録画チャンネルを選びます。（☞P.45）

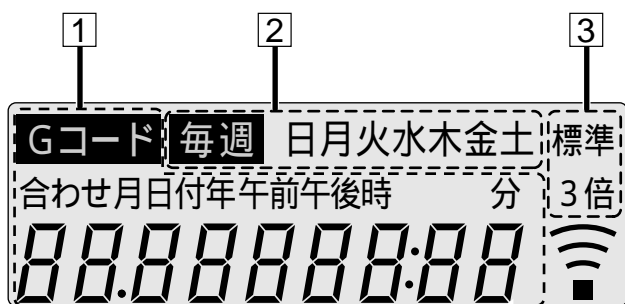
16 **開始ボタン**
マルチダビングの自動編集を始めます。（☞P.62）

17 **から／までボタン**
マルチダビング設定画面でタイムコードを設定します。（☞P.60）

18 **VHS頭出し（⏮/⏭）/ ≪ / ≫ ボタン**
VHSテープの頭出しをします。（☞P.69）
VHSデッキで再生中に再生スピードを変えます。（☞P.72）

19 **CMボタン**
VHSデッキで再生中に押すと、30秒単位で（最長2分まで）早送りします。（☞P.74）
録画する前に押すと、録画中にコマーシャルを自動的にカットして録画します。（☞P77）

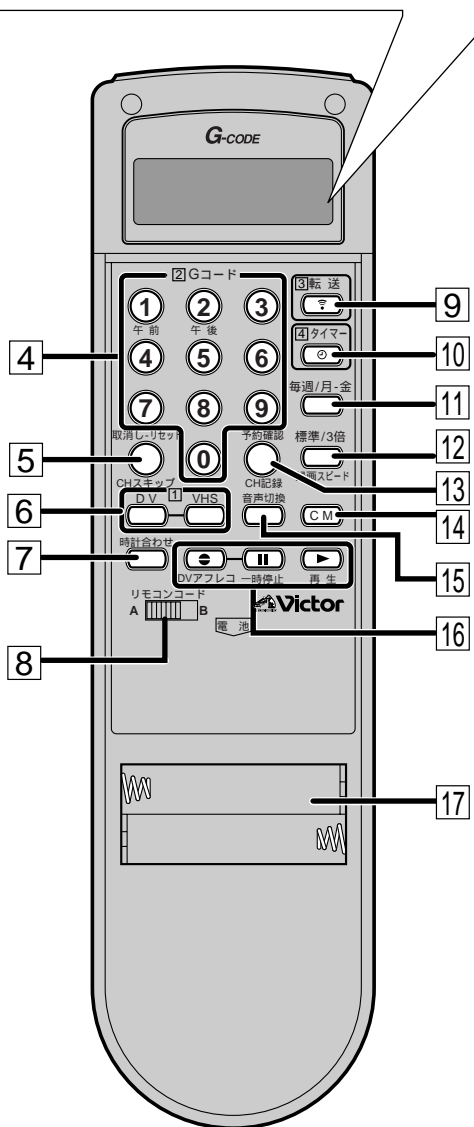
20 **ジョグ／シャトルボタン（ランプ）**
押すとランプが点灯し、ジョグダイヤル／シャトルリングを操作できるようになります。もう一度押すとランプが消え、ジョグダイヤル／シャトルリングは操作できなくなります。（☞P.72）

## リモコン裏面

### リモコン表示窓

時計合わせ、Gコード録画予約をするときに使います。(☞P.50)

1 **Gコード(番組予約番号)/時計表示**

2 **曜日表示**

3 **録画スピード表示**
DVデッキの場合は「標準」がSP、「3倍」がLPを示します。

4 **Gコード数字ボタン(1〜9、0)**
Gコードを入力します。(☞P.50)

5 **取消しーリセット/CHスキップボタン**
VHSデッキのカウンターをリセットします。(☞P.42)
予約設定中は予約を取り消すときに押します。
チャンネル設定中はチャンネルスキップを設定したいときに押します。(☞P.32)

6 **DV、VHSボタン**
録画予約するデッキを選びます。(☞P.50)

7 **時計合わせボタン**
リモコンの時計を合わせるときに使います。(☞P.38)

8 **リモコンコードA/B切換えスイッチ**
リモコンで、本機の他にもう1台ビデオデッキを操作するときに切換えます。(☞P.13)

9 **転送ボタン**
予約内容を本体に転送します。(☞P.39、51)

10 **タイマー(◷)ボタン**
予約録画を設定/解除します。(☞P.51、55)

11 **毎週/月ー金ボタン**
録画予約の毎週、毎日を設定します。(☞P.51)

12 **標準/3倍録画スピードボタン**
録画スピードを選びます。(☞P.46)
DVデッキが選ばれているときは、このボタンを押すと、録画スピード「標準(SP)」または「3倍(LP)」を選ぶことができます。

13 **予約確認/CH記憶ボタン**
「予約確認」画面を表示させます。(☞P.56)
チャンネル設定中は変更を記憶させるときに押します。(☞P.29)

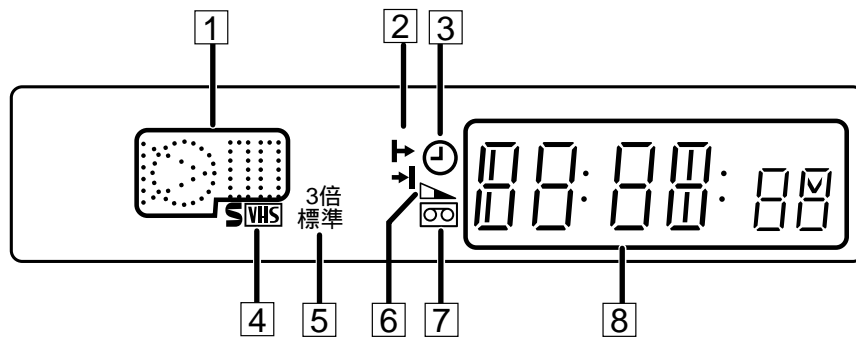
14 **CMボタン**
VHSデッキで再生中に押すと、30秒単位で(最長2分まで)早送りします。(☞P.74)
録画する前に押すと、録画中にコマーシャルを自動的にカットして録画します。(☞P.77)

15 **音声切換ボタン**
音声出力を切換えます。(☞P.70)

16 **DVアフレコ、一時停止、再生ボタン**
アフレコをするときに使います。(☞P.49)

17 **電池収納部(☞P.11)**

# 各部の名称（つづき）

## 本体表示窓ー VHS デッキ

1 **テープ走行表示**
▷ ： 再生中に点灯します。
○ ： 録画中に点灯します。ワンタッチタイマー録画中は点滅します。
▯▯ ： 一時停止中に点灯します。

2 **開始/終了時刻表示**
表示窓で録画予約の確認をしているときに、開始時刻がカウンターに表示されているときは「↦」、終了時刻が表示されているときは「→|」が表示されます。（☞P.57）

3 **タイマー（◴）表示**
予約録画待機中のときに点灯します。（☞P.51）

4 **S-VHS表示**
S-VHSモードで記録ができるときに点灯します。（☞P.79）

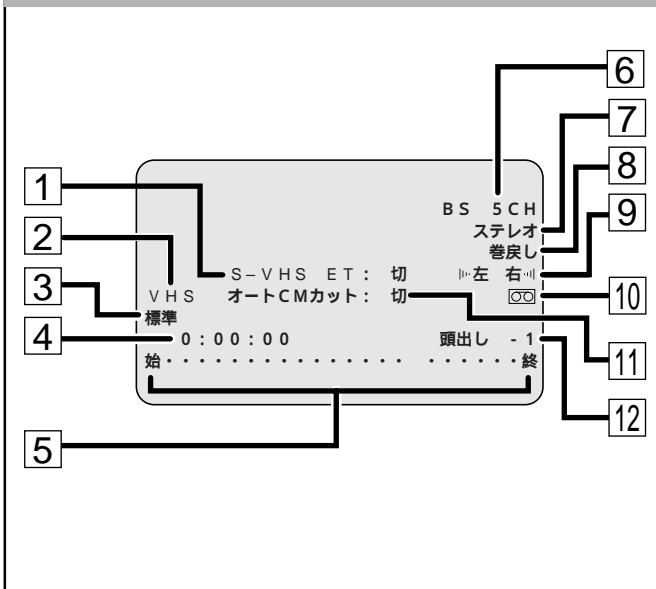
5 **録画スピード表示**（☞P.46）
標準：録画スピードが「標準」のとき点灯します。
3倍：録画スピードが「3倍」のとき点灯します。

6 **テープ残量（◺）表示**
テープ残量が表示されているときに点灯します。（☞P.42）

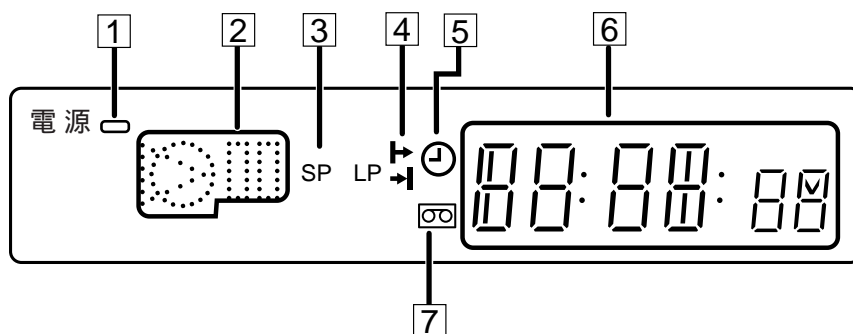
7 **カセット（▭）表示**
VHSデッキにカセットが入っているときに点灯します。

8 **カウンター／チャンネル表示**
テープの走行時間、残量、時計やチャンネル番号などが表示されます。（☞P.42）
デジタルＣＳ予約待機中には、「ＣＳ」と表示されます。（☞P.78）

電源を切っているときは、DVデッキかVHSデッキのどちらか最後に選ばれていたデッキの表示窓が時計表示になります。

## テレビ画面表示ー VHS デッキ使用時

1 **S-VHS ET**（☞P.79）
2 **VHSデッキ**（☞P.40）
3 **録画スピード**（☞P.46）
4 **カウンター**（☞P.42）
5 **テープ走行位置**
6 **チャンネル番号**
7 **受信放送の音声**（☞P.70）
8 **テープ走行**
9 **音声出力**（☞P.70）
10 **カセット**
11 **オートCMカット**（☞P.77）
12 **頭出し番号**（☞P.69）

● メニューの「オンスクリーン」が「オート」または「入」になっているときに表示される内容です。（☞P.82）
左の表示が同時にすべて表示されることはありません。

## 本体表示窓－DVデッキ

1 **電源ランプ**
電源を入れると点灯します。

2 **テープ走行表示**
▷ ： 再生中に点灯します。
○ ： 録画中に点灯します。ワンタッチタイマー録画中は点滅します。
▯▯ ： 一時停止中に点灯します。
▷○ ： アフレコ中に点灯します。

3 **録画スピード表示**(☞P.46)
SP： 録画スピードが標準のとき点灯します。
LP： 録画スピードが標準の1.5倍のとき点灯します。

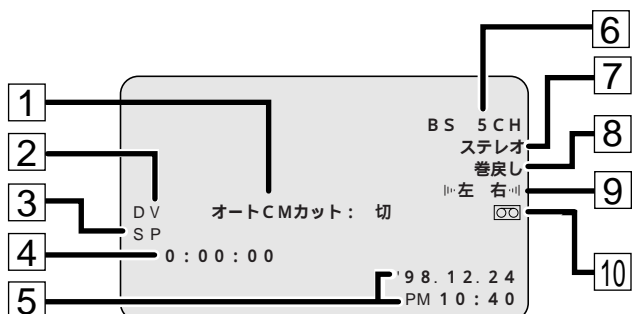
4 **開始/終了時刻表示**
表示窓で録画予約の確認をしているときに、開始時刻がカウンターに表示されているときは「↦」、終了時刻が表示されているときは「⇥」が表示されます。(☞P.57)

5 **タイマー(◴)表示**
予約録画待機中のときに点灯します。(☞P.51)

6 **タイムコード／チャンネル表示**
タイムコード、時計やチャンネル番号などが表示されます。(☞P.42)
デジタルＣＳ予約待機中には、「ＣＳ」と表示されます。(☞P.78)

7 **カセット(▭)表示**
DVデッキにカセットが入っているときに点灯します。

電源を切っているときは、DVデッキかVHSデッキのどちらか最後に選ばれていたデッキの表示窓が時計表示になります。

## テレビ画面表示－DVデッキ使用時

1 **オートCMカット**(☞P.77)
2 **DVデッキ**(☞P.40)
3 **録画スピード**(☞P.46)
4 **タイムコード**(☞P.42)
5 **記録日時表示**
6 **チャンネル番号**
7 **受信放送の音声**(☞P.71)
8 **テープ走行**
9 **音声出力**(☞P.71)
10 **カセット**

● メニューの「オンスクリーン」が「オート」または「入」になっているときに表示される内容です。(☞P.82)
左の表示が同時にすべて表示されることはありません。

# 故障かな？　と思ったら

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても直らないときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

## 一般

| 症状 | 原因と対処(参照ページ) |
|---|---|

**電源が入らない**
- ●電源コードはきちんとつながっていますか?
- ●本体の表示窓に「◷」が点灯していませんか?

**カセットが入らない**
- ●正しい向きで入れていますか？

**カセットが出ない**
- ●録画中または本体の表示窓に「◷」が点灯していませんか？「◷」を消してから、カセットを出してください。このとき、録画予約は取り消されます。(☞P.55)

**再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる**
- ●再び再生したいときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムが約5分間は回転しています。故障ではありません。

**カウンター／タイムコード表示が点滅する**
- ●早送り、巻き戻し中にテープの未録画部分になると、表示が点滅します。

**リモコンが働かない**
- ●リモコンコード(A/B)があっていますか?
- ●電池が消耗していませんか?

**テレビが操作できない**
- ●電池交換をしたら、リモコンのテレビコードをお手持ちのテレビメーカーに合わせてください。(☞P.12)

**ぴったりクロックが働かない**
- ●地域番号入力後、NHK教育テレビのチャンネル表示を変更したときは、「時計合わせ」画面のぴったりクロックのチャンネルも変更してください。(☞P.39)

**BS番組が映らない**
- ●本機背面のアンテナ電源入／切スイッチを正しく設定してください。(☞P.19)
- ●WOWOWをご覧になるには、BSデコーダーが必要です。(☞P.85)
- ●BSデコーダーの電源を入れていますか？(☞P.86)

**メニュー画面やオンスクリーン表示が出ない**
- ●映像／音声出力1端子にテレビをつないでいませんか？テレビは映像／音声出力2端子(テレビへ)につないでください。(☞P.16)

## 再生（音声）

| 症状 | 原因と対処(参照ページ) |
|---|---|

**ハイファイステレオの音声が出ない**
- ●ステレオ音声放送ですか？
- ●モノラルビデオデッキやビデオムービーで録画したテープを再生してもハイファイステレオ音声は出ません。(☞P.70)

**日本語と外国語が同時に聞こえる**
- ●音声切換ボタンで聞きたい音声を選んでください。(☞P.70)

**WOWOWの音声が聞こえない**
- ●BSデコーダーの音声切換は正しいですか？メニューの「BS独立音声」を「切」にしてください。(☞P.86)

## 再生（映像）

| 症状 | 原因と対処(参照ページ) |
|---|---|

**テレビに映像が出ない**
- ●テレビで本機をつないだ外部入力を選んでいますか？(☞P.16)

**映像が乱れる、ちらつく**
- ●オートトラッキング中に映像が乱れたり、ちらつきが出るときは、トラッキング調整を行います。(☞P.75)(VHSデッキのみ)
- ●再生中は、トラッキングを手動で調節してください。(☞P.75) 録画状態の悪いテープの場合、十分に調節できないことがあります。(VHSデッキのみ)
- ●長い間使用していると、ビデオヘッドが汚れて再生画が汚くなることがあります。別売のクリーニングテープTCL-3F(VHS用)またはM-DV2CL(DV用)で掃除してください。(☞P.6)

**早送り/巻き戻し再生中、静止画再生中に映像が乱れる**
- ●再生の速さを変えると、映像が乱れるときがあります。故障ではありません。

**録画スピード「3倍」で録画されたテープを再生中に画面が上下に揺れる**
- ●メニューの「Vスタビライズ」を「入」にしてください。(☞P.83)(VHSデッキのみ)

**DVデッキで再生すると時間がかかる**
- ●カセットを入れてから映像が出るまで15秒ほど、時間がかかることがあります。

**DVデッキで、ジョグダイヤルの操作が追いつかない**
- ●ジョグダイアルを操作するときには、ゆっくりと操作をしてください。

## 録画（音声）

| 症状 | 原因と対処(参照ページ) |
|---|---|

**日本語だけ録音したい**
- ●メニューの「二カ国語音声録音」を「主」にしてください。(☞P.82)

**アフレコができない**
- ●はじめの録画時にメニューの「音声モード」を「32kHz（アフレコ用）」にしましたか？(☞P.83)「48kHz」で録画されたテープにはアフレコできません。
- ●はじめの録画時に録画スピードを「SP」にしましたか？(☞P.46)録画スピード「LP」で録画されたテープにはアフレコできません。
- ●アフレコができるのはDVデッキのみです。(☞P.49)

## 録画（映像）

| 症状 | 原因と対処(参照ページ) |
|---|---|

**録画できない**
- ●VHSカセットはつめがついていますか?
ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。(☞P.47)
- ●ミニDVカセットは誤消去防止ツマミが「REC」の側になっていますか？(☞P.47)
- ●著作権保護のための信号が記録されたソフトや放送は録画できません。

**希望の番組が録画できない**
- ●チャンネルが合っていますか？
- ●本機で希望のチャンネルが選べないときは、そのチャンネルを受信できるようにしてください。(☞P.28)

**Gコード録画予約ができない**
- ●本体とリモコンの日付と時刻を設定してありますか?(☞P.38)
- ●チャンネル表示を変更したときは、ガイドチャンネルも設定し直してください。(☞P.34)

**リモコンから本体へ転送できない**
- ●リモコンを本体に近付けて転送してください。

**リモコンから転送すると本体表示窓に「Err」と表示される、**
- ●受信チャンネルは設定しましたか？
- ●チャンネル表示を変更したときは、ガイドチャンネルを設定し直してください。(☞P.34)
- ●本体の時計は正しく設定されていますか？
- ●ワンタッチタイマー録画中は転送できません。(☞P.47)
- ●本体表示窓に「CS」の表示が出ているときは転送できません。(☞P.78)

**リモコンから転送すると本体表示窓に「FULL」と表示される**
- ●予約がいっぱいです。予約できるのはVHS、DVデッキにそれぞれ6番組までです。予約内容を確認し、不要な予約を取消してから、予約してください。

**予約録画ができない**
- ●デジタルCS予約待機中は通常の予約はできません。(☞P.78)
- ●日付と時刻を設定してありますか?（☞P.38）
- ●VHSカセットはつめがついていますか?
ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。(☞P.47)
- ●ミニDVカセットは誤消去防止ツマミが「REC」の側になっていますか？(☞P.47)
- ●本体の表示窓の「◷」は点灯していますか?(☞P.51、54)
- ●予約内容を確認してください。(☞P.56)
- ●停電があったときは正しく動作しません。

**本体の表示窓の「◷」が点滅する**
- ●設定にまちがいがあるので、予約内容を確認して、正しく設定し直してください。(☞P.56)

**本体の表示窓の「◷」と「▭」が点滅する**
- ●カセットが入っていません。

**本体表示窓に「−−:−−」を表示している**
- ●停電がありました。もう一度、日付と時刻を設定してください。(☞P.38)

**予約録画が始まるまでの間、テープを見たい**
- ●タイマーボタンを押して本体の表示窓の「◷」を消してから操作します。
操作終了後は、ふたたび、「◷」を点灯させます。(☞P.55)

**予約録画中にカセットが出て、本体の表示窓の「◷」と「▭」が点滅している**
- ●テープの終わりまで録画すると、カセットが出て電源が切れます。
タイマー(◷)ボタンを押すと「◷」と「▭」は消えます。
タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。

**予約録画中に停止するには**
- ●**タイマー**(◷)ボタンを押し、本体の表示窓の「◷」を消してから、**停止**(■)ボタンを押します。

**録画を予約中に予約中の表示が消えた**
- ●予約中に約1分間放置すると予約表示は消えます。もう1度やり直してください。

**予約が重なったら**
- ●録画中の予約内容が終了するまで次の予約は録画しません。
- ●VHSデッキとDVデッキの録画開始時刻が同時の場合はVHSデッキの録画予約が優先されます。

**予約録画中に、誤って本体の電源ボタンを押してしまったら**
- ●予約録画中に本体の**電源**ボタンを押すと、録画を停止し、電源が切れます。(リモコンの**電源**ボタンを押しても電源は切れません。)
電源が切れた際は、他にも予約があるときは、ふたたび録画予約待機中になります。

## ダビング

| 症状 | 原因と対処(参照ページ) |
|---|---|
| **本機でダビングできない** | ●VHSデッキで録画するときはVHSカセットのつめが付いていますか？<br>ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。（VHSカセットの場合）（☞P.47）<br>●DVデッキで録画するときはミニDVカセットの誤消去防止ツマミが「REC」の側になっていますか？（☞P.47）<br>●ダビングの方向（VHSデッキからDVデッキへ、または、DVデッキからVHSデッキへ）は正しいですか？（☞P.48）<br>●マルチダビングのときは、マルチダビングの設定は正しいですか？（☞P.58） |
| **DV端子を使ったダビング中に、録画が途中で止まる** | ●DV端子を使ってダビングしているときに、再生機側で無記録部分を再生すると、録画側のデッキが停止します。 |
| **演出効果や場面切換効果が録画できない** | ●場面切換効果を入れられるのはマルチダビングのときだけです。（☞P.58）<br>●VHSデッキで再生してDVデッキで録画するときは演出効果を入れられません。 |
| **「場面切換」の「オーバーラップ」、「フェーダー:白黒」が設定できない。** | ●「演出効果」の「セピア」や「ブラック/ホワイト」を選択していませんか? |
| **「演出効果」の「映像効果」や「ストロボ」を選択してもコマ落とし効果が使えない。** | ●「場面切換」の最後の映像(静止画)がワイプ効果や「オーバーラップ」で記録されていませんか? |
| **「演出効果」の「ゴースト」が使えない。** | ●「場面切換」の最後の映像(静止画)がワイプ効果や「オーバーラップ」で記録されていませんか?<br>●「場面効果」のフェーダー効果を使ってフェード・イン、フェード・アウトを選択していませんか? |
| **マルチダビング設定画面で場面切替が選択できない。** | ●場面切換のなかには最初と最後の場面には使用できないものがあります。（☞P.60、63） |
| **VHSデッキからDVデッキへマルチダビングできない** | ●マルチダビングができるのはDVデッキで再生して、VHSデッキで録画する場合のみです。（☞P.58） |
| **接続した外部機器でダビングできない** | ●正しい外部入力（「L1」または「L2」）を選んでいますか？（☞P.66、67）<br>●「S映像」と「映像」端子の選択は正しいですか？（☞P.82）<br>●外部機器を映像／音声出力1端子につないでいるときは、メニューの「モード選択」の「出力1切換」で出力するデッキを選んでください。（☞P.82） |

| 症状 | 原因と対処(参照ページ) |
|---|---|
| **本機で再生すると画面表示が録画されている** | ●メニューで「オンスクリーン」を「切」にしてからダビングしてください。（☞P.82）<br>●外部機器を映像／音声出力1端子につないでいるときは、メニューの「モード選択」の「出力1切換」で出力するデッキを選んでください。（☞P.82） |

# 用語解説

### ガイドチャンネル
Gコード録画予約のために、各放送局に付けられた番号です。この番号が正しく設定されていないと、Gコード予約録画はできません。

### 受信チャンネル
受信できる放送局のチャンネル（周波数帯域）のことです。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことをいいます。

### スクランブル（放送）
映像・音声信号を暗号化した信号です。WOWOWやSt.GIGA、CATVの一部で使われています。

### チャンネル表示
本機で特定の放送局を選ぶときに、本機の表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネル番号です。本機でチャンネル表示を変更しているときは、「受信チャンネル」と違った番号になります。本機で、その受信チャンネルを選びたいときは、チャンネル表示の番号を選びます。
例えば、テレビ神奈川（受信チャンネル：42チャンネル）のチャンネル表示を本機で「9チャンネル」に設定してある場合は、テレビ神奈川の番組を見るときには、本機では「9チャンネル」を選びます。

### デジタルCS（シーエス）放送
通信衛星（Communication Satellite）を利用したテレビ放送です。一般的には単に「CS放送」と呼ばれています。この放送を受信するには、CS放送各社との契約が必要です。加入は有料で、専用のパラボラアンテナと受信機を購入する必要があります。

### 独立音声
テレビ画面の映像と関係のない音声だけの放送です。St.GIGAは、BS5チャンネルの独立音声で放送されています。

### ハイビジョン放送
現行のテレビ方式（NTSC）の約5倍の情報量を持つ高画質の放送方式です。BSの9チャンネルを使って放送されています。

### ハイファイステレオ音声
本機では、2種類の音声を録音・再生できるようになっています。そのうちのひとつが「ハイファイステレオ音声」です。この音声はテープの「ハイファイステレオトラック」と呼ばれる部分に録音されています。
ハイファイステレオトラックに録音された音声は、モノラルのビデオデッキなどでは再生することができません。

### 二重音声放送
ステレオの左チャンネルと右チャンネルに別々の音声を入れた放送です。映画などの放送でよく使われる二カ国語放送も二重音声放送のひとつです。最近ではプロ野球の中継放送などにも使われています。

### ノーマル音声
本機では、2種類の音声を録音・再生できるようになっています。そのうちのひとつが「ノーマル音声」です。この音声はテープの「ノーマルトラック」と呼ばれる部分に録音されています。
これにより、モノラルのビデオデッキやビデオムービーで録画されたテープの音声を本機でも再生することができます。また、逆に本機で録画したテープを、モノラルのビデオデッキで再生しても、音声を聞くことができます。

エー
**Aモード音声**
BSで放送される音声の種類のひとつです。音質はFM放送以上で、テレビ音声と独立音声があります。

ビー
**Bモード音声**
BSで放送される音声の種類のひとつです。音質はCD（コンパクトディスク）と同等です。

ビーエス
**BSデコーダー**
BS有料放送のスクランブルを解除する機器です。WOWOWやSt.GIGAを受信するときに必要になります。

シーエーティービー
**CATV放送**
有線テレビ放送のことです。サービスの行われている地域でのみ受信できます。受信するためには、CATV放送各社との契約が必要です。

**Gコード**
録画の予約を簡単にするためにジェムスター社が考案したシステムです。すべての番組に付けられる8桁までの番号です。本機ではこの番号を入力することにより簡単に録画予約を行うことができます。

**Gコードインフォ**
「0」から始まるGコードを使って録画予約をするシステムです。比較的短い時間の録画予約に使用されます。

ジェイエスビー
**JSB**
日本衛星放送株式会社のことです。

ミューズ
**MUSE**
ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。

ミューズ　エヌティーエスシー
**MUSE−NTSCコンバーター**
MUSE信号を現行のNTSC信号に変換するための機器です。
ハイビジョン放送の番組を現行のテレビで見ることができます。

エヌティーエスシー
**NTSC方式**
現行の日本や米国で使われている映像（カラー）方式です。
ヨーロッパや東南アジアの国々では、PAL方式やSECAM方式という違った方式が使われています。
この映像（カラー）方式が違うビデオテープは本機では再生することができません。

エス
**S映像信号**
従来の映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号です。鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。
本機などのようなS-VHS方式のビデオデッキやビデオムービーに採用されています。

セント　ギガ
**St. GIGA**
衛星デジタル音楽放送株式会社の放送局名です。WOWOW（ワウワウ）の独立音声を使って放送しています。

ティー・ビー・シー
**TBC**
再生したとき横方向の細かな歪みなどを補正します。

ワウワウ
**WOWOW**
JSBが放送する番組の愛称です。

# 索　引

## アルファベット・数字


**BSアンテナ** ..... **18**
**BSアンテナ電源** ..... **19**
**BSアンテナの向きの調節** ..... **19**
**BS入力レベル** ..... **20**
**BS放送** ..... **18**
**BS放送を見る** ..... **43**
**CMカット** ..... **54**
**Gコードインフォ** ..... **36**
**Gコード録画予約** ..... **50**
**MUSE-NTSCコンバーター** ..... **84**
**S-VHS ET** ..... **79**
**S-VHS記録** ..... **83**
**St.GIGA** ..... **86**
**S映像信号** ..... **100**
**VISS** ..... **69**
**Vスタビライズ** ..... **41, 83**
**WOWOW** ..... **85**
**629TBC** ..... **76**


## ア行


**頭出し** ..... **69**
**アフレコ** ..... **49**
**安全上の注意** ..... **2**
**インデックスマーク** ..... **69**
**裏番組録画** ..... **47**
**衛星放送を見る** ..... **43**
**映像入力1設定** ..... **82**
**映像入力2設定** ..... **82**
**演出効果** ..... **62、73**
**オートCMカット** ..... **77**
**オートトラッキング** ..... **75**
**オンスクリーン** ..... **82**
**音声を選ぶ** ..... **70**
**音声モード** ..... **83**


## カ行


**ガイドチャンネル** ..... **34**
**ガイドチャンネル一覧表** ..... **37**
**ガイドチャンネルを設定する** ..... **34**
**カウンターリセット** ..... **42**
**各部の名称**
　テレビ画面表示 ..... 94、95
　本体前面 ..... 89
　本体背面 ..... 91
　本体表示窓 ..... 94、95
　リモコン ..... 92
**記録日時** ..... **83**
**故障かな？** ..... **96**
**誤消去防止** ..... **47**
**コマ送り** ..... **72**


## サ行


**時刻を設定する** ..... **38**
**自動編集** ..... **58**
**受信チャンネルの設定**
　地域番号表 ..... 24
　一括チャンネル合わせ ..... 22
　チャンネルスキップ ..... 32
　チャンネル表示 ..... 29
　微調整 ..... 30
　ひとつずつ設定 ..... 28
**使用上のご注意** ..... **6**
**スロー再生** ..... **72**
**静止画再生** ..... **41**
**接続**
　テレビ ..... 16
　パソコン ..... 80
　BS アンテナ ..... 18
　BS デコーダー ..... 85
　BS テレビ ..... 85
　MUSE-NTSC コンバーター ..... 84
　VHF/UHF アンテナ ..... 14


その他

### タ行

タイムコード ........ 42
ダビング ........ 48、58、66
地域番号表 ........ 24
チャンネルスキップ ........ 32
テープの残量 ........ 42
デジタルダビング ........ 66
デジタル放送着信予約 ........ 78
電池の入れかた ........ 11
独立音声 ........ 44、82、85、86
時計合わせ ........ 38
トラッキング調節 ........ 75

### ナ行

二カ国語音声録音 ........ 70、82
二重音声放送 ........ 70、82
ノーマル音声 ........ 70

### ハ行

ハイファイステレオ音声 ........ 70
場面切換 ........ 63
ぴったりクロック ........ 39
ぴったり録画 ........ 83
日付を設定する ........ 38
ビデオスタビライズ ........ 41, 83
付属品 ........ 11
ブルーバック ........ 83

### マ行

まるごとダビング ........ 48
マルチダビング ........ 58
ミックス音声 ........ 70、83
モード選択 ........ 82

### ラ行

リモコンコード ........ 13
リモコンの設定 ........ 12
録画する ........ 45
録画中に別の番組を見る ........ 47
録画予約後のビデオ操作 ........ 55
録画予約の確認 ........ 56
録画予約の取り消し ........ 56
録画予約の変更 ........ 56

### ワ行

ワンタッチタイマー録画 ........ 47

# 主な仕様

| | |
|---|---|
| ●電源 | AC100V　50/60Hz |
| ●消費電力 | 41W（BSアンテナ電源使用時 46W<br>電源「切」時6.5W） |
| ●外形寸法 | 437（幅）×127（高さ）×383（奥行き）mm |
| ●質量 | 8.1kg |
| ●許容動作温度 | ＋5℃〜＋40℃ |
| ●許容相対湿度 | 35%〜80% |
| ●許容保存温度 | −20℃〜＋60℃ |

## VHSデッキ

### ビデオ（映像）

| | |
|---|---|
| ●録画・再生方式 | S-VHS方式<br>回転2ヘッドヘリカルスキャン<br>輝度信号　FM方式<br>色信号　低域変換直接記録方式 |
| ●映像信号 | NTSC日米標準信号 |

### ハイファイオーディオ（音声）

| | |
|---|---|
| ●録音方式 | VHSステレオハイファイ方式 |
| ●周波数特性 | 20Hz〜20kHz |
| ●ダイナミックレンジ | 90dB以上 |
| ●ワウ・フラッター | 0.005%以下 |
| ●チャンネルセパレーション | 60dB以上 |

### ノーマルオーディオ（音声）

| | |
|---|---|
| ●録音方式 | リニアトラック |
| ●音声トラック | 1チャンネル（モノラル） |

## DVデッキ

| | |
|---|---|
| ●録画方式 | ミニ DV方式<br>（民生用デジタルVCR SD規格） |
| ●テープ速度 | SP:18.812mm/秒<br>LP:12.555mm/秒 |
| ●使用テープ | ミニ DVビデオカセット<br>（6.35mm幅デジタルビデオテープ） |
| ●録画時間 | SP:60分、LP:90分<br>（M-DV60ME使用の場合） |
| ●テレビジョン方式 | NTSC方式:525本、60フィールド |
| ●映像記録方式 | デジタルコンポーネント記録 |
| ●音声記録方式 | PCM48kHz、16bit（2ch）/<br>32kHz、12bit（4ch） |

## チューナー（テレビ受信）

| | |
|---|---|
| ●受信方式 | 周波数シンセサイザー方式 |
| ●音声多重受信方式 | インターキャリア方式 |
| ●受信チャンネル | VHF　1〜12チャンネル<br>UHF　13〜62チャンネル<br>BS　1、3、5、7、9、11、13、15チャンネル<br>CATV C13(63)〜C63(113)チャンネル |

●CATVチャンネル対応表

| 送信チャンネル | チャンネル表示 | 送信チャンネル | チャンネル表示 | 送信チャンネル | チャンネル表示 |
|---|---|---|---|---|---|
| C13 | 63 | C30 | 80 | C47 | 97 |
| C14 | 64 | C31 | 81 | C48 | 98 |
| C15 | 65 | C32 | 82 | C49 | 99 |
| C16 | 66 | C33 | 83 | C50 | 100 |
| C17 | 67 | C34 | 84 | C51 | 101 |
| C18 | 68 | C35 | 85 | C52 | 102 |
| C19 | 69 | C36 | 86 | C53 | 103 |
| C20 | 70 | C37 | 87 | C54 | 104 |
| C21 | 71 | C38 | 88 | C55 | 105 |
| C22 | 72 | C39 | 89 | C56 | 106 |
| C23 | 73 | C40 | 90 | C57 | 107 |
| C24 | 74 | C41 | 91 | C58 | 108 |
| C25 | 75 | C42 | 92 | C59 | 109 |
| C26 | 76 | C43 | 93 | C60 | 110 |
| C27 | 77 | C44 | 94 | C61 | 111 |
| C28 | 78 | C45 | 95 | C62 | 112 |
| C29 | 79 | C46 | 96 | C63 | 113 |

## タイマー（タイマー予約・時計）

| | |
|---|---|
| ●タイマー予約 | 1ケ月12番組予約<br>（VHSデッキ6番組、DVデッキ6番組） |
| ●時計 | 12時間（午前・午後）方式 |
| ●停電補償時間 | 約30分 |

## テープ走行

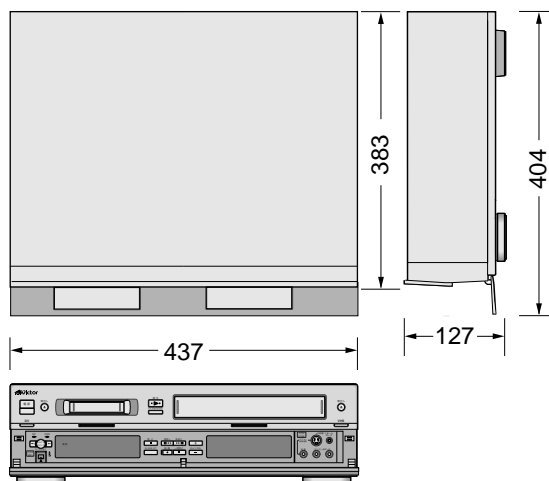
●早送り／巻き戻し時間

VHSデッキ：約2分30秒
（T-120テープ使用時）
DVデッキ：約1分40秒
（M-DV60ME使用時）

テープによっては早送り／巻き戻しに時間がかかる場合があります。

# 主な仕様（つづき）

**接続端子**

| | |
|---|---|
| **●アンテナ** | 75Ω F型コネクター<br>VHF/UHF一軸 |
| **●BS-IF入力** | 75Ω F型コネクター<br>アンテナ電源出力　DC15V　最大4W |
| **●BS-IF出力** | 75Ω F型コネクター |
| **●S映像** | 入力　Y：0.8〜1.2Vp-p　75Ω<br>C：0.2〜0.4Vp-p　75Ω<br>出力　Y：1.0Vp-p　75Ω<br>C：0.29Vp-p　75Ω |
| **●映像** | 入力　0.5〜2.0Vp-p　75Ω(ピンジャック)<br>出力　1.0Vp-p　75Ω(ピンジャック) |
| **●音声** | 入力　－8dBs　50kΩ（ピンジャック）<br>モノ(左)対応<br>出力　－8dBs　1kΩ（ピンジャック） |
| **●検波入／出力** | 0.67Vp-p　75Ω(ピンジャック) |
| **●ビットストリーム入／出力** | 0.5Vp-p　75Ω(ピンジャック) |
| **●AFC入力** | 0.5Vp-p　75Ω(ピンジャック) |
| **●リモートポーズ** | ビクタービデオムービー・デッキとの編集用 |
| **●DV入／出力** | 4ピン　IEEE1394準拠　デジタル入力／出力 |
| **●DV再生コンポーネント映像出力** | Y：1.0V（ピーク値）75Ω(ピンジャック)<br>CB：0.7V（ピーク値）75Ω(ピンジャック)<br>CR：0.7V（ピーク値）75Ω(ピンジャック) |

● 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
● このビデオは日本国内のみ使用できます。
外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

## 保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（106ページ参照）にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

96～98ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音ができなかった場合の補償については、ご容赦ください。

### 保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

### ご連絡していただきたい内容

| 品　名 | ビデオカセットレコーダー |
|---|---|
| 型　名 | HR-DVS1 |
| お買い上げ日 | 年　月　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| ご　住　所 | 付近の目印等も合わせてお知らせください。 |
| お　名　前 | |
| 電話番号 | （　　）　－ |

### 修理料金のしくみ

| | |
|---|---|
| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。 |
| ＋ | |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。 |
| ＋ | |
| 出張料 | 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。 |

**愛情点検**　●長年ご使用のビデオカセットレコーダーの点検をぜひ！

! 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

| このような症状はありませんか | ●再生しても映像や音声が出ない。<br>●電源プラグ、コードが異常に熱い。<br>●異常な臭いや音がする。<br>●水や異物が入った。<br>●その他の異常や故障がある。 |
|---|---|

| ご使用を中　止 | 故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。 |
|---|---|

**美しい画面をご覧いただくために**

ビデオカセットレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、およそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。

# サービス窓口案内

**ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください**

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

**●修理についてのご相談窓口**

**ビクターサービスエンジニアリング株式会社**

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

| 都府県名 | 拠点名 | TEL | 〒 | 所在地 |
|---|---|---|---|---|
| **北海道** | | | | |
| 北海道 | 札幌S.C. | (011) 898-1180 | 004-0005 | 札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29 |
| | 苫小牧S.S. | (0144) 34-6682 | 053-0032 | 苫小牧市緑町2-7-11 |
| | 旭川S.C. | (0166) 61-3659 | 070-8012 | 旭川市神居二条3-2-15 |
| | 北見S.S. | (0157) 25-8557 | 090-0037 | 北見市山下町4-7-19 |
| | 釧路S.C. | (0154) 24-0797 | 085-0036 | 釧路市若竹町6-13 |
| | 帯広S.S. | (0155) 24-4493 | 080-0806 | 帯広市東六条南12-11 |
| | 函館S.S. | (0138) 46-5324 | 041-0806 | 函館市美原3-16-25 |
| **東北** | | | | |
| 青森 | 青森S.C. | (0177) 23-2261 | 030-0844 | 青森市桂木4-6-17 |
| | 八戸S.S. | (0178) 44-4521 | 031-0804 | 八戸市青葉2-21-2 |
| | 弘前S.S. | (0172) 28-0165 | 036-8084 | 弘前市高田1-13-1 |
| 岩手 | 盛岡S.C. | (019) 637-0121 | 020-0835 | 盛岡市津志田12地割字新田堰94番地1 |
| | 水沢S.S. | (0197) 22-2773 | 023-0815 | 水沢市天文台通り3-12 |
| 秋田 | 秋田S.C. | (0188) 24-3189 | 010-0953 | 秋田市山王中園町4-1 |
| | 大館S.S. | (0186) 43-0980 | 017-0874 | 大館市美園町5-6 |
| | 横手S.S. | (0182) 32-8873 | 013-0064 | 横手市赤坂字大道向3-6 |
| 宮城 | 仙台S.C. | (022) 287-0151 | 984-0011 | 仙台市若林区六丁の目西町7-13 |
| | 石巻S.S. | (0225) 94-7711 | 986-0853 | 石巻市門脇字四番谷地8-18 |
| 山形 | 山形S.C. | (023) 642-0279 | 990-2412 | 山形市松山3-12-18 |
| | 酒田S.S. | (0234) 26-7145 | 998-0842 | 酒田市亀ヶ崎6-6-1 |
| 福島 | 郡山S.C. | (0249) 52-6331 | 963-0205 | 郡山市堤1-3 |
| | いわきS.S. | (0246) 28-4991 | 970-8034 | いわき市平上荒川字桜町19-4 |
| | 会津若松S.S. | (0242) 32-0247 | 965-0022 | 会津若松市滝沢町1-5 |
| | 福島S.S. | (0245) 53-9437 | 960-0103 | 福島市本内字南原26-1 |
| **関信越** | | | | |
| 新潟 | 新潟S.C. | (025) 241-0527 | 950-0084 | 新潟市明石1-2-19 |
| | 佐渡S.S. | (0259) 57-3127 | 952-1314 | 佐渡郡佐和田町河原田本町93 |
| | 長岡S.C. | (0258) 24-1462 | 940-0012 | 長岡市下下条2-1366-1 |
| | 上越S.S. | (0255) 44-9987 | 942-0081 | 上越市五智1-11 |
| 長野 | 松本S.C. | (0263) 25-9353 | 390-0837 | 松本市鎌田2-3-50 |
| | 長野S.C. | (026) 221-9946 | 380-0913 | 長野市川合新田962-1 |
| | 上田S.S. | (0268) 23-3589 | 386-0005 | 上田市古里79-1 |
| 群馬 | 前橋S.C. | (027) 255-5920 | 371-0854 | 前橋市大渡町1-19-1 |
| 栃木 | 宇都宮S.C. | (028) 635-2656 | 320-0864 | 宇都宮市住吉町17-9 |
| 茨城 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03) 5803-2888 | 113-0033 | 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 水戸S.C. | (029) 246-1560 | 310-0836 | 水戸市元吉田町1077 |
| | 土浦S.C. | (0298) 21-8756 | 300-0051 | 土浦市真鍋6-1-25 |
| 山梨 | 甲府S.S. | (0552) 37-3136 | 400-0864 | 甲府市湯田2-11-5 |
| **千葉** | | | | |
| 千葉 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03) 5803-2888 | 113-0033 | 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 千葉S.C. | (043)246-2588 | 261-0001 | 千葉市美浜区幸町2-1-1 |
| | 木更津S.S. | (0438)36-4855 | 292-0802 | 木更津市真舟5-4-9 |
| | 柏S.C. | (0471)75-4322 | 277-0863 | 柏市豊四季512-10-67 |
| | 浦安S.S. | (047)353-6189 | 279-0001 | 浦安市当代島2-13-27 |

| 都府県名 | 拠点名 | TEL | 〒 | 所在地 |
|---|---|---|---|---|
| **東京** | | | | |
| 東京 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03) 5803-2888 | 113-0033 | 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 本郷S.C. | (03) 5684-8254 | 113-0033 | 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F |
| | 秋葉原S.S | (03) 3251-2128 | 101-0021 | 東京都千代田区外神田1-6-6 |
| | 練馬S.C. | (03) 3993-7520 | 176-0014 | 東京都練馬区豊玉南1-19-1 |
| | 大田S.C. | (03) 3727-9385 | 145-0062 | 東京都大田区北千束2-20-6 |
| | 八王子S.C. | (0426) 46-6914 | 192-0045 | 東京都八王子市大和田町2-9-6 |
| | 【業務用機器専門】のご相談窓口 | | | |
| | 東京業務機器センター | (03) 3874-5231 | 110-0003 | 東京都台東区根岸5-4-3 |
| **埼玉** | | | | |
| 埼玉 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03) 5803-2888 | 113-0033 | 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 大宮S.C. | (048) 654-5241 | 330-0037 | 大宮市東大成町2-658-1 |
| | 熊谷S.S. | (0485) 53-5105 | 361-0057 | 行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B |
| | 川越S.S. | (0492) 42-4496 | 350-1106 | 川越市小室491-1 |
| **神奈川** | | | | |
| 神奈川 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 首都圏サービスセンター | (03) 5803-2888 | 113-0033 | 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル4F |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 横浜S.C. | (045) 651-0403 | 231-0028 | 横浜市中区翁町1-3-1 |
| | 横須賀S.S. | (0468) 34-9261 | 239-0831 | 横須賀市久里浜6-4-1 |
| | 川崎S.C. | (044) 975-1879 | 216-0024 | 川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル） |
| | 平塚S.C. | (0463) 23-2687 | 254-0033 | 平塚市老松町4-9（木村ビル） |
| | 小田原S.S. | (0465) 24-0681 | 250-0004 | 小田原市浜町4-1-12 |
| | 相模原S.C. | (0427) 76-2052 | 229-0004 | 相模原市古淵3-7-4 |
| **静岡** | | | | |
| 静岡 | 静岡S.C. | (054) 282-4141 | 422-8006 | 静岡市曲金6-5-28 |
| | 沼津S.S. | (0559) 22-1557 | 410-0041 | 沼津市筒井町6-5 |
| | 浜松S.S. | (053) 421-3441 | 435-0041 | 浜松市北島町785 |
| **東海・北陸** | | | | |
| 愛知 | 名古屋S.C. | (0568) 25-3235 | 481-0041 | 西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1 |
| | 三河S.S. | (0564) 26-1005 | 444-2133 | 岡崎市井ノ口町字河原西31 |
| | 豊橋S.S. | (0532) 64-0815 | 440-0853 | 豊橋市佐藤5-19-1 |
| 岐阜 | 岐阜S.S. | (058) 274-1947 | 500-8367 | 岐阜市宇佐南3-1-28 |
| 三重 | 三重S.S. | (0593) 52-0841 | 510-0076 | 四日市市堀木2-15-2 |
| | 津S.S. | (0592) 29-7780 | 514-0815 | 津市大字藤方485-18 |
| 富山 | 富山S.C. | (0764) 25-2397 | 930-0083 | 富山市総曲輪4-3-5 |
| 石川 | 金沢S.C. | (0762) 31-5242 | 920-0867 | 金沢市長土塀2-1-27 |
| 福井 | 福井S.S. | (0776) 53-6916 | 910-0843 | 福井市西開発3-211 |

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0698

| 都府県名 | 拠点名 | TEL | 〒 | 所在地 |
|---|---|---|---|---|
| **近畿** | | | | |
| 滋賀 | 【サービス関連全て】のご相談窓口 | | | |
| | 滋賀S.S. | (0775)82-5812 | 524-0033 | 守山市浮気町268 |
| 京都南部 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪S.C. | (06)304-5731 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 京都S.C. | (075)313-3189 | 600-8861 | 京都市下京区七条御所ノ内北町91 |
| 京都北部 | 【サービス関連全て】のご相談窓口 | | | |
| | 福知山S.S. | (0773)22-8664 | 620-0059 | 福知山市厚東町145-2 |
| 奈良 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪S.C. | (06)304-5731 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 奈良S.S. | (07442)4-6271 | 634-0007 | 橿原市葛本町834-2 |
| 大阪 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪S.C. | (06)304-5731 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪S.C. | (06)304-5731 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 大阪南S.C. | (06)768-5489 | 543-0028 | 大阪市天王寺区小橋町10-16 |
| | 堺S.C. | (0722)54-2881 | 591-8032 | 堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ |
| | 【業務用機器専門】のご相談窓口 | | | |
| | 業務機器C | (06)304-6715 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| 和歌山 | 【サービス関連全て】のご相談窓口 | | | |
| | 和歌山S.S. | (0734)72-6799 | 640-8323 | 和歌山市太田430-8 |
| | 田辺S.S. | (0739)22-9914 | 646-0023 | 田辺市文里1-19-18 |
| 兵庫東部 | 【出張修理専門】のご相談窓口 | | | |
| | 大阪S.C. | (06)304-5731 | 532-0027 | 大阪市淀川区田川2-4-28 |
| | 【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口 | | | |
| | 神戸S.C. | (078)252-0562 | 651-0086 | 神戸市中央区磯上通3-2-16 |
| | 明石S.S | (078)924-1104 | 673-0018 | 明石市西明石北町3-12-9 小西ビル1F |
| 兵庫西部 | 【サービス関連全て】のご相談窓口 | | | |
| | 姫路S.S. | (0792)34-3833 | 670-0975 | 姫路市中地南町11-1 |

| 都府県名 | 拠点名 | TEL | 〒 | 所在地 |
|---|---|---|---|---|
| **中国** | | | | |
| 岡山 | 岡山S.C. | (086)243-1566 | 700-0927 | 岡山市西古松西町8-23 |
| 広島 | 広島S.C. | (082)243-9839 | 730-0825 | 広島市中区光南3-9-17 |
| | 福山S.S. | (0849)31-6984 | 721-0973 | 福山市南蔵王町3-5-15 |
| | 呉S.S. | (0823)74-9364 | 737-0112 | 呉市広古新開2-17-32-102 |
| 山口 | 山口S.C. | (0839)73-3708 | 754-0022 | 吉敷郡小郡町花園町5-28 |
| | 徳山S.S. | (0834)27-1331 | 745-0042 | 徳山市野上町2-35 |
| | 下関S.S. | (0832)51-1040 | 751-0852 | 下関市熊野町2-14-23 |
| **四国** | | | | |
| 香川 | 高松S.C. | (0878)66-1200 | 761-8057 | 高松市田村町205-1 |
| 徳島 | 徳島S.C. | (0886)22-7387 | 770-8052 | 徳島市沖浜2-37 |
| 高知 | 高知S.S. | (0888)82-0546 | 780-8122 | 高知市高須新町4-143 |
| 愛媛 | 松山S.C. | (0899)23-0372 | 791-8015 | 松山市中央1-4-12 |
| | 宇和島S.S. | (0895)20-1018 | 798-0087 | 宇和島市坂下津甲407-40 |
| | 新居浜S.S. | (0897)67-1030 | 792-0881 | 新居浜市松神子2-2-25 |
| **九州・沖縄** | | | | |
| 福岡 | 福岡S.C. | (092)431-1261 | 812-0011 | 福岡市博多区博多駅前4-16-1 |
| | 久留米S.C. | (0942)39-3495 | 830-0038 | 久留米市西町字神浦1-1192 |
| | 北九州S.C. | (093)921-3981 | 802-0065 | 北九州市小倉北区三萩野2-9-3 |
| | 筑豊S.S. | (0948)29-1146 | 820-0068 | 飯塚市片島2-22-27 |
| 佐賀 | 佐賀S.S. | (0952)26-8785 | 840-0023 | 佐賀市本庄町大字袋265-1 |
| 長崎 | 長崎S.C. | (0958)62-5522 | 852-8021 | 長崎市城山町9-13 |
| | 佐世保S.S. | (0956)33-5568 | 857-1166 | 佐世保市木風町1467-2 |
| 大分 | 大分S.S. | (0975)43-1422 | 870-0822 | 大分市大道町4-1-2 |
| 熊本 | 熊本S.C. | (096)353-4536 | 861-4101 | 熊本市近見8-1-10 |
| 宮崎 | 宮崎S.S. | (0985)24-5401 | 880-0032 | 宮崎市霧島町3-59 |
| | 延岡S.S. | (0982)35-7077 | 882-0857 | 延岡市惣領町24-3 |
| 鹿児島 | 鹿児島S.C. | (099)267-3572 | 891-0114 | 鹿児島市小松原2-23-28 |
| 沖縄 | 沖縄S.C. | (098)898-3631 | 901-2224 | 沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16 |
| **山陰** | | | | |
| 島根 | 山陰ビクター販売(株)サービスセンター(松江・米子担当) | (0852)31-8900 | 690-0823 | 松江市西川津町1484-3 |
| | 出雲営業所サービス係 | (0853)21-4611 | 693-0001 | 出雲市今市町854 |
| | 浜田営業所サービス係 | (0855)22-1584 | 697-0023 | 浜田市長沢町671-1 |
| 鳥取 | 鳥取営業所サービス係 | (0857)23-2151 | 680-0845 | 鳥取市富安2-45 |

## ●海外でのビデオムービーの修理ご相談窓口

### 北米・ハワイ

**カナダ　JVC CANADA INC.**

・トロント　〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

**アメリカ　JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA**

・アトランタ　〔770-339-2522〕
1500 Lakes Parkway Lawrenceville, GA 30243-5857

・サンフランシスコ　〔415-871-2666〕
890 Dubuque Avenue, S. San Francisco, CA 94080-1804

・シカゴ　〔630-851-7855〕
705 Enterprise Street Aurora, IL 60504-8149

・ニュージャージー　〔973-808-9279〕
107 Little Falls Road, Fairfield, NJ 07004-2105

・ヒューストン　〔713-935-9331〕
10700 Hammerly, Suite 110, Houston, TX 77043

・ボストン　〔508-881-5923〕
230 Eliot Street, Ashland, MA 01721-2377

・ホノルル　〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

・マイアミ　〔954-472-1960〕
8192 State Road 84, Davie FL 33324

・ロサンジェルス　〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024

・ハリウッド　〔310-659-5262〕
8764 Beverly Boulevard West Hollywood, CA 90048

(注)・ヨーロッパその他の地域ではテレビジョン方式の違い等の問題がありますので、おでかけの前に下記お客様ご相談センターにご相談ください。
・海外では日本の保証書は適用されませんので、修理は全て有料となります。

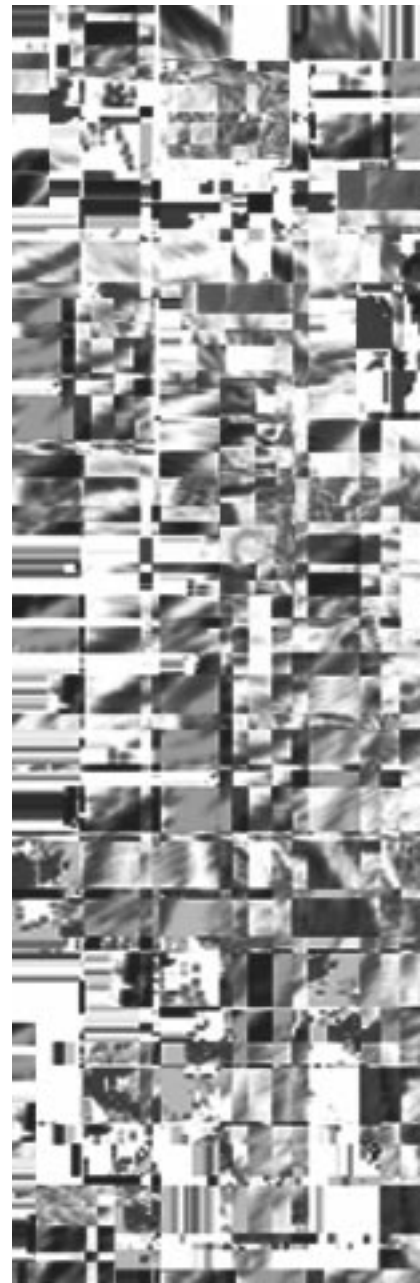
## ●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

| お客様ご相談センター | TEL | 〒 | 所在地 |
|---|---|---|---|
| お客様ご相談センター | (03)5684-9311 | 113-0033 | 東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル |
| | (06)　765-4161 | 543-0028 | 大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル |

サービスネットワークＢＳ　9001

その他

HR-DVS1 取扱説明書

**故障かな？と思ったら**
修理に出す前に96〜98ページをご確認ください。

修理に出す前に96〜98ページをご確認ください。

**修理についてのご相談は**
**「お買い上げ販売店」へご相談ください。**
ご転居等で保証書記載のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、106〜107ページの「ビクターサービス窓口」にご相談ください。

**お買物相談**
お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お客様ご相談センター」にご相談ください。

**お客様ご相談センター**

東　京
☎ (03)5684-9311
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大　阪
☎ (06)765-4161
〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

日本ビクター株式会社
ビデオ事業部
〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地　電話（045）450-2550



0998IYV＊MW＊VP